

I&Iプラン21

市川市 第二次基本計画
第一次実施計画
(2011～2013年度)

総合評価書



ICHIKAWA

目 次

第1編 総括

第1章	第一次実施計画について	1
第2章	市民意向調査について	3
第3章	第一次実施計画の事業費及び達成状況について	7
第4章	基本目標別考察	8
	基本目標1 真の豊かさを感じるまち	8
	基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち	12
	基本目標3 安全で快適な魅力あるまち	14
	基本目標4 人と自然が共生するまち	18
	基本目標5 市民と行政がともに築くまち	20

第2編 事業別実績報告

第1章	個表の見方について	22
第2章	実績報告	25

(大 分 類) (事 業 名) (ページ)

基本目標1 真の豊かさを感じるまち

保健・医療	1. 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業	25
	2. 妊婦乳児健康診査事業	26
	3. 健康診査事業	27
	4. 予防接種事業	28
子育て	5. 児童虐待対策事業	30
	6. 保育園整備計画事業	31
	7. 子ども医療費助成事業	32
地域福祉	8. 地域福祉計画推進事業	33
	9. 社会福祉事業	34
	10. 地域ケアシステム推進事業	35
障害者福祉	11. 障害者雇用事業	36
	12. 地域生活支援事業	37
	13. 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	38
	14. 障害者地域生活支援センター等管理運営事業	39
高齢者福祉	15. 介護保険特別会計	40
	16. 特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業	41
社会保障・住まい	17. 国民健康保険特別会計	42
	18. 市営住宅営繕事業	43
スポーツ	19. スポーツ施設整備・改修事業	44
子どもの教育	20. 学校版環境 ISO 認定事業	45
	21. 学校給食費負担軽減事業	46
	22. コミュニティクラブ事業	47
	23. 小学校・中学校耐震改修事業	48
	24. 少人数学習等担当補助教員事業	49

(大分類)	(事業名)	(ページ)
	25. 私立幼稚園等補助金	50
	26. 放課後保育クラブ運営事業	51
生涯学習	27. 公民館主催講座活動事業	52
	28. 蔵書管理効率化事業	53
雇用・労働	29. 若年者等就労支援事業	54
	30. 勤労者労働相談事業	55
消費生活	31. 消費生活センター相談及び啓発事業	56
人権・男女共同参画	32. 市川市 DV 対策事業	57
	33. 男女共同参画センター講座事業	58
平和	34. 平和啓発事業	59
	35. 姉妹都市等交流事業	60
基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち		
芸術・文化	36. 仮称文学館整備事業	61
	37. 「市川の文化人展」事業	62
文化的資産	38. 市史編さん事業	64
文化の創造	39. 市民まつり負担金	66
	40. シティール事業(いちかわ観光・物産案内事業)	67
	41. 国際交流推進事業	68
基本目標 3 安全で快適な魅力あるまち		
危機管理・消防	42. 防災用品備蓄事業	69
	110. 防災計画策定事業	70
	111. 放射能対策事業	71
	43. 指令業務共同化及び無線デジタル化事業	72
治水	44. 都市基盤河川改修事業	73
	45. 排水路整備事業	74
	46. 排水施設整備事業	75
防犯	47. 防犯対策事業	76
交通安全	48. まごころ道路整備事業	77
	49. 狭あい道路対策事業	78
	50. 橋りょう補修事業	79
	51. 交通安全施設整備事業	80
	52. 自転車安全利用啓発事業	81
ユニバーサルデザイン	53. 人にやさしい道づくり重点地区整備事業	82
	54. 公民館営繕事業	83
道路・交通	55. 都市計画道路 3・4・18号整備事業	84
	56. 京成本線立体化事業	86
	57. 電線類地中化事業	87
	58. 駐輪場整備事業	88
	59. コミュニティバス運行事業	89

(大分類)	(事業名)	(ページ)
	60. 道路台帳デジタル化整備事業	90
下水道	61. 下水道事業特別会計	91
住宅・住環境	62. 耐震診断・改修助成事業	92
	63. 住宅防災リフォーム推進事業	93
	64. 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業	94
公共施設	65. 公共施設耐震改修事業	96
	66. 庁舎整備事業	97
土地利用	112. 市街化調整区域の土地利用	98
	67. 塩浜地区整備事業	100
景観	68. 中山参道地区街なみ環境整備事業	101
	69. 都市景観形成事業	102
商工業	70. 商店街活性化補助事業	103
	71. 中小企業融資制度等預託金	104
	72. 地方卸売市場事業特別会計	105
都市農業	73. 都市農業振興支援事業	106
	74. 市川市農産物ブランド化推進事業	107
	75. 体験農園事業	108
水産業	76. 市川漁港整備事業	109
	77. 水産業振興負担金（うち魚食文化フォーラム分）	110
基本目標4 人と自然が共生するまち		
自然環境	78. 生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業	111
	79. 環境学習推進事業	112
公園・緑地	80. 国府台緑地整備事業	113
	81. 小塚山公園整備拡充事業	114
	82. ガーデニング・シティ いちかわ	116
	83. 水と緑の回廊事業	118
河川・水辺	84. 三番瀬保全再生事業	119
	85. 国分川調節池上部活用事業	120
地球環境	86. 地球温暖化対策推進事業	121
	87. 住宅用太陽光発電システム設置助成事業	122
生活環境	88. 大気常時監視整備事業	123
	89. 市民マナー条例推進事業	124
資源循環型社会	90. ごみ発生抑制等啓発事業	125
	91. 分別収集促進事業	126
	92. クリーンセンター延命化事業	127
基本目標5 市民と行政がともに築くまち		
協働・市民参加	93. マーケティング事業	128
情報の発信・提供	94. 市ホームページ管理運営事業	129
	95. 保存文書整備事業	130

(大 分 類)	(事 業 名)	(ページ)
	96. 情報公開・個人情報保護事業	131
地域コミュニティ・市民活動	97. 防犯灯設置事業	132
	98. 市民活動団体支援制度（1%支援制度）運営事業	133
政策展開	99. e-モニター制度運営事業	134
	100. 法制実務研修事業	135
	101. 市民意向調査	136
行政体制	102. 職員研修事業	137
窓口・相談機能	103. 総合市民相談・案内事業	138
財政運営	104. 財政調整基金積立金	139
	105. 納税環境整備事業	140
広域行政	106. 広域行政推進事業	141
情報化	107. 住民票等コンビニ交付事業	142
	108. 情報システム再構築事業	143
	109. セキュリティ構築事業	144
〔資料〕事業別一覧表		145

第1編 総括

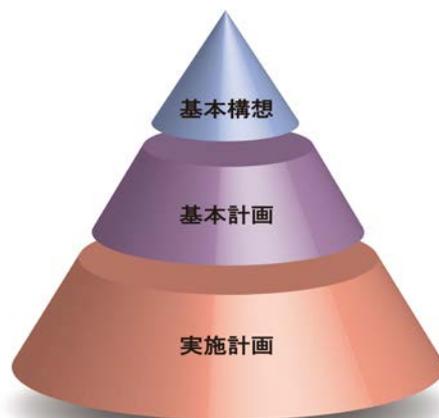
第1章 第一次実施計画について

1. 位置づけ

市川市総合計画は、基本構想が平成12年12月に市議会の議決を経て定められ、基本計画は平成13年3月に策定された。基本構想は、「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」を将来都市像として定め、21世紀の第1・四半世紀（概ね2025年：平成37年）を目標年度としている。

基本計画は、基本構想を具現化するための基本的な施策を定めるもので、平成13年度（2001年度）から平成22年度（2010年度）の10年間を計画期間とする第一次基本計画のもと、これまでに第一次実施計画（計画期間2001～2005年度）、第二次実施計画（2006～2008年度）、第三次実施計画（2008～2010年度）を推進してきた。

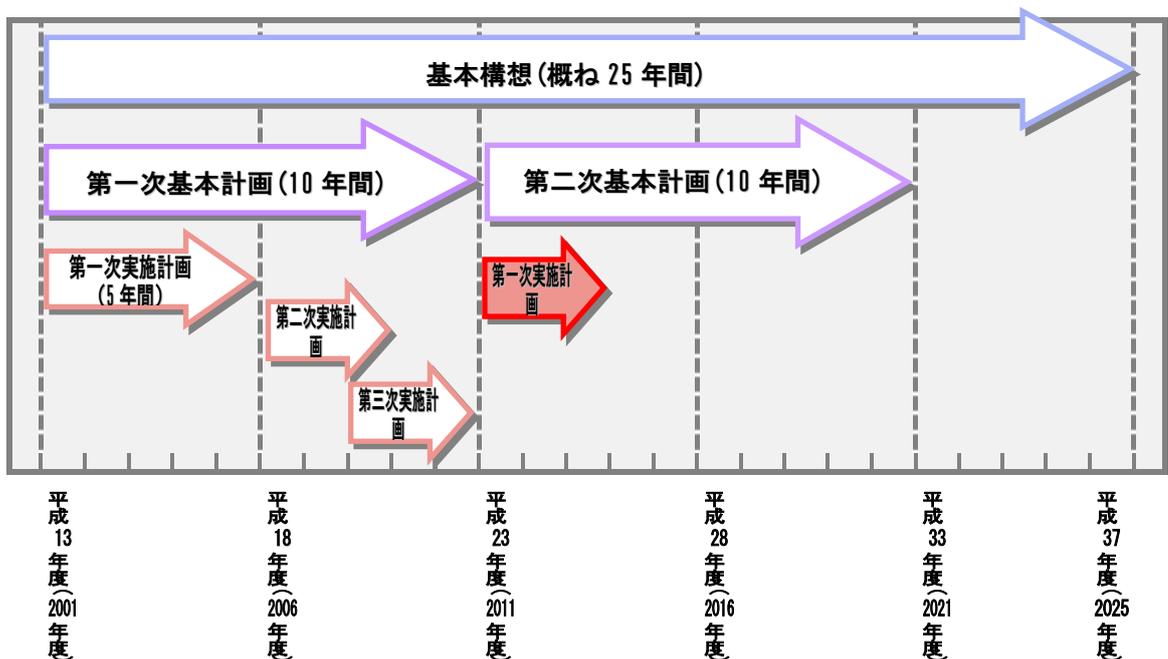
さらに、平成23年度（2011年度）から平成32年度（2020年度）を計画期間とする第二次基本計画のもとで施策を実現するための事業を定めた、第一次実施計画（計画期間2011～2013年度）を策定し推進してきた。



基本構想（計画期間概ね25年）
●本市の目指すべき将来都市像や基本目標を定めています

基本計画（計画期間10年）
●基本構想を具現化するための基本的な施策を定めています

実施計画（計画期間3年）
●基本計画に示された施策を実現するための具体的な事業を定めています



2. 基本的な考え方

基本構想では、将来都市像を実現するために、「真の豊かさを感じるまち」「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」「安全で快適な魅力あるまち」「人と自然が共生するまち」「市民と行政がともに築くまち」の5つの基本目標を定めている。

そして、第二次基本計画では、「保健・医療」等の45の施策(大分類)のもと、中分類102、小分類273に体系化した。

第一次実施計画事業を選定するにあたっては、施策(大分類)を支える中核的な事業や、今後3年間に都市の魅力を高めるために活用できる都市基盤の整備に関する事業、全国に先駆けて行うなど、市川市を特徴づける事業などについて、中分類ごとに1事業選定することを基本に据えた。

また、耐震対策、エネルギー問題など、今日的な問題へ対応する事業についても選定し、第一次実施計画事業として112事業を位置づけた。

実施計画事業は、それぞれの達成度を測るために、事業の活動や成果を示す指標などを表す「数値目標等」を定めている。

第2章 市民意向調査について

1. 調査の概要

(1) 目的

I&I プラン21(市川市総合計画)に基づく第二次基本計画(平成23～32年度)の進捗管理及び第二次実施計画(平成26～28年度)の策定に活用することを目的として、市民の意向を調査した。

(2) 調査の方法

①調査対象：市川市に居住する20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為抽出した。

②調査方法：郵送による調査票の発送・回収とした。

③調査時期：平成25年9月9日から9月24日までとした。

④調査内容：

1. 回答者の属性(性別、年齢、職業、市に住んでいる期間、同居人、居住地)
2. 第一次実施計画事業(112事業)ごとの質・量の感じ方
(期待以上、期待通り、足りない、やり過ぎ)
3. 第二次基本計画施策(45分類)ごとの市の施策に対する満足度
(はい、いいえ、わからない)
4. 自由意見

(3) 配布・回収結果

- ①配布数 : 3,000 票
②有効回答数 : 868 票
③有効回答率 : 28.9%

(4) その他

1. 第二次基本計画の策定にあたって実施した平成22年度市民意向調査の結果を、「前回」として比較している。

(参考)平成22年度市民意向調査

①調査対象：市川市に居住する20歳以上の男女3,000人を住民基本台帳から無作為抽出した。

②調査方法：郵送による調査票の発送・回収とした。

③調査時期：平成22年8月2日から8月17日までとした。

2. 本報告書において掲載した回答の割合については、それぞれ小数点第二位を四捨五入した結果を表示しているため、合計が100%にならない場合がある。

2. 調査結果の概要

(1) 施策(大分類)

第二次基本計画（平成23年度～平成32年度）に定めた45の大分類ごとに、市の施策に対する満足度を調査した。

【質問】

市の「施策」に満足していますか。（45の大分類ごと）

【回答】

・はい ・いいえ ・わからない

（それぞれ当てはまるもの1つに○をつける）

●総合

- ・はい（満足）と回答した割合は、前回調査（平成22年度）より31.3ポイント（18.0ポイント→49.3ポイント）増加した。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、前回調査（平成22年度）より0.8ポイント（25.5ポイント→24.7ポイント）減少した。
- ・わからないと回答した割合は、前回調査（平成22年度）より30.5ポイント（56.5ポイント→26.0ポイント）減少した。

●年齢別

- ・はい（満足）と回答した割合は、30歳代が最も高く（53.4%）、20歳代が最も低い（44.0%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、50歳代が最も高く（26.1%）、30歳代が最も低い（22.1%）。
- ・わからないと回答した割合は、20歳代が最も高く（31.6%）、40歳代が最も低い（23.6%）。

●地区別

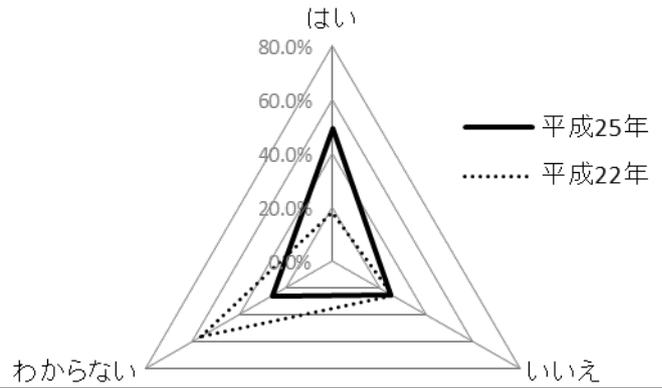
- ・はい（満足）と回答した割合は、八幡地区が最も高く（54.6%）、行徳地区が最も低い（43.6%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、宮久保地区が最も高く（28.6%）、本八幡南地区が最も低い（20.7%）。
- ・わからないと回答した割合は、行徳地区が最も高く（30.9%）、中山地区が最も低い（21.6%）。

●居住年数別

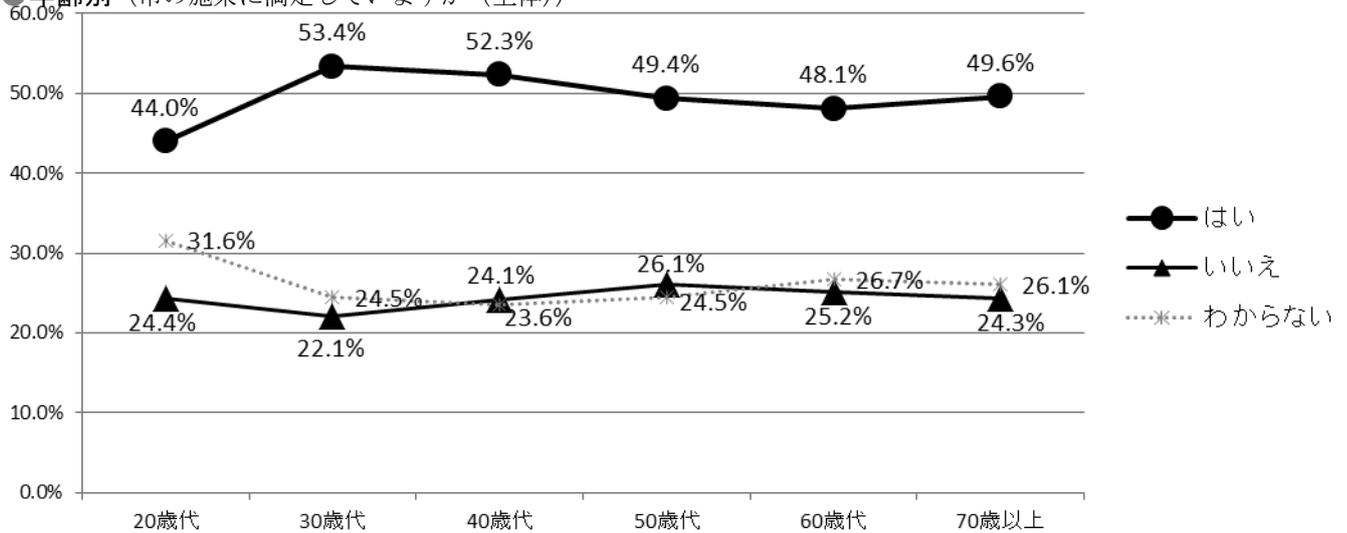
- ・はい（満足）と回答した割合は、30年以上が最も高く（50.7%）、5～10年未満が最も低い（46.6%）。
- ・いいえ（不満足）と回答した割合は、5年未満が最も高く（25.6%）、5～10年未満が最も低い（23.6%）。
- ・わからないと回答した割合は、5～10年未満が最も高く（29.9%）、30年以上が最も低い（24.2%）。

●総合（市の施策に満足していますか（全体））

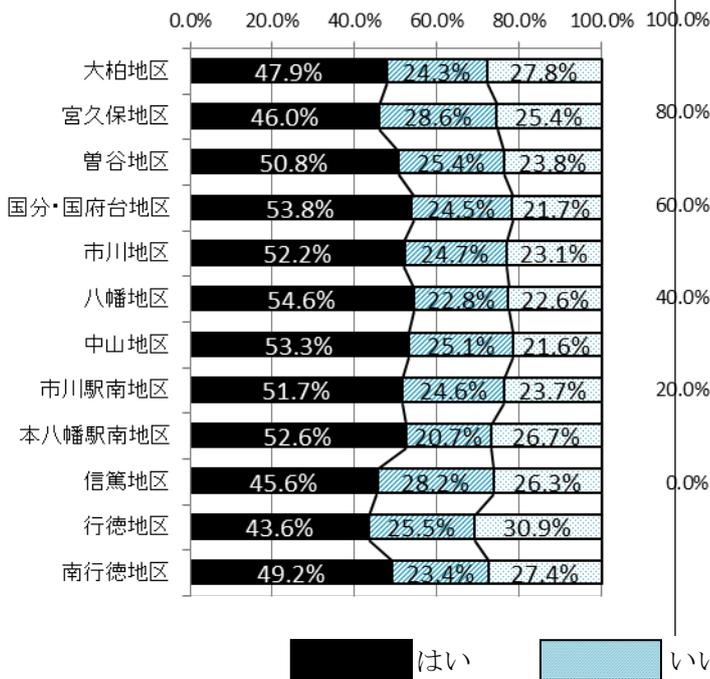
項目	平成25年	平成22年
はい	49.3%	18.0%
いいえ	24.7%	25.5%
わからない	26.0%	56.5%
計	100.0%	100.0%



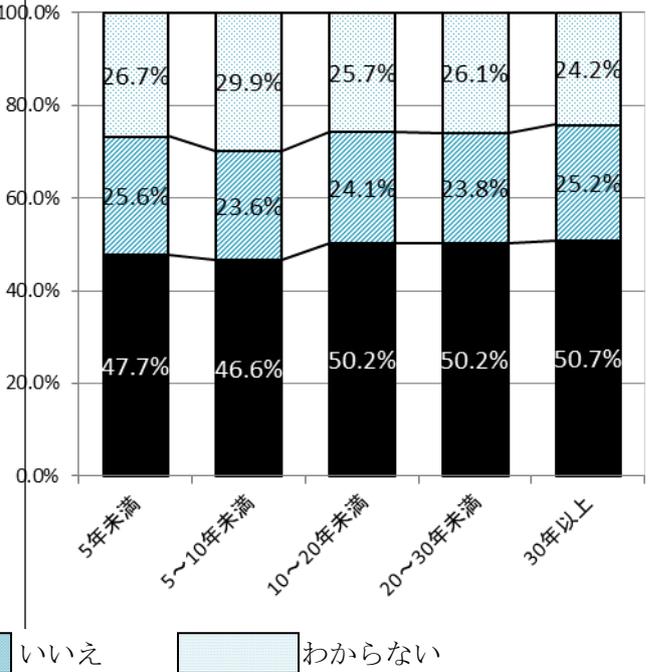
●年齢別（市の施策に満足していますか（全体））



●地区別（市の施策に満足していますか（全体））



●居住年数別（市の施策に満足していますか（全体））



(2) 第一次実施計画事業

第一次実施計画（平成23年度～平成25年度）に位置づけた112の事業ごとに、事業の質と量の感じ方を調査した。

【質問】

ご自身が抱いていた「施策の目標」への期待の度合と比べて「実施計画事業」の質・量をどう感じましたか。（112事業ごと）

【回答】

・期待以上 ・期待通り ・足りない ・やりすぎ
（それぞれ当てはまるもの1つに○をつける）

●期待以上

- ・期待以上と回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 住民票等コンビニ交付事業（9.0%）
 - 小学校・中学校耐震改修事業（8.8%）
 - 学校給食費負担軽減事業（7.8%）
 - 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業（5.8%）

●期待通り

- ・期待通りと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 保存文書整備事業（80.6%）
 - 情報公開・個人情報保護事業（76.3%）
 - セキュリティ構築事業（75.1%）
 - クリーンセンター延命化事業（74.7%）

●足りない

- ・足りないと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 若年者等就労支援事業（52.8%）
 - 勤労者労働相談事業（49.5%）
 - 保育園整備計画事業（48.0%）
 - 防災用品備蓄事業（47.5%）

●やりすぎ

- ・やりすぎと回答した割合の高い事業は下記のとおりであった。
 - 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業（16.8%）
 - 仮称文学館整備事業（16.7%）
 - 市史編さん事業（15.2%）
 - 職員研修事業（14.6%）

第3章 第一次実施計画の事業費及び達成状況について

1. 年度別事業費

第一次実施計画 112 事業の事業費は次のとおりである。

(単位：千円)

	事業数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	3 カ年計画 合計額
		実績額 (計画額) 対計画額・執行率	実績額 (計画額) 対計画額・執行率	実績額 (計画額) 対計画額・執行率	
真の豊かさを感じる まち	35	16,729,106 (17,482,173)	17,093,039 (18,162,707)	17,621,013 (17,302,061)	51,443,158 (52,946,941)
		△753,067 95.7%	△1,069,668 94.1%	318,952 101.8%	△1,503,783 97.2%
彩り豊かな文化と芸術を 育むまち	6	70,420 (74,859)	139,664 (150,803)	30,294 (49,068)	240,378 (274,730)
		△4,439 94.1%	△11,139 92.6%	△18,774 61.7%	△34,352 87.5%
安全で快適な魅力ある まち	39	8,593,477 (9,131,498)	11,142,536 (12,530,422)	7,201,739 (9,494,644)	26,937,752 (31,156,564)
		△538,021 94.1%	△1,387,886 88.9%	△2,292,905 75.9%	△4,218,812 86.5%
人と自然が共生する まち	15	2,653,873 (3,629,529)	6,116,854 (6,101,833)	3,291,472 (3,731,479)	12,062,199 (13,462,841)
		△975,656 73.1%	15,021 100.2%	△440,007 88.2%	△1,400,642 89.6%
市民と行政がともに 築くまち	17	611,858 (623,441)	1,599,914 (674,529)	266,343 (572,388)	2,478,115 (1,870,358)
		△11,583 98.1%	925,385 237.2%	△306,045 46.5%	607,757 132.5%
合 計	112	28,658,734 (30,941,500)	36,092,007 (37,620,294)	28,410,861 (31,149,640)	93,161,602 (99,711,434)
		△2,282,766 92.7%	△1,528,287 95.9%	△2,738,779 91.2%	△6,549,832 93.4%

2. 達成状況について（自己評価）

第一次実施計画 112 事業の達成状況評価は次のとおりである。

	十分達成した	概ね達成した	やや不十分だった	不十分だった
真の豊かさを感じるまち	29 事業	1 事業	2 事業	3 事業
彩り豊かな文化と芸術を育むまち	5 事業	—	1 事業	—
安全で快適な魅力あるまち	27 事業	4 事業	2 事業	6 事業
人と自然が共生するまち	9 事業	1 事業	3 事業	2 事業
市民と行政がともに築くまち	12 事業	4 事業	1 事業	—
合 計	82 事業 (73.2%)	10 事業 (8.9%)	9 事業 (8.0%)	11 事業 (9.8%)

第4章 基本目標別考察

基本目標 1 真の豊かさを感じるまち

私たちは、人生のどの時代においても、誰もが夢と活力に満ちた真の豊かさを実感できるようなまちをつくります。

○施策の方向

- (1)健康で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちをつくります
- (2)豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てます
- (3)生きがいを見いだす、いきいきとした生涯学習社会をつくります
- (4)誰もが安心して働くことができる環境をつくります
- (5)人権を尊重し、世界平和に貢献します

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
保健・医療	61.3%(↑35.4%)	17.6%(↓18.2%)	21.1%(↓17.2%)
子育て	39.6%(↑30.1%)	30.1%(↑2.7%)	30.3%(↓32.8%)
地域福祉	42.0%(↑30.6%)	26.7%(↓2.7%)	31.3%(↓27.9%)
障害者福祉	37.7%(↑28.9%)	27.6%(↑2.9%)	34.8%(↓31.7%)
高齢者福祉	36.5%(↑27.3%)	34.3%(↑9.9%)	29.2%(↓37.2%)
社会保障・住まい	47.4%(↑34.5%)	26.8%(↓14.8%)	25.8%(↓19.7%)
スポーツ	50.7%(↑36.4%)	27.2%(↓1.4%)	22.1%(↓35.0%)
子どもの教育	49.2%(↑30.7%)	21.7%(↓5.4%)	29.1%(↓25.3%)
生涯学習	59.6%(↑48.5%)	18.5%(↓6.3%)	21.9%(↓42.2%)
雇用・労働	30.9%(↑26.2%)	42.6%(↑8.6%)	26.5%(↓34.8%)
消費生活	51.2%(↑43.1%)	21.7%(↑2.9%)	27.1%(↓46.0%)
人権・男女共同参画	44.2%(↑27.1%)	22.5%(↑7.3%)	33.4%(↓34.3%)
平和	53.6%(↑35.3%)	18.9%(↑7.7%)	27.5%(↓43.0%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「子育て」「障害者福祉」「高齢者福祉」「雇用・労働」では30代と、満足している市民の割合が低い。

○大分類 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分 達成	概ね 達成	やや 不十分	不十分
保健・医療	4	11,436,355	11,095,936	△340,419 97.0%	3	1		
子育て	3	3,884,565	4,891,334	1,006,769 125.9%	3			
地域福祉	3	221,037	215,297	△5,740 97.4%	3			
障害者福祉	4	1,644,684	1,291,769	△352,915 78.5%	3			1
高齢者福祉	2	9,240,918	9,426,919	186,001 102.0%	2			
社会保障・住まい	2	14,726,303	13,545,632	△1,180,671 92.0%			1	1
スポーツ	1	463,775	211,509	△252,266 45.6%	1			
子どもの教育	7	10,972,754	10,603,368	△369,386 96.6%	7			
生涯学習	2	223,488	45,616	△177,872 20.4%	1			1
雇用・労働	2	5,836	5,515	△321 94.5%	1		1	
消費生活	1	53,228	49,066	△4,162 92.2%	1			
人権・男女共同参画	2	33,756	33,740	△16 100.0%	2			
平和	2	40,242	27,457	△12,785 68.2%	2			
計	35	52,946,941	51,443,158	△1,503,783 97.2%	29	1	2	3

■事業費

基本目標1全体での執行率は97.2%であった。しかし、「スポーツ」及び「生涯学習」においては、執行率は45.6%、20.4%と低い。

「スポーツ」において執行率が低かった理由は、国府台野球場の夜間照明設備の新設を見送った(19. スポーツ施設整備・改修事業)ことによる。

「生涯学習」において執行率が低かった理由は、IC タグによる蔵書管理が市川駅南口図書館のみに留まり他の図書館に推進できなかった(28. 蔵書管理効率化事業)ことによる。

■達成状況(自己評価)

全体では86%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、2事業で「やや不十分」、3事業で「不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、優先すべき営繕事業を実施計画期間中に整理しそれに従い事業を実施したため当初の計画との差異が生じた(18. 市営住宅営繕事業)、数値目標の「ジョブ・サポート・いちかわ」の利用者数が当初の計画よりも26%少なかった(29. 若年者等就労支援事業)

ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、広報掲載等で視覚障害者ガイドヘルパー講座の受講者募集に努めたが、新規の受講者が少なく登録者も当初の計画よりも67%少なかった(12. 地域生活支援事業)、数値目標の特定健康診査の受診率が当初の計画よりも22.4%低かった(17. 国民健康保険特別会計)、ICタグによる蔵書管理が市川駅南口図書館のみに留まり他の図書館に推進できなかった(28. 蔵書管理効率化事業)ためである。

【基本目標1 真の豊かさを感じるまち の考察】

- ・基本目標1の13施策は、対象となる年代が限られている施策が多い。満足度を高めるには市の事業の内容をすべての年代に積極的に公表し、理解してもらうことが必要である。
- ・「子育て」「障害者福祉」「高齢者福祉」「雇用・労働」の施策では、市の達成状況評価で「十分達成した」事業が多かったが、市民意向調査では「満足している」と回答した人の割合が30%代と低かった。
- ・第二次実施計画では、満足度が低い「子育て」「障害者福祉」「雇用・労働」の施策は、課題解決のために複数の事業で対応していく必要がある。また、「高齢者福祉」については、介護予防において一次予防及び二次予防を推進していく必要がある。



基本目標 2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

私たちは、日々の暮らしの中に「ゆとり」、「やすらぎ」、「楽しみ」、「遊び」などを求めます。そして、それらを生み出すため、暮らしの中に彩りのある文化と芸術を育みます。

○施策の方向

- (1) 芸術・文化を身近に感じるまちをつくります
- (2) 文化的資産や伝統文化をまちの活性化に活かします
- (3) 暮らしの中で「まちの文化」を育みます

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
芸術・文化	54.7%(↑29.3%)	17.5%(↑1.9%)	27.8%(↓31.2%)
文化的資産	54.5%(↑28.4%)	17.8%(↑4.5%)	27.7%(↓32.9%)
文化の創造	58.3%(↑41.4%)	19.7%(↑3.0%)	22.1%(↓44.3%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画)執行率	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
芸術・文化	2	123,629	123,018	△611 99.5%	2			
文化的資産	1	94,683	66,753	△27,930 70.5%			1	
文化の創造	3	56,418	50,607	△5,811 89.7%	3			
計	6	274,730	240,378	△34,352 87.5%	5		1	

■事業費

基本目標2全体での執行率は87.5%とやや低い。

「文化的資産」において執行率が低かった理由は、調査委託内容の見直しを行ったほか、市史編さん調査員が計画よりも少人数となった(38.市史編さん事業)ことによる。

■達成状況 (自己評価)

全体では83%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、1事業で「やや不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、数値目標のシンポジウム・市民向けの講演会・講座参加者

数が当初の計画よりも25%少なかった（38.市史編さん事業）ためである。

【基本目標2 彩り豊かな文化と芸術を育むまち の考察】

- ・全ての大分類において市民満足度が高かった。一方で、年代別に満足度をみると、20歳代は40%代と、他の年代に比べて低くなっている※。このため、若年層への啓発及び若年層が積極的に文化・芸術に触れ、参加することが重要である。第二次実施計画では、この点に着目して事業選定を行う。

※年代別にみた満足している人の割合

大分類	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
芸術・文化	46.3%	44.1%	53.6%	56.6%	60.4%	59.2%	54.7%
文化的資産	46.3%	50.5%	54.5%	55.2%	57.4%	57.2%	54.5%
文化の創造	46.4%	64.7%	61.6%	61.0%	56.0%	58.3%	58.3%

基本目標3 安全で快適な魅力あるまち

私たちは、安全で快適な都市環境のもとで、人と人が交流する魅力に満ちたまちづくりを進めます。

○施策の方向

- (1)安全で安心して暮らせるまちをつくります
- (2)快適な暮らしを支え、質の高い都市基盤整備を進めます
- (3)自然、歴史、社会環境などを活かして、バランスのとれた魅力ある土地利用を図ります
- (4)産業を振興し、活力あるまちをつくります

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
危機管理・消防	46.0%(↑16.5%)	33.0%(↑14.6%)	21.0%(↓31.1%)
治水	53.6%(↑19.8%)	27.2%(↑5.8%)	19.2%(↓25.6%)
防犯	49.6%(↑30.0%)	36.2%(↓4.6%)	14.2%(↓25.4%)
交通安全	41.8%(↑24.5%)	41.8%(↓13.4%)	16.4%(↓11.1%)
ユニバーサルデザイン	50.8%(↑40.4%)	28.6%(↑4.4%)	20.6%(↓44.8%)
道路・交通	43.3%(↑32.9%)	37.9%(↓25.8%)	18.8%(↓7.1%)
下水道	53.5%(↑18.3%)	24.9%(↓1.2%)	21.6%(↓17.1%)
住宅・住環境	46.2%(↑17.8%)	30.3%(↓2.6%)	23.5%(↓15.2%)
公共施設	53.0%(↑27.7%)	22.9%(↓5.1%)	24.1%(↓22.6%)
土地利用	43.9%(↑19.0%)	27.3%(↑0.7%)	28.8%(↓19.7%)
景観	50.3%(↑18.4%)	23.6%(↓8.7%)	26.1%(↓9.7%)
商工業	46.8%(↑28.4%)	23.5%(↑0.3%)	29.7%(↓28.7%)
都市農業	49.1%(↑36.4%)	23.2%(↑5.8%)	27.7%(↓42.2%)
水産業	41.7%(↑37.6%)	23.7%(↑9.0%)	34.6%(↓46.6%)

■市民評価（市の取り組みに対する満足度）

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「交通安全」「道路・交通」「土地利用」「水産業」では、満足している市民の割合が低い。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
危機管理・消防	4	582,008	504,033	△77,975 86.6%	4			
治水	3	1,724,751	616,299	△1,108,452 35.7%	3			
防犯	1	30,075	27,352	△2,723 90.9%		1		
交通安全	5	555,319	283,662	△271,657 51.1%	2	1		2
ユニバーサルデザイン	2	381,000	390,768	9,768 102.6%	2			
道路・交通	6	7,092,920	4,556,998	△2,535,922 64.2%	4	1	1	
下水道	1	6,727,000	5,900,214	△826,786 87.7%	1			
住宅・住環境	3	6,884,273	6,820,078	△64,195 99.1%	2			1
公共施設	3	3,734,606	4,404,384	669,778 117.9%	2		1	
土地利用	1	342,697	360,221	17,524 105.1%				1
景観	2	15,578	5,897	△9,681 37.9%	2			
商工業	3	3,005,325	2,996,742	△8,583 99.7%	3			
都市農業	3	63,445	64,640	1,195 101.9%	1	1		1
水産業	2	17,567	6,464	△11,103 36.8%	1			1
計	39	31,156,564	26,937,752	△4,218,812 86.5%	27	4	2	6

■事業費

基本目標3全体での執行率は86.5%であった。しかし、「治水」「交通安全」「景観」「水産業」においては、執行率は35.7%～51.1%と低い。

「治水」において執行率が低かった理由は、用地買収の遅れにより工事が延期となった(44.都市基盤河川改修事業)、財政状況により鬼高排水機場の整備が先送りとなった(46.排水施設整備事業)ことによる。

「交通安全」において執行率が低かった理由は、当初の計画通りに土地の買収が行えなかった(48.まごころ道路整備事業)、申請件数が伸びず補助金が小額となった(49.狭あい道路対策事業)、耐震化を予定していた橋りょうについて、撤去を含めた検討を行うこととし工事を見送った(50.橋りょう補修事業)、自転車安全利用の街頭指導を委託ではなくマナー条例指導員が兼務で行う方式にした(52.自転車安全利用啓発事業)ことによる。

「景観」において執行率が低かった理由は、修景にかかった費用が計画よりも安価となった(68. 中山参道地区街なみ環境整備事業)ことによる。

「水産業」において執行率が低かった理由は、東日本大震災後に地震・津波対策への対応が必要となったため、予定していた実施設計が先送りとなった(76. 市川漁港整備事業)ことによる。

■達成状況（自己評価）

全体では79.5%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、2事業で「やや不十分」、6事業で「不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、立体化の推進について、外環道路の供用開始後の状況を見極めるものとした(56. 京成本線立体化事業)、武蔵野線沿線地域の街づくりの検討について、関係機関との協議・調整の中で実現性判断のための十分な回答が得られなかったこと、また、民間企業等の需要動向を把握しこれまでに提案されたプロジェクト案についての更なる検証が必要となった(112. 市街化調整区域の土地利用)ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、平成25年度より原則、市が道路整備や測量分筆を行う制度としたが、それまでは市民に一部の費用負担が生じるものであったことから実績が伸びず当初計画との差異が生じた(49. 狭あい道路対策事業)、耐震化を予定していた橋りょうについて、撤去も含めた検討を行うこととなったことから耐震化を実施せず、当初計画との差異が生じた(50. 橋りょう補修事業)、数値目標として設定した相談件数が、当初の計画に比べ79%少なかった(63. 住宅住宅リフォーム推進事業)、当初の計画では造成工事・施設建設に着手する予定であったが事業認可取得に留まったこと(67. 塩浜地区整備事業)、当初の計画では農産物のブランド化を目指していたが、その後の実証実験及びアンケート調査等により、市民はブランド化ではなく安全安心な野菜を求めていることがわかったことから、ブランド化を行わず24年度をもって事業を終了した(74. 市川市農産物ブランド化推進事業)、東日本大震災後に見直された地震・津波対策への対応が必要となったことから、当初計画よりも進捗が遅れた(76. 市川漁港整備事業)ためである。

【基本目標3 安全で快適な魅力あるまち の考察】

- ・満足度が低かった「交通安全」「道路・交通」「土地利用」「水産業」の施策は、着実に事業を進めていかなければならない。街の質を高めるには、引き続き生活道路の改善、下水道や主要道路の整備など、都市基盤整備に積極的に取り組んでいく必要がある。
- ・「危機管理・消防」は、今後起こりうる災害に対応する重要な施策である。第二次実施計画では、満足度を高めるとともに自助、共助を支援する視点が重要である。



基本目標 4 人と自然が共生するまち

私たちは、快適で住み良い環境を目指して、その保全と創造に努め、自然と共生するまちを次世代に引き継いでいきます。

○施策の方向

- (1) 自然を大切にし、やすらぎと潤いのあるまちをつくります
- (2) 環境への負荷の少ないまちをつくります
- (3) 廃棄物の発生を抑制し資源循環型のまちをつくります

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
自然環境	49.8%(↑22.7%)	22.0%(↓0.8%)	28.2%(↓21.9%)
公園・緑地	49.7%(↑23.3%)	25.1%(↓10.5%)	25.1%(↓12.9%)
河川・水辺	48.7%(↑26.0%)	23.2%(↓5.0%)	28.1%(↓21.0%)
地球環境	42.2%(↑34.4%)	30.5%(↑0.7%)	27.2%(↓35.2%)
生活環境	48.4%(↑22.7%)	29.2%(↑1.7%)	22.5%(↓24.3%)
資源循環型社会	65.3%(↑40.7%)	18.4%(↑2.3%)	16.4%(↓42.9%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「資源循環型社会」以外は、満足している市民の割合が5割を切っている。

○大分類別 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画)執行率	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
自然環境	2	10,693	3,837	△6,856 35.9%	2			
公園・緑地	4	766,905	160,122	△606,783 20.9%	1		1	2
河川・水辺	2	138,000	84,480	△53,520 61.2%	1		1	
地球環境	2	95,410	81,290	△14,120 85.2%	1	1		
生活環境	2	256,632	172,621	△84,011 67.3%	1		1	
資源循環型社会	3	12,195,201	11,559,849	△635,352 94.8%	3			
計	15	13,462,841	12,062,199	△1,400,642 89.6%	9	1	3	2

■事業費

基本目標4全体での執行率は89.6%であった。しかし、「自然環境」「公園・緑地」においては、執行率はそれぞれ35.9%、20.9%と低い。

「自然環境」において執行率が低かった理由は、(仮称)生物多様性いちかわ戦略の策定を事業者へ委託して行う予定であったが職員による内部業務とした(78. 生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業)、市民啓発を目的にパンフレットを作成する予定であったが市公式Webサイトを活用し啓発を行った(79. 環境学習推進事業)ことによる。

「公園・緑地」において執行率が低かった理由は、交渉が整わず用地取得と整備工事が先送りとなった(80. 国府台緑地整備事業、81. 小塚山公園整備拡充事業)、サイン設置工事を先送りとした(83. 水と緑の回廊事業)ことによる。

■達成状況(自己評価)

全体では66.7%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、3事業で「やや不十分」、2事業で「不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、当初計画していたサインの設置工事が行えなかった(83. 水と緑の回廊事業)、干潟的環境への取り組みである塩浜二丁目地先への砂付けについて県担当部署と協議を続けているが、県と市との考えに相違があり合意に至っていない(84. 三番瀬保全再生事業)、監視機器の更新について計画期間中に見直しを行ったことにより、当初計画していた台数との差異が発生した(88. 大気常時監視整備事業)ためである。

また、「不十分」と評価した理由は、当初計画していた通りに用地の買収が進まなかった(80. 国府台緑地整備事業、81. 小塚山公園整備拡充事業)ためである。

【基本目標4 人と自然が共生するまち の考察】

- ・東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する期待が高まっている。「地球環境」の施策の満足度が特に低いことから、第二次実施計画では、再生可能エネルギーの利用を促進し、省資源・省エネルギーを更に推進する必要がある。
- ・まちの魅力を高めるために、街並み環境の整備や、市民が身近で自然と触れ合うことができる空間の整備が必要である。

基本目標5 市民と行政がともに築くまち

私たちは、豊かな未来を築くために市民と行政が協働してまちづくりを進めます。

○施策の方向

- (1) 市民と行政とのパートナーシップのもとでまちをつくります
- (2) まちづくりのための新しいコミュニティをつくります
- (3) 分権時代にふさわしい行財政運営を推進します
- (4) 情報通信技術を市民生活の向上に活かします

○大分類別 市民意向調査結果

大分類	市民満足度 (前回平成22年調査結果との増減差)		
	満足している	満足していない	わからない
協働・市民参加	52.6%(↑42.6%)	18.8%(↑5.8%)	28.6%(↓48.4%)
情報の発信・提供	58.8%(↑40.5%)	14.5%(↓4.8%)	26.7%(↓35.7%)
地域コミュニティ・市民活動	53.5%(↑37.4%)	24.5%(↑8.4%)	22.1%(↓45.7%)
政策展開	48.3%(↑37.8%)	17.4%(↓6.5%)	34.3%(↓31.3%)
行政体制	42.2%(↑34.9%)	23.3%(↓3.5%)	34.5%(↓31.4%)
窓口・相談機能	58.9%(↑25.3%)	19.1%(↓2.1%)	21.9%(↓23.3%)
財政運営	53.3%(↑44.8%)	17.1%(↓5.2%)	29.6%(↓39.6%)
広域行政	50.5%(↑39.9%)	16.1%(↓0.2%)	33.5%(↓39.6%)
情報化	57.9%(↑36.8%)	15.3%(↑0.6%)	26.7%(↓37.5%)

■市民評価 (市の取り組みに対する満足度)

市の取り組みに対する満足度は、全ての大分類において、「満足している」人の割合が前回の調査よりも高くなった。しかし、「政策展開」「行政体制」については、満足している市民の割合が5割を切っている。

○大分類 事業費等

大分類	事業数	事業費			達成状況評価(事業数)			
		計画額(千円)	実績額(千円)	差額(実績-計画) 執行率	十分 達成	概ね 達成	やや 不十分	不十分
協働・市民参加	1	0	0	0 —	1			
情報の発信・提供	3	127,012	129,593	2,581 102.0%	2	1		
地域コミュニティ・市民活動	2	277,779	272,474	△5,305 98.1%	1	1		
政策展開	3	24,912	35,539	10,627 142.7%	2	1		
行政体制	1	48,818	42,798	△6,020 87.7%	1			
窓口・相談機能	1	45,270	42,216	△3,054 93.3%	1			
財政運営	2	849,519	1,459,859	610,340 171.8%		1	1	
広域行政	1	500	500	0 100.0%	1			
情報化	3	496,548	495,136	△1,412 99.7%	3			
計	17	1,870,358	2,478,115	607,757 132.5%	12	4	1	

■事業費

基本目標5全体での執行率は132.5%であった。

「政策展開」においてe-モニターシステムのリニューアルを行いスマートフォン対応とした(99.e-モニター制度運営事業)こと、「財政運営」において平成23年度に財政調整基金条例を改正し決算剰余金の1/2を基金に積み立てるようになった(104.財政調整基金積立金)こと等により当初の計画額を上回る実績額となった。

■達成状況(自己評価)

全体では88%の事業が「十分達成」「概ね達成」との評価だが、1事業で「やや不十分」となった。

「やや不十分」と評価した理由は、平成24及び25年度に基金の取り崩しを行い現在高が計画を下回った(104.財政調整基金積立金)ためである。

【基本目標5 市民と行政がともに築くまちの考察】

- ・「市民と行政がともに築くまち」においては、市民や行政が多様な主体との協働によりまちづくりを進めていくことが重要である。このため、第二次実施計画では、協働や地域コミュニティについて重点的に取り組んでいく必要がある。
- ・「行政体制」では、現在抱える行政課題に対応した事業を、的確に選定する必要がある。

第2編 事業別実績報告

第1章 個表の見方について

1. 達成状況等について

達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	0,000,000千円/0,000,000千円=00.0%
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	000人/000人×100=00点
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]	

達成状況欄では、実施計画期間（3年間）における事業費の計画額と実績額を比較する「事業費比較」と、3年間の数値目標等を比較する「数値目標等比較」を行いました。

また、「数値目標等比較」に従い「達成状況」を4段階で評価しました。

(1) 事業費比較

事業費比較は、[実績の事業費]÷[計画の事業費]で算出し、百分率(%)で表します。

(実績の事業費：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額等としました) 小数点第二位を四捨五入し、表示単位は小数点第一位までとします。なお、下記事業における基金への積立金については、より多くの金額を積み立てることが目標となっているため、事業費比較は100%以上となることを目指しています。

66. 庁舎整備事業

104. 財政調整基金積立金

(2) 数値目標等比較

数値目標等比較は、タイプ別に算出方法や表現が違います。

(数値や率の場合)

[実績の数値・率]÷[計画の数値・率]×100で算出し、点数で表現します。

小数点第一位を四捨五入し、表示単位は整数とします。

例：(数値の場合) 0,000人(実績) / 0,000人(計画) ×100=00点

(率の場合) 00.0ポイント(実績) / 00.0ポイント(計画) ×100=00点

(条件等の場合)

文章で表現されている場合（「計画の策定」など）は、

[計画での目標等]⇒[実績の状態] 点数 と表現します。

例：基本計画の策定⇒基本計画の策定 100点

造成工事着手⇒事業認可取得 50点

点数は便宜上、計画よりも進んだ場合150点、計画どおり100点

計画の一部を達成している場合50点、何も達成していない場合0点

とします。

※実施計画で定めた数値目標等は、通常、計画を上回ることを目標としていますが、下記の事業については、指標が下回ることを目指しました。

そのため、点数の算出方法を変更しています。

$$[\text{実績の数値} \cdot \text{率}] \div [\text{計画の数値} \cdot \text{率}] \times 100 = A \text{点}$$

数値が下回ることを目指している為、100点-A点を計算し、算出された点数を100点に加算する。

例：(路上禁煙・美化推進地区内の吸殻の数)

計画 397 本 ⇒ 実績 352 本

$$\text{実績 } 352 \text{ 本} / \text{計画 } 397 \text{ 本} \times 100 = 89 \text{ 点}$$

⇒数値が下回ることを目指している為、

$$100 - 89 = 11 \text{ 点を加点して、} 111 \text{ 点とする。}$$

31. 消費生活センター相談及び啓発事業 (消費生活に関する相談件数)

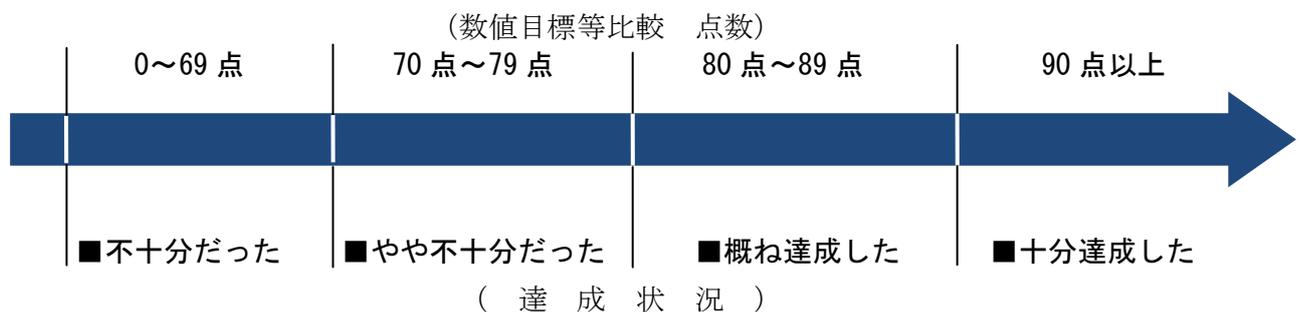
89. 市民マナー条例推進事業 (路上禁煙・美化推進地区内の吸殻の数)

91. 分別収集促進事業 (排出量 (一日一人当たりの排出量))

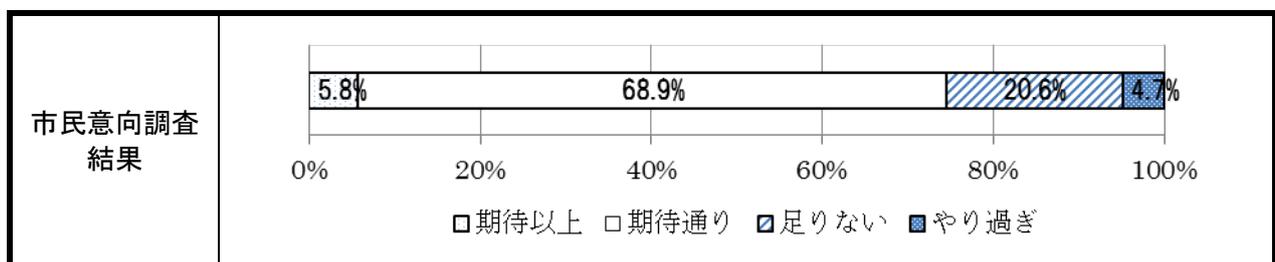
103. 総合市民相談・案内事業 (市民相談件数)

(3) 達成状況

達成状況は「数値目標等比較」の結果に従って、下記のとおりとした。



2. 市民意向調査結果について



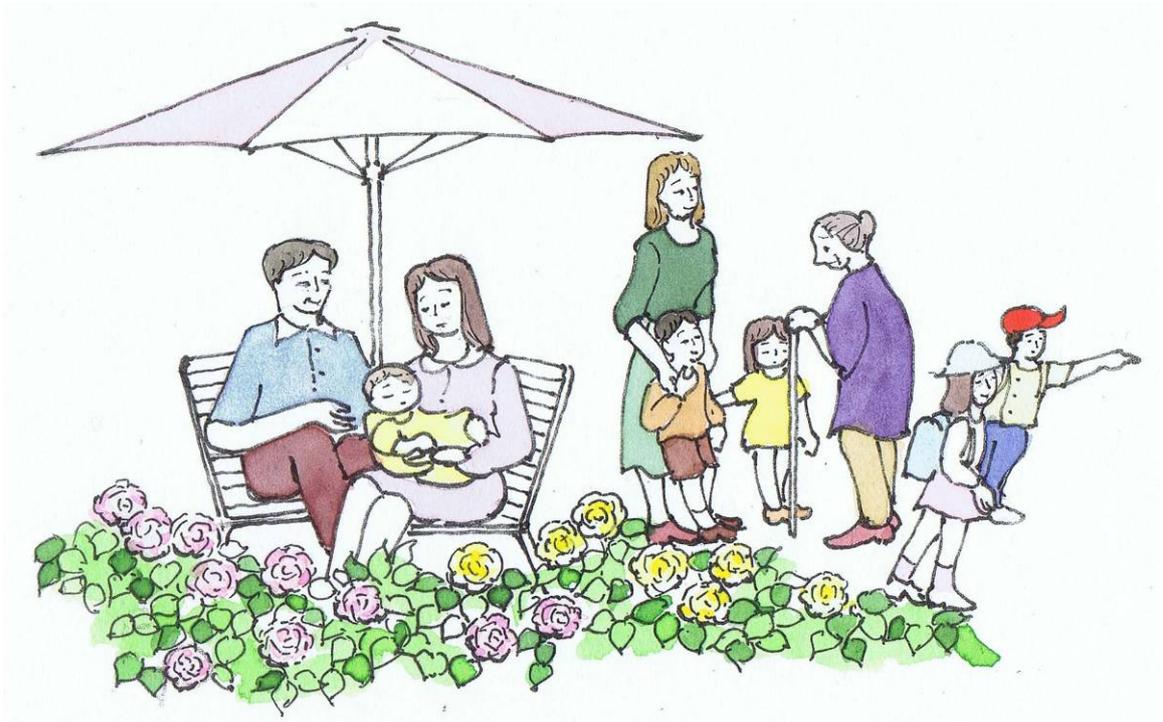
市民意向調査結果欄では、事業ごとに質と量の感じ方を質問した調査結果をグラフで表しました。

【質問】

ご自身が抱いていた「施策の目標」への期待の度合と比べて「実施計画事業」の質・量をどう感じましたか。(112事業ごと)

【回答】

・期待以上 ・期待通り ・足りない ・やり過ぎ
(それぞれ当てはまるもの1つに○をつける)



第2章 実績報告

〔大分類〕 保健・医療
 〔中分類〕 地域における医療環境の充実

■ 実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	1. 東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業 (保健スポーツ部 保健医療課)			
事業計画概要	地域に必要な医療を確保するため、公益社団法人地域医療振興協会の新病院（平成24年度開業予定）建設に対し、市川市と浦安市が2分の1ずつ整備事業補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・建設工事	24年度 ・建設工事 ・既存建物の解体工事	25年度
	実績	・センター建設工事 ・地下埋設物等の撤去工事	・センター建設工事 ・既存建物の解体工事 ・地下埋設物等の撤去工事	
事業費(千円)	計画	1,265,000	1,308,644	
	実績	1,265,000	1,094,374	
数値目標等	計画	診療に供する東京ベイ・浦安市川医療センターの病床数(累計)		
		48床	235床	344床
達成状況等	実績	48床	191床	344床
	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	2,359,374千円/2,573,644千円=91.7%		
達成状況等	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	344床/344床×100=100点		
	東京ベイ・浦安市川医療センターの整備に関する補助金については、平成21年～平成24年を計画年度として、整備事業計画に基づき平成24年度の医療センター完成をもって、計画通り完了した。 新病院の完成により救急搬送は、旧市民病院（平成20年度）と比較して、現在はおよそ2倍の受入を行っている。 病床数についても、平成25年度中には計画通り344床の開設が予定されており、当該事業は十分達成されたものとする。 【 <input checked="" type="checkbox"/> 十分達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> やや不十分だった <input type="checkbox"/> 不十分だった】			
	市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>		

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

〔大分類〕 保健・医療
〔中分類〕 健康づくりの推進

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	2. 妊婦乳児健康診査事業 (保健スポーツ部 保健センター 健康支援課)		
事業計画概要		疾病予防、健康管理の推進のため、妊婦乳児健康診査を実施します。健診により、妊婦及び乳児の疾病を早期に発見し、安心して出産、育児ができる環境整備を行います。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	23年度	24年度	25年度
事業費(千円)		計画	実績	
数値目標等		計画	実績	
達成状況等		(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額 1,301,599千円/1,372,104千円=94.9% (数値目標等比較) 3カ年 実績/計画 161,373人/162,270人×100=99点 妊娠届出数は22年度5,085件、23年度4,850件、平成24年度4,787件と年々減少している。 健診受診延べ件数を妊娠届出数で除した一人当たりの妊婦健康診査受診回数は、23年・24年度ともに11.3回となっている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果		<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 保健・医療
〔中分類〕 健康づくりの推進

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	3. 健康診査事業（保健スポーツ部 保健センター 疾病予防課）		
事業計画概要		疾病予防、健康管理の推進のため、健康診査、がん検診、肝炎検診を実施します。健（検）診によりがんや脳卒中、心臓病等の生活習慣病の早期発見、早期治療につなげ、受診者の健康意識を高めます。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診（胃がん検診、子宮がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診） 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査に準ずる健康診査 肝炎ウイルス検診 がん検診
事業費（千円）	計画	1,122,309	1,165,838	1,186,785
	実績	1,190,850	1,207,817	1,229,826
数値目標等	計画	大腸がん検診の受診者数（年間・延べ）		
	実績	45,900人	47,200人	48,000人
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	3,628,493千円／3,474,932千円＝104.4%		
	（数値目標等比較） 3ヵ年 実績／計画	150,923人／141,000人×100＝107点		
<p>財政的には、計画額どおりの実績となった。指標的にも計画で設定した数値を上回っていることから、事業計画を十分達成したと考える。数値目標等については、実人数としたが、今後、受診率と比較してどちらが適切か検討する必要がある。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 保健・医療
〔中分類〕 公衆衛生の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)		4. 予防接種事業（保健スポーツ部 保健センター 疾病予防課）		
事業計画概要		感染症の予防を図るため、定期予防接種はもとより、任意予防接種である流行性耳下腺炎とともに、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を無料で実施します。		
年度ごとの 事業内容	計画	23 年度 (定期予防接種) ・ポリオ予防接種 ・三種混合 ・BCG ・麻しん風しん混合 ・日本脳炎 ・二種混合 ・高齢者インフルエンザ (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 ・ヒブワクチン ・小児用肺炎球菌 ・子宮頸がん	24 年度 同左	25 年度 同左
	実績	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種(5,965人) ・三種混合 (18,073人) ・BCG (4,052人) ・麻しん風しん混合 (9,492人) ・日本脳炎 (22,822人) ・二種混合 (3,259人) ・高齢者インフルエンザ (44,711人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (3,609人) ・ヒブワクチン (20,948人) ・小児用肺炎球菌 (24,607人) ・子宮頸がん (13,804人)	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種(17,024人) ・三種混合 (13,932人) ・BCG (3,953人) ・麻しん風しん混合 (9,685人) ・日本脳炎 (19,357人) ・二種混合 (2,824人) ・高齢者インフルエンザ (45,288人) ・4種混合 (3,450人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (6,995人) ・ヒブワクチン (17,737人) ・小児用肺炎球菌 (18,378人) ・子宮頸がん (6,992人)	(定期予防接種) ・ポリオ予防接種 (3,000) ・三種混合 (3,000人) ・4種混合 (15,000人) ・BCG (4,200人) ・麻しん風しん混合 (8,100人) ・日本脳炎 (23,250人) ・二種混合 (3,400人) ・高齢者インフルエンザ (46,500人) ・ヒブワクチン (16,300人) ・小児用肺炎球菌 (16,500人) ・子宮頸がん (5,000人) (任意予防接種) ・流行性耳下腺炎 (3,710人)
	事業費(千円)	計画 1,586,675 実績 1,350,008	1,214,500 1,297,837	1,214,500 1,158,625
数値目標等	計画	小児用肺炎球菌の接種者数(年間・延べ)		
	実績	33,120人	19,552人	19,552人
		24,607人	18,378人	16,500人

達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,806,470千円/4,015,675千円=94.8%
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	59,485人/72,224人×100=82点
	発病予防、重症化予防、感染症のまん延予防の目的を達成したが、今後接種者の増加となるよう広報、ホームページを活用していく。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]	
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>	

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子育て

〔中分類〕 子どもの権利保障と配慮を要する子どもの支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	5. 児童虐待対策事業（こども部 子育て支援課）			
事業計画概要	児童虐待防止のため、子ども家庭総合支援センターにおいて、子育て家庭等からの相談や虐待通報などに対応します。また、相談員のほかに児童精神科嘱託医を配置し、迅速で効果的な支援を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・関係機関との協力・連携 ・相談や支援の充実 ・相談体制の強化	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・嘱託医会議、要保護児童対策協議会を定期的に開催することにより、関係機関との連携強化、相談体制の強化に努めた	同左	同左
事業費（千円）	計画	13,252	15,000	15,000
	実績	11,427	11,358	8,933
数値目標等	計画	児童虐待相談件数（年間・延べ） ※将来的には児童虐待自体が減少することで相談件数が減少することを目指していますが、実施計画期間では、相談体制の充実を図ることによる相談件数の増を見込みます		
		3,000件	3,000件	3,000件
	実績	2,320件	3,191件	3,500件
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	31,718千円／43,252千円＝73.3%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	9,011件／9,000件×100＝100点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子育て
〔中分類〕 地域における子育て支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	6. 保育園整備計画事業（こども部 保育計画推進課）			
事業計画概要	待機児童解消のための保育サービスの充実を図るため、社会福祉法人等が国の交付金を受け、実施する施設整備事業に対して、その経費の一部を補助します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・信篤地区への創設 ・新井保育園の増改築 ・e-保育園の分園整備	24年度 ・保育園の創設 ・既存保育園の増改築 ・分園の整備	25年度 ・保育園の創設 ・分園の整備
	実績	・創設1園 キッド・ステイ原木中山保育園 ・増改築2園 新井保育園 百合台保育園	・創設1園 アスク行徳保育園 ・増改築1園 まきば保育園	・創設6園 (仮称)アスク本八幡保育園 (仮称)グローバルキッズ市川園 (仮称)小学館アカデミーいちかわ南保育園 (仮称)メリーポピンズ市川ルーム (仮称)こうぜん市川保育園 (仮称)ありのみ保育園
事業費(千円)	計画	358,141	345,000	220,000
	実績	598,862	234,616	621,631
数値目標等	計画	保育園の定員数(年度当初)		
	実績	5,782人	5,937人	6,077人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,455,109千円/923,141千円=157.6%		
	(数値目標等比較) 増分した定員 実績/計画	693人/465人×100=149点		
22年度からの繰越額が発生したことや、増え続ける待機児童の解消のために当初の計画よりも創設園を増加したため、事業費の実績額は計画額を上回ったが、保育園の定員数は当初の目標を228人上回る事ができた。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 子育て
〔中分類〕 地域における子育て支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	7. 子ども医療費助成事業（こども部 こども福祉課）			
事業計画概要	子どもの健やかな成長と保護者に対する経済支援の充実を図るため、子どもの保険診療に係る患者負担額の一部を助成します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	中学校3年生までの子どもの保険診療にかかる患者負担額の一部を助成 (入院1日につき300円、通院1回につき300円の自己負担金有り 調剤は無料)	同左	同左
	実績	中学校3年生までの子どもの保険診療にかかる患者負担額の一部を助成	同左 (平成24年12月に中学校3年生まで現物給付を拡大)	同左
事業費(千円)	計画	972,724	972,724	972,724
	実績	1,054,958	1,150,840	1,198,709
数値目標等	計画	助成対象年齢 中学校3年生まで		
	実績	中学校3年生まで		
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,404,507千円/2,918,172千円=116.7%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	中学校3年生まで⇒中学校3年生まで 100点		
	事業費については、助成対象者の増加等により、毎年度計画額を超える実績となった。数値目標等は、計画初年度の制度改正により、助成対象を中学校3年生まで拡大し目標を達成した。さらに平成24年12月には、中学校3年生まで現物給付を拡大し、保護者の利便性の向上を図ったことから、事業計画を十分達成したと評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 地域福祉
〔中分類〕 支え合い社会への意識変格

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	8. 地域福祉計画推進事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域における「支え合い」の社会を構築するため、平成25年からの第3期市川市地域福祉計画を策定するとともに、地区推進会議を推進します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市民意向調査アンケート ・地区推進会議の推進	24年度 ・第3期市川市地域福祉計画策定 ・地区推進会議の推進	25年度 ・第3期市川市地域福祉計画推進 ・地区推進会議の推進
	実績	・市民意向調査アンケート ・地区推進会議の推進	・第3期市川市地域福祉計画策定 ・地区推進会議の推進	・第3期市川市地域福祉計画推進 ・地区推進会議の推進
事業費（千円）	計画	2,443	4,340	340
	実績	1,923	1,006	252
数値目標等	計画	第3期市川市地域福祉計画の策定		
	実績	アンケート実施	計画策定	計画推進
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,181千円/7,123千円=44.7%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画→実績	計画推進⇒計画推進 100点		
市民意向調査結果	<p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 地域福祉

〔中分類〕 地域への参加と交流の体制づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	9. 社会福祉事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域住民同士が相互に支えあい、助け合う身近な支援体制づくりのため、社会福祉関連団体が行う地域福祉推進事業に対して、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 社会福祉協議会による ・ボランティア養成講座 ・福祉サービス利用援助事業 ・ボランティアセンターの運営及び各種事業の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	社会福祉協議会による ・ボランティア養成講座 ・福祉サービス利用援助事業 ・ボランティアセンターの運営及び各種事業の実施	同左	同左
事業費（千円）	計画	57,839	57,839	57,839
	実績	57,572	58,430	58,550
数値目標等	計画	ボランティアセンターのボランティア登録数（個人）（年間）		
		490人	520人	550人
	実績	512人	448人	550人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	174,552千円／173,517千円＝100.6%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	1,510人／1,560人×100＝97点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 地域福祉
〔中分類〕 地域の安心と信頼の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	10. 地域ケアシステム推進事業（福祉部 地域福祉支援課）			
事業計画概要	地域の安心と信頼の向上のため、市内14の地区社会福祉協議会が中心に取り組んでいる「地域ケアシステム」における相談事業及びサロン事業に対して、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 地区社会福祉協議会による ・相談事業 ・サロンの開催	24年度 同左	25年度 同左
	実績	地区社会福祉協議会による ・相談事業 ・サロンの開催	同左	同左
事業費（千円）	計画	12,168	13,385	14,844
	実績	11,296	12,831	13,437
数値目標等	計画	誰でも気軽に参加することのできる集まり（サロン）の数（年度末）		
		77箇所	90箇所	100箇所
	実績	84箇所	96箇所	100箇所
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		37,564千円／40,397千円=93.0%	
	（数値目標等比較） 増設サロン数 実績／計画		27箇所／27箇所×100=100点	
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.8% 59.3% 31.7% 6.2%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 障害者福祉
 〔中分類〕 社会参加の促進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	11. 障害者雇用事業（総務部 人事課／教育総務部 教育政策課）			
事業計画概要	障害者の就労を支援するため、障害者が一定期間、市の職員として勤務することができる「チャレンジドオフィスいちかわ」を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市役所本庁舎 事務補助・作業補助 (4名) ・須和田の丘支援学校 学習補助・施設管理補 助(1名)	24年度 同左	25年度 同左
	実績	5人	5人	5人
事業費(千円)	計画	10,623	10,623	10,623
	実績	8,906	8,762	10,491
数値目標等	計画	「チャレンジドオフィスいちかわ」採用人数(年間)		
	実績	5人	5人	5人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	28,159千円/31,869千円=88.4%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	15人/15人×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 3.3% 期待通り 54.6% 足りない 39.9% やり過ぎ 2.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 障害者福祉
〔中分類〕 生活支援の充実

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	12. 地域生活支援事業 (福祉部 障害者支援課)		
事業計画概要		障害者のコミュニケーションの支援及び移動サービスの充実を図るため、地域の特性や利用者の状況に柔軟に応じる「地域生活支援事業」を実施します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・相談支援事業 ・日常生活用具給付等事業 ・地域活動支援センター事業	24年度 ・コミュニケーション事業 ・移動支援事業	25年度 等
	実績	・相談支援事業 ・日常生活用具給付等事業 ・地域活動支援センター事業	・コミュニケーション事業 ・移動支援事業	等
事業費(千円)	計画	419,567	518,458	640,659
	実績	407,934	403,737	428,253
数値目標等	計画	視覚障害者及び知的障害者ガイドヘルパー登録者数(年間)		
	実績	20人	20人	20人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,239,924千円/1,578,684千円=78.5%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	20人/60人×100=33点		
<p>視覚障害者及び知的障害者のガイドヘルパーの研修及び登録については、実施計画策定当初は、視覚障害と知的障害の両方を合計して年間20人の登録を目標とした。</p> <p>しかし、知的障害者ガイドヘルパーについては、民間事業者が自ら研修を実施するようになったことから民間主体による業務として位置付け本市による研修実施は行わないこととした。(なお、民間事業者による研修後に登録したヘルパーは3名であった。)また、視覚障害者ガイドヘルパーについても、広報への掲載、事業者への連絡等により受講者募集の周知に努めたものの新規受講者が少数となったことから、当初の目標よりも登録者が少数となった。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>2.5% 60.8% 30.7% 6.0%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 障害者福祉

〔中分類〕 医療・リハビリテーションの支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	13. 身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業 (福祉部 障害者支援課)			
事業計画概要	リハビリテーション機能の充実を図るため、理学療法士・作業療法士が、拠点のほか施設への巡回や戸別訪問により、肢体不自由の方を対象に訓練・指導を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施	24年度 ・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施 ・戸別訪問の実施	25年度 同左
	実績	・拠点訓練の実施 ・施設巡回の実施	同左	同左
事業費(千円)	計画	5,770	6,611	7,440
	実績	3,828	2,462	3,860
数値目標等	計画	リハビリを受ける人数(年間)		
		60人	80人	105人
達成状況等	実績	57人	62人	105人
	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	10,150千円/19,821千円=51.2%		
達成状況等	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	224人/245人×100=91点		
	<p>障害者団体への説明会や介護事業者への連絡などの啓発活動を行い、24年度は62名にリハビリを行った。但し、通所施設などに在籍している方でリハビリが必要な潜在的ニーズはまだあると考えられ、研修会などを通じて本人や家族、関係者に対し、専門職員によるリハビリの実施とともに、日常生活の中で家族や地域の施設職員が軽易な動作訓練を行う「地域リハビリテーション」の考え方について普及啓発を進めていく。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>2.4% 55.4% 40.1% 2.1%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 障害者福祉
〔中分類〕 地域の理解・支援の促進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	14. 障害者地域生活支援センター等管理運営事業 (福祉部 障害者支援課)			
事業計画概要	障害者への理解を促進するため、相談支援事業などを行う障害者地域生活支援センターを運営するとともに、講演会・研修会などを実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・相談支援事業 ・ピアカウンセラー ・講演会・研修会の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・相談支援事業 ・ピアカウンセラー ・講演会・研修会の実施	同左	同左
事業費(千円)	計画	4,770	4,770	4,770
	実績	4,572	4,613	4,351
数値目標等	計画	講演会・研修会の参加者数(年間)		
		120人	120人	120人
	実績	221人	202人	120人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	13,536千円/14,310千円=94.6%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	543人/360人×100=151点		
	数値目標等に掲げた事業は、重症心身障害児者の食事、排泄などの介助方法の講義及び重症心身障害児者に対する地域への理解の促進をサポートすることを目的とした講演会・研修会等の参加者数である。平成24年度は重症心身障害児者に対する市川の現状を踏まえつつ、全国の取り組みを紹介するシンポジウムに障害関係者だけではなく、一般市民や訪問看護ステーション職員を含めて109名が参加。「肩関節の構造と運動」の講義及び実技指導の研修を3回開催し、実人数で93名参加。研修会では、これまで参加していなかった新たな居宅介護事業所職員等の参加があり、重症心身障害児者に対する理解促進を図ることができた。			
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.7% 57.7% 35.3% 4.4%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 高齢者福祉

〔中分類〕 介護予防と生きがいつくりの充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	15. 介護保険特別会計 (福祉部 高齢者支援課、地域福祉支援課、介護保険課)			
事業計画概要	介護保険の健全な運営を確保するため、一般会計から介護保険特別会計へ資金を支出します。介護保険特別会計では、介護サービス等の充実を図るとともに介護保険財政の円滑な運営に努め、介護予防事業及び包括的支援事業を推進します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 (特別会計での主な事業) ・一次予防事業(いきいき健康教室) ・二次予防事業(通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業)	24年度	25年度
	実績	・一次予防事業 実開催数: 82 教室 延教室数: 2,193 教室 ・二次予防事業 通所型介護予防事業 市内7会場 延321回 訪問型介護予防事業 延209回	・一次予防事業 実開催数: 100 教室 延教室数: 2,640 教室 ・二次予防事業 通所型介護予防事業 市内7会場 延334回 訪問型介護予防事業 延248回	・一次予防事業 (いきいき健康教室) ・二次予防事業 (通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業)
事業費(千円)	計画	2,812,901 (特別会計への繰出金額)	2,985,530 (特別会計への繰出金額)	3,138,487 (特別会計への繰出金額)
	実績	2,808,320	3,001,343	3,159,256
数値目標等	計画	各種事業に参加した人数(年間・延べ) 72,000 人		
	実績	69,902 人	71,424 人	78,000 人
達成状況程度	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	8,968,919 千円/8,936,918 千円=100.4%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	219,326 人/225,000 人×100=97 点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 高齢者福祉
〔中分類〕 介護サービス及び生活支援サービスの充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	16. 特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業 (福祉部 高齢者支援課)			
事業計画概要	介護サービス等の充実を図るため、社会福祉法人の特別養護老人ホーム等の建設に対し、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定員50人及びショートステイ併設型の特別養護老人ホームの整備 ・定員100人の特別養護老人ホームの整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・定員100人の特別養護老人ホーム1カ所の整備
	実績		特別養護老人ホームの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・レガーレ市川 定員50人、ショートステイ定員30人 ・いちかわ翔裕園 定員100人 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員100人の特別養護老人ホーム1カ所の整備
事業費(千円)	計画	304,000	0	154,000
	実績	0	304,000	154,000
数値目標等	計画	特別養護老人ホームの定員数(年度末・累計)		
		652人	802人	902人
	実績	652人	802人	902人
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 458,000千円/458,000千円=100%		
	(数値目標等比較)	増分した定員 実績/計画 250人/250人×100=100点		
		23年度整備分については、震災等の影響による資材の入手難、労務者の不足等により、当初の整備計画工程に遅れが生じ、年度内での工事完了が困難な状況となり、24年度に開設したものの。 25年度整備分については、県からの内示の遅れや震災復興における資材の入手難など、当初の整備計画工程に遅れが生じている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>2.6% 49.9% 43.5% 4.1%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+補正見込み額

〔大分類〕 社会保障・住まい

〔中分類〕 安心して暮らせる社会保障の充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	17. 国民健康保険特別会計（保健スポーツ部 国民健康保険課）			
事業計画概要	国民健康保険の健全な運営を確保するため、一般会計から国民健康保険特別会計へ資金を支出します。国民健康保険特別会計では、生活習慣病を予防するため、40歳以上の国民健康保険加入者を対象として特定健康診査及び特定保健指導を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 (特別会計での主な事業) ・特定健康診査の実施 ・特定保健指導の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・特定健康診査 35,266人 ・特定保健指導 444人	・特定健康診査 35,688人 ・特定保健指導 1,035人	・特定健康診査 36,300人 ・特定保健指導 1,080人
事業費(千円)	計画	4,400,000 (特別会計への繰出金額)	4,852,655 (特別会計への繰出金額)	5,012,454 (特別会計への繰出金額)
	実績	4,150,000	4,000,000	5,070,000
数値目標等	計画	特定健康診査の受診率(年間)		
		62%	65%	67%
	実績	43.6%	44.6%	44.6%
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画		
		<p>平成24年9月に当該事業に係る国の指針が改正され、平成29年度までに達成する目標値が60%に変更されたことから、本市では、この目標値を段階的に達成すべく、平成25年度の目標値を48%に変更した。</p> <p>実績は1.0%増となっているが、計画は達成していないので更なる努力が必要と思われる。</p> <p>特定保健指導については、平成24年度から電話での勧奨を行ったことで、実施数が増えた。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 社会保障・住まい
〔中分類〕 住まいの安心・安全への支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	18. 市営住宅営繕事業（福祉部 市営住宅課）			
事業計画概要	入居者の安全性、居住性の向上に努め、市営住宅の維持管理を図るため、「市川市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設の大規模修繕等を計画的に行います。			
年度ごとの 事業内容	計画	23 年度 ・東菅野団地外壁改修工事 ・稲荷木団地外壁改修工事 ・曾谷第一団地外壁改修工事及び屋上防水工事 ・曾谷第二団地外壁改修工事	24 年度 ・柏井第一団地 1～3号棟外壁改修工事及び屋上防水工事 ・塩浜団地 1・2号棟階段手摺設置	25 年度 ・大町第一団地A棟 ・大町第二団地 4号棟エレベーター設置工事 ・大町第二団地 5号棟外壁改修工事 ・大町第二団地 6号棟屋上防水工事 ・塩浜団地 3・4(4-1 及び 4-2)号棟階段手摺設置
	実績	・曾谷第一団地外壁改修工事及び屋上防水工事 ・東菅野団地外壁改修工事 ・稲荷木団地外壁改修工事	・北方第二団地 A・B・C棟屋上防水工事 ・曾谷第二団地外壁改修工事	・大町第二団地 1・2・3号棟外壁改修工事 ・大町第三団地 B棟外壁改修工事及び屋上防水工事 ・相之川第二団地 A棟外壁改修工事及び屋上防水工事
事業費（千円）	計画	86,194	164,000	211,000
	実績	44,604	37,028	244,000
数値目標等	計画	市川市公営住宅等長寿命化計画における進捗率（年度末）		
	実績	5.1%（4件/78件）	11.5%（9件/78件）	20.5%（16件/78件）
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	325,632 千円／461,194 千円＝70.6%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	15.4%／20.5%×100＝75 点		
24 年度計画において現況・現地調査により実施事業の変更を行った。また 22 年度に策定した市川市公営住宅等長寿命化計画について 23 年度実績及び 24 年度を踏まえ優先すべき事業を整理し、計画の変更を行い、これに従い事業を実施したため、当初の年次計画と実績に差異が生じた。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.8% 63.1% 25.9% 8.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算額

〔大分類〕 スポーツ
〔中分類〕 スポーツ環境の充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	19. スポーツ施設整備・改修事業（保健スポーツ部 スポーツ課）			
事業計画概要	スポーツを行う場づくりを推進するため、老朽化が進む既存スポーツ施設の再整備を進めるとともに、新たなスポーツ施設の整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・塩浜市民体育館テニスコート改修工事 ・国府台野球場防球ネット設置工事 ・信篤体育館トレーニング室機能整備 ・国府台陸上競技場公認更新に伴う整備 等	24年度 ・国府台野球場電光掲示板整備	25年度 ・国府台野球場夜間照明設備設置
	実績	・塩浜体育館テニスコート改修 ・国府台球場3塁側防球ネット設置 ・国府台陸上競技場公認更新改修 等	・国府台球場スコアボード改修 ・国府台球場1塁側防球ネット設置	
事業費(千円)	計画	99,775	64,000	300,000
	実績	109,764	101,745	
数値目標等	計画	スポーツ施設の利用者数(年間・延べ)		
	実績	552,000人	552,000人	552,000人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	211,509千円/463,775千円=45.6%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	1,786,619人/1,656,000人×100=108点		
<p>H22年度に老朽化のため撤去した野球場夜間照明設備は、H25年度に新設を予定していたが、計画を見直して延期することとした。 なお、各施設の整備を進めたことにより、利用者数については計画を達成することができた。 <input checked="" type="checkbox"/>十分達成した <input type="checkbox"/>概ね達成した <input type="checkbox"/>やや不十分だった <input type="checkbox"/>不十分だった</p>				
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子どもの教育
〔中分類〕 子どもの育成（子どもの姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	20. 学校版環境 I S O 認定事業（学校教育部 指導課）			
事業計画概要	社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育むため、各学校で特色ある環境保全活動や省エネ・リサイクル活動に取り組み、児童・生徒、教職員、並びに保護者・地域の方々の環境意識の高揚と環境保全活動の実践力の向上を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・環境学習 ・環境美化活動 ・リサイクル活動 ・保護者・地域への啓発活動等の支援	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・環境学習 ・環境美化活動 ・リサイクル活動 ・保護者・地域への啓発活動等の支援	同左	同左
事業費（千円）	計画	895	895	895
	実績	885	849	330
数値目標等	計画	活動を評価し、I S O 認定校として認定した学校数（年度末・累計） ※平成25年度全校認定完了		
	実績	新規5校 継続5校 （合計45校）	新規5校 継続5校 （合計50校）	継続5校 （全55校認定完了）
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	2,064千円／2,685千円=76.9%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	56校／55校×100=102点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>4.3% 72.2% 18.3% 5.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 子どもの育成（子どもの姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	21. 学校給食費負担軽減事業（学校教育部 保健体育課）			
事業計画概要	児童生徒の健やかな体を育成するためには、各家庭での食事に加え、学校給食も大きな役割を担っていることから、学校給食の現物給付を行うことで、給食費の値上げを抑えるとともに、安全で質の高い給食を提供します。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 学校給食食材の現物給付（米、パン、油等）	24 年度 同左	25 年度 同左
	実績	米、パン、油の現物給付を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。	米、牛乳の現物給付に加え、義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料とし、子育て家庭及び多子世帯の経済的負担の軽減を図った。	
事業費（千円）	計画	120,000	120,000	120,000
	実績	119,929	158,207	160,000
数値目標等	計画	給食費 保護者負担額（一食あたり） 小学校・特別支援学校(小学部) 253 円 中学校・特別支援学校(中学部) 300 円		
	実績	小学校・特別支援学校(小学部) 253 円 中学校・特別支援学校(中学部) 300 円	小学校・特別支援学校(小学部) 253 円 中学校・特別支援学校(中学部) 300 円 義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料化	同左
達成状況等	（事業費比較） 3 年 実績額 / 計画額		438,136 千円 / 360,000 千円 = 121.7%	
	（数値目標等比較） 3 年間 計画 ⇒ 実績		小学部 253 円 ⇒ 253 円 中学部 300 円 ⇒ 300 円 100 点	
	これまでの現物給付に加え、義務教育期間中の3人目以降の児童生徒の給食費を無料としたことにより事業費が増となった。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 家庭・学校・地域の連携（家庭・学校・地域の姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	22. コミュニティクラブ事業（生涯学習部 青少年育成課）			
事業計画概要	人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を図るため、16 中学校区に設置された「コミュニティクラブ」において、「遊び」を通じた異年齢交流・世代間交流を図る事業を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度	24 年度	25 年度
	実績	活動回数総計 758 回 参加人数総計 39,563 人 (内訳) こども 24,025 人 大人 8,311 人 ボランティア 7,227 人	活動回数総計 874 回 参加人数総計 40,488 人 (内訳) こども 25,759 人 大人 8,417 人 ボランティア 6,312 人	活動回数総計 800 回 参加人数総計 40,000 人
事業費(千円)	計画	8,783	8,593	8,593
	実績	7,691	7,818	7,354
数値目標等	計画	コミュニティクラブ参加人数(年間・延べ)		
	実績	40,000 人	40,000 人	40,000 人
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 22,863 千円/25,969 千円=88.0%		
	(数値目標等比較)	3カ年 実績/計画 120,051 人/120,000 人×100=100 点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	23. 小学校・中学校耐震改修事業（教育総務部 教育施設課）			
事業計画概要	学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習の場であるとともに、生活の場でもあります。また、災害の際、学校は一時避難場所や災害対策拠点となります。安全・安心で充実した教育環境を実現するとともに、災害時の拠点機能を充実させるため、学校施設の耐震改修を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・小学校校舎(3校4棟) ・中学校校舎(3校6棟)	24年度 ・小学校校舎(10校11棟) ・中学校校舎(5校5棟)	25年度 ・小学校校舎(17校22棟) ・中学校校舎(4校4棟)
	実績	・小学校校舎(5校6棟) ・中学校校舎(4校7棟)	・小学校校舎(10校11棟) ・中学校校舎(5校5棟)	・小学校校舎(17校22棟) ・中学校校舎(4校4棟)
事業費(千円)	計画	1,616,583	1,956,300	1,755,605
	実績	1,437,633	1,804,029	1,848,108
数値目標等	計画	小学校・中学校耐震改修進捗率(棟数ベース)(年度末)		
		65.6%	78.7%	100%
	実績	63.2%	77.2%	100%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	5,089,770千円/5,328,488千円=95.5%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	100ポイント/100ポイント×100=100点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 子どもの教育
〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	24. 少人数学習等担当補助教員事業（学校教育部 義務教育課）		
事業計画概要		児童・生徒一人ひとりに応じた教育的支援を推進するため、小・中学校に補助教員を派遣し、少人数指導やティームティーチングを実施することで、分りやすい授業やきめ細かな指導の充実を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・全小中学校に各1名の55名 ・37人規模の学級のある大規模校のうち5校へ各1名の5名	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・全小中学校に各1名の55名 ・37人規模の学級のある大規模校のうち5校へ各1名の5名	同左	・全小中学校に各1名の55名
事業費（千円）	計画	148,328	148,328	148,328
	実績	148,534	144,859	128,539
数値目標等	計画	補助教員派遣数（年間）		
		60人	60人	60人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	421,932千円／444,984千円=94.8%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	175人／180人×100=97点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育

〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	25. 私立幼稚園等補助金（教育総務部 就学支援課）			
事業計画概要	幼児期からの充実した教育環境を整えるため、私立幼稚園、私立幼稚園類似施設に在園する園児の保護者、私立幼稚園の設置者及び私立幼稚園協会に対して補助金を交付します。これにより、私立幼稚園保育料の格差是正及び保護者負担の軽減も図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・私立幼稚園園児補助金 ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	24 年度 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園協会補助金	25 年度
	実績	・私立幼稚園園児補助金 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園協会補助金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	・私立幼稚園就園奨励費補助金 (24 年度より私立幼稚園園児補助金と一本化) ・幼稚園類似施設園児補助金 ・私立幼稚園幼児教育振興費補助金 ・私立幼稚園等子育て支援金 ・私立幼稚園協会補助金 ・私立幼稚園預かり保育事業費補助金	同左
事業費(千円)	計画	614,069	620,000	620,000
	実績	590,016	593,975	625,615
数値目標等	計画	私立幼稚園園児補助金 補助対象者数（年間・延べ）		
		5,222 人	5,222 人	5,222 人
	実績	5,043 人	私立幼稚園就園奨励費補助金 補助対象者 4,893 人	私立幼稚園就園奨励費補助金補助対象者 4,820 人
達成状況等	(事業費比較) 3 ヵ年 実績額/計画額	1,809,606 千円/1,854,069 千円=97.6%		
	(数値目標等比較) 3 ヵ年 実績/計画	14,756 人/15,666 人×100=94 点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 子どもの教育
 〔中分類〕 教育環境の整備・充実（市川の教育の姿）

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	26. 放課後保育クラブ運営事業（生涯学習部 青少年育成課）		
事業計画概要		安全・安心で充実した教育環境を実現するため、保護者が共働きなどにより、昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に対し、放課後などに小学校の余裕教室等を活用して適切な遊び及び生活の場を提供します。 また、待機児童の解消のため、施設の整備を進めます。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		放課後保育クラブの管理・運営 設置数 89箇所 入所児童数 3,110人	放課後保育クラブの管理・運営 設置数 93箇所 入所児童数 3,160人	放課後保育クラブの管理・運営 設置数 95箇所 入所児童数 3,185人
	実績	設置数 88箇所 定員 3,600人 入所児童数 3,110人	設置数 88箇所 定員 3,700人 入所児童数 3,099人	設置数 90箇所 定員 3,762人 入所児童数 3,243人
		事業費(千円)	計画	920,559
	実績	865,592	963,580	989,825
数値目標等	計画	放課後保育クラブ定員数(年度末)		
		3,600人	3,640人	3,680人
	実績	3,600人	3,700人	3,762人
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額		2,818,997千円/2,956,559千円=95.3%	
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画		3,762人/3,680人×100=102点	
	目標数値については、施設の入所可能人数を鑑み設定したが、設定人数より、入所申請者が少なかった。 現在、待機者はいないが、今後についても待機者が出ないよう事業を展開していく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 生涯学習

〔中分類〕 生涯を通して学び続けられる学習環境の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	27. 公民館主催講座活動事業（生涯学習部 社会教育課）			
事業計画概要	公民館を活用した地域の学習拠点づくりのため、市民の実際の生活に即した健康・子育て支援・環境問題・国際化等の現代的課題や生活課題を意識した事業を充実させ、公民館利用の拡大を図り、学んだ成果の活用としてサークルの育成や住民の仲間づくり、地域活動への参加を促します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		公民館主催講座の開催講座数 280 講座	同左	同左
年度ごとの事業内容	実績	公民館主催講座の開催講座数 294 講座	公民館主催講座の開催講座数 297 講座	公民館主催講座の開催講座数 280 講座
		事業費(千円)	計画	12,871
事業費(千円)	実績	11,756	12,535	11,325
		数値目標等	計画	公民館主催講座数(年間)
280 講座	280 講座			280 講座
数値目標等	実績	294 講座	297 講座	280 講座
		達成状況等	(事業費比較)	35,616 千円 / 38,613 千円 = 92.2%
(数値目標等比較)	871 講座 / 840 講座 × 100 = 104 点			
3カ年 実績額 / 計画額	3カ年 実績 / 計画			
達成状況等	事業費比較は 92.2%、また数値目標等では、840 講座の計画に対し 871 講座を実施し目標を 31 講座上まわった。			
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果				
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 生涯学習
〔中分類〕 生涯を通して学び続けられる学習環境の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	28. 蔵書管理効率化事業（生涯学習部 中央図書館）			
事業計画概要	図書館の活用を通じた学習活動を推進するため、ICタグによる蔵書管理、集密書架導入による収容管理、資料の電子化を順次進めます。事業開始当初は、ICタグによる蔵書管理を進めて、貸出返却作業の省力化及び効率的、かつ、適正な図書館資料管理を実現します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績		<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館開架部分の資料にICタグを貼付 集密書架導入 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館書庫部分の資料にICタグを貼付 中央図書館にICリーダーライタ、ゲート、自動貸出機等導入 集密書架導入
事業費（千円）	計画		89,187	95,688
	実績	0	0	10,000
数値目標等	計画	ICタグ蔵書数（年度末）		
	実績	70,000冊（駅南）	511,000冊	872,000冊
達成状況等	計画	71,125冊（駅南）		
	実績	77,172冊（駅南）		
達成状況等	（事業費比較）	3カ年 実績額／計画額		
	（数値目標等比較）	最終年度 実績／計画		
達成状況等	<p>・ICタグによる蔵書管理については、平成21年に開館した市川駅南口図書館のみにとどまり、中央図書館をはじめとした既存図書館への推進はできなかった。</p> <p>・平成25年度には、集密書架の予定面積5%導入により約25,000冊の収容冊数の増加が見込める予定である。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>			
	市民意向調査結果	<p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

※事業費（千円）の実績欄：平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 雇用・労働

〔中分類〕 就労の支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	29. 若年者等就労支援事業（経済部 雇用労政課）			
事業計画概要	就労機会の拡充を図るため、就職活動で悩んでいる方に対して、個別相談（面接・電話）や適性診断、面接や履歴書の指導などを行う「ジョブ・サポートいちかわ」を運営します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	専門相談員による個別相談（火・木） 平成23年7月からは、毎週火・水・木・金に変更	専門相談員による個別相談（火・水・木・金）	同左
	実績	専門相談員による個別相談（火・木） 平成23年7月からは、毎週火・水・木・金に変更	専門相談員による個別相談（火・水・木・金） 就職面接会の開催	同左
事業費（千円）	計画	1,537	1,626	1,626
	実績	1,123	1,622	1,909
数値目標等	計画	「ジョブ・サポート・いちかわ」利用者数（うち就職者数）（年間・延べ）		
		150人（10人）	150人（10人）	150人（10人）
	実績	85人（2人）	98人（7人）	150人（10人）
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	4,654千円／4,789千円＝97.2%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	333人／450人×100＝74点		
[□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>1.4% 39.9% 52.8% 5.8%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 雇用・労働
 〔中分類〕 労働環境の向上

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	30. 勤労者労働相談事業（経済部 雇用労政課）			
事業計画概要	勤労者福祉の増進を図るため、賃金、労災、労働時間、解雇等の労働条件に関する相談及び労働保険等の手続きなどの相談に社会保険労務士が応じ、中小企業経営者、勤労者双方の抱える問題を解決します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 賃金、労災、労働時間、解雇等に関する相談 相談日時 毎週水曜日 18時～20時	24年度 同左	25年度 同左
	実績	賃金、労災、労働時間、解雇等に関する相談 相談日時 毎週水曜日 18時～20時	同左	相談日時 毎月第1・3水曜日（ただし、8・2月は除く）
事業費（千円）	計画	349	349	349
	実績	348	356	157
数値目標等	計画	労働相談受付件数（年間・延べ）		
	実績	89件	90件	90件
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	861千円／1,047千円＝82.2%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	361件／269件×100＝134点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>2.2% 44.8% 49.5% 3.5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 消費生活
 〔中分類〕 消費者被害の救済

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	31. 消費生活センター相談及び啓発事業（市民部 総合市民相談課）			
事業計画概要	消費者被害の相談体制の充実を図るため、消費生活専門相談員による相談を実施するとともに、国の「多重債務問題改善プログラム」に基づき、弁護士による相談を実施します。また、消費者被害を未然に防止するための啓発事業を充実させ、消費者意識の向上を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・消費生活相談 ・多重債務相談 ・消費者講座 ・情報提供	24年度 同左	25年度 同左
	実績	消費生活相談 2,958件 多重債務相談件数 103件 消費生活講座 7回 210人 出前消費者講座 23回 786人 クオリティライフいちかわの発行他	消費生活相談 2,878件 多重債務相談件数 72件 消費生活講座 9回 225人 出前消費者講座 22回 828人 クオリティライフいちかわの発行他	消費生活相談 2,800件 多重債務相談件数 70件 消費生活講座 7回 出前消費者講座 20回 クオリティライフいちかわの発行他
事業費(千円)	計画	17,488	17,870	17,870
	実績	16,836	17,554	14,676
数値目標等	計画	消費生活に関する相談件数（年間・延べ） ※実施計画期間では相談体制の充実を図りますが、消費者被害を未然に防止することで、相談件数が減少すると見込みます。		
		3,000件	2,900件	2,800件
	実績	2,958件	2,878件	2,800件
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 49,066千円/53,228千円=92.2%		
	(数値目標等比較)	3カ年 実績/計画 8,636件/8,700件×100=99点 ⇒数値が下回ることを目指している為、100-99=1点を加点し、101点とする。		
		[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 人権・男女共同参画

〔中分類〕 人権尊重社会の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	32. 市川市DV対策事業（総務部 男女共同参画課）			
事業計画概要	相談・救済・支援体制の充実を図るため、仮称「市川市DV防止基本計画」を策定するとともに、配偶者暴力相談支援センターを設置します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・仮称「市川市DV防止基本計画」策定 ・女性相談員（婦人相談員）の配置 ・配偶者暴力相談支援センターの設置	24年度 ・基本計画の進捗状況の確認及び評価 ・女性相談員（婦人相談員）の配置 ・配偶者暴力相談支援センター機能の強化	25年度 同左
	実績	・市川市DV防止基本計画策定（23年8月） ・相談員を全て女性相談員とした。 ・配偶者暴力相談支援センターを設置した。（23年10月）	・基本計画の年次報告実施 ・急増するDV相談に対応するため女性相談員の適正配置を図った。	女性相談員によるDV被害者支援、各種証明書の発行等、ケースに応じ問題解決に向けて継続的に対応し、相談事業の充実、強化を図る。
事業費（千円）	計画	10,324	10,231	10,231
	実績	10,351	9,729	10,860
数値目標等	計画	女性相談員数（婦人相談員数）（年間）		
		5人	7人	7人
	実績	7人	6人	7人
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	30,940千円／30,786千円＝100.5%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	7人／7人×100＝100点		
配偶者暴力支援センターを平成23年10月に設置し、相談件数が急増していることから相談員の適正配置と相談体制の充実を図る必要が生じている。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 人権・男女共同参画
 〔中分類〕 男女共同参画社会の実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	33. 男女共同参画センター講座事業（総務部 男女共同参画課）			
事業計画概要	男女共同参画の意識づくりと教育の推進のため、市民に対し男女共同参画に関する正しい知識や理解を深める講座や講演会等を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・女性学を学ぶ講座 ・父子での料理講座 ・男性の家事参加促進講座 ・DVに関する講座	24年度 同左	25年度 同左
	実績	主催講座実施回数 9回 (延べ28回実施)	主催講座実施回数 9回 (延べ27回実施)	主催講座実施回数 10回 (延べ26回実施)
事業費(千円)	計画	990	990	990
	実績	998	1,052	750
数値目標等	計画	講座参加者数(年間・延べ)		
	実績	500人	500人	550人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	2,800千円/2,970千円=94.3%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	2,351人/1,550人×100=152点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 平和
〔中分類〕 平和意識の高揚

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	34. 平和啓発事業（総務部 総務課）			
事業計画概要	平和啓発活動を推進するため、「核兵器廃絶平和都市宣言」の主旨の啓発と意識の高揚を図り、各種平和啓発事業を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・平和の折鶴募集 ・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・平和の折鶴募集 ・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会	・平和の折鶴展 ・原爆投下日、終戦記念日における街頭啓発 ・平和寄席 ・平和ポスター展 ・平和カレンダーの作成 ・平和映画会 ・学校での被爆体験講話	同左
事業費（千円）	計画	2,182	2,182	2,182
	実績	2,181	2,189	2,149
数値目標等	計画	平和事業への参加者数（年間・延べ） 2,000人		
	実績	2,448人	4,648人	3,000人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	6,519千円／6,546千円＝99.6%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	10,096人／6,000人×100＝168点		
平成24年度からの新規事業として、学校における被爆体験講話の語り部派遣の仲介等を行った。これにより、数値目標である平和事業への参加人数が増加した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 平和

〔中分類〕 国際平和のための活動の促進と支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	35. 姉妹都市等交流事業（文化国際部 国際交流課）			
事業計画概要	国際交流活動の促進を図り、相互理解を深めるため、アメリカ合衆国ガーデンナ市、中華人民共和国樂山市、インドネシア共和国メダン市、ドイツ連邦共和国ローゼンハイム市との自治体間交流、市民交流及び青少年交流を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・樂山市友好都市締結 30 周年記念事業 ・公式団を樂山市へ派遣 ・市民団を樂山市へ派遣 ・樂山市公式団を受入 ・樂山市青少年団を受入 ・ローゼンハイム市公式団を受入 ・青少年団をガーデンナ市へ派遣	24 年度 ・ガーデンナ市姉妹都市締結 50 周年記念事業 ・公式団をガーデンナ市へ派遣 ・市民団をガーデンナ市へ派遣 ・ガーデンナ市公式団を受入 ・メダン市青少年団を受入 ・青少年団を樂山市へ派遣	25 年度 ・ガーデンナ市青少年団を受入 ・青少年団をメダン市へ派遣
	実績	・樂山市友好都市締結 30 周年記念事業 ・公式団を樂山市へ派遣 ・市民団を樂山市へ派遣 ・樂山市公式団を受入 ・青少年団をガーデンナ市へ派遣 ・日独交流 150 周年記念「いちかわトイデー」	・ガーデンナ市姉妹都市締結 50 周年記念事業 ・公式団をガーデンナ市へ派遣 ・市民団をガーデンナ市へ派遣 ・ガーデンナ市公式団を受入 ・樂山市青少年団を受入 ・メダン市青少年団を受入 ・ローゼンハイム市公式団を受入 ・ローゼンハイム市民団を受入 ・いちかわトイデー	・ガーデンナ市青少年団を受入 ・青少年団をメダン市へ派遣 ・イッシー・レ・マリナー市公式団を受入 ・イッシー・レ・マリナー市民団を受入 ・いちかわトイデー
事業費（千円）	計画	15,696	16,000	2,000
	実績	3,559	10,912	6,467
数値目標等	計画	代表団の派遣・受入、市民団・青少年団の派遣・受入 実施回数（年間）		
		計 6 回	計 5 回	計 2 回
	実績	計 4 回	計 7 回	計 4 回
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	20,938 千円／33,696 千円＝62.1%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	計 15 回／計 13 回×100＝115 点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 芸術・文化
 〔中分類〕 豊かな心を育む文化活動の支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	36. 仮称文学館整備事業（文化国際部 文化振興課）			
事業計画概要	芸術・文化事業の振興と文化施設の整備・充実を図るため、生涯学習センターの2, 3階を改修し、既存の文学プラザと映像文化センターの機能を取り込んだ特色ある文学館を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 展示コンテンツ制作委託 ・水木洋子、永井荷風、井上ひさしなどの展示内容の構成を検討 ・一部映像資料の作成 ・寄贈資料の整理	24年度 ・改修工事 (展示コンテンツ制作含む) ・文学館開館	25年度
	実績	展示コンテンツの制作を委託	展示制作等の委託 ベルホールの改修	
事業費(千円)	計画	5,532	103,013	
	実績	5,329	105,360	
数値目標等	計画	文学館来場者数(年間・延べ)		
	実績			100,000人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	110,689千円/108,545千円=102.0%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	100,000人/100,000人×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

〔大分類〕 芸術・文化

〔中分類〕 豊かな心を育む文化活動の支援

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	37. 「市川の文化人展」事業（文化国際部 文化振興課）			
事業計画概要	芸術・文化事業の振興を図るため、市にゆかりのある文化人や芸術家の功績を顕彰し、広く紹介する「市川の文化人展」を市民の意見を取り入れて開催します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		・文化人展選定懇話会の立ち上げ、実施 ・「市川の文化人展」の開催	・文化人展選定懇話会の実施 ・「市川の文化人展」の開催	同左
	実績	・選定懇話会の実施 ・「市川の文化人展」「収蔵作品展」の実施	・選定懇話会の実施 ・「市川の文化人展」「収蔵作品展」の実施	同左
事業費（千円）	計画	5,028	5,028	5,028
	実績	4,109	4,151	4,069
数値目標等	計画	「市川の文化人展」来場者数（年間・延べ）		
		3,000人	3,000人	3,000人
	実績	2,601人	3,991人	3,000人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		12,329千円／15,084千円＝81.7%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		9,592人／9,000人×100＝107点	
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

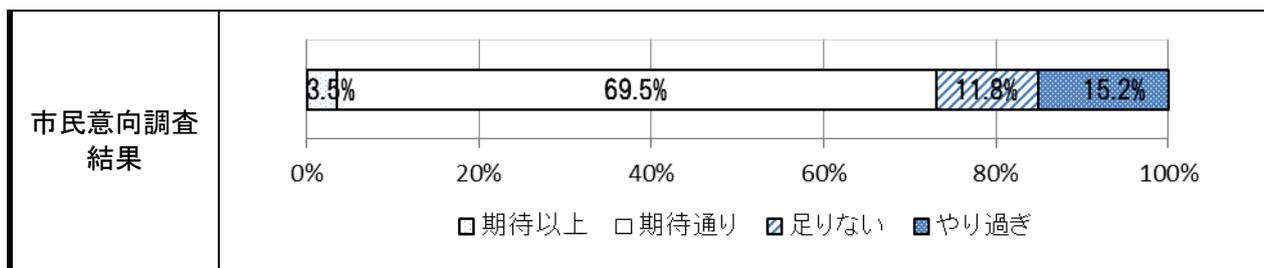
基本目標5



〔大分類〕 文化的資産
 〔中分類〕 地域を彩る文化的資産の保全・活用

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	38. 市史編さん事業 (文化国際部 文化振興課)			
事業計画概要	本市の歴史的な背景を明らかにするとともに、将来の発展の指針とし、貴重な文化的資産を継承するため、刊行後35年以上が経過した市史を改訂編さんし、市民共有の財産とします。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 <ul style="list-style-type: none"> 歴史分野 曾谷貝塚等の出土資料の整理 近世・近現代の文書史料の整理 下総国戸籍調査報告 民俗・自然分野 基礎調査 シンポジウムの開催 市民向けの講演会や講座等を開催 	24年度 <ul style="list-style-type: none"> 歴史分野 国分寺等補足調査 中・近世史料調査 民俗分野 基礎調査 自然分野 旧版地形図デジタル化 市民向けの講演会や講座等を開催 	25年度 <ul style="list-style-type: none"> 歴史分野 史跡遺物実測調査 中・近世史料調査 民俗分野 基礎調査 自然分野 補足調査 本編執筆 市民向けの講演会や講座等を開催
	実績	市川市史編さん委員会に「市川市史編さん基本方針」の見直しについて諮問し、答申を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> 調査報告書『下総国戸籍』および市史研究誌「市史研究いちかわ」第3号を刊行 市史編さん事業講演会の開催 自然講座、民族講座の開催 市史編さん上映会の開催 	市史編纂基本計画に基づき、歴史・民俗・自然の各分野の調査研究を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> 『写真図録(仮称)』の編集作業を進めた。 調査研究の成果の一部を研究誌「市史研究いちかわ」第4号にまとめ発行した。 市民の情報提供を求めた生物調査について、中間報告をかねた講演会を開催した。 	(歴史分野) 古代の集落遺跡調査の成果を報告書にまとめ刊行するほか、文書資料等の調査を進める。 (民俗分野) 引き続き、基礎調査を進め、市域全体の民族概要を把握する。 (自然分野) 執筆・編集作業に入る。 <ul style="list-style-type: none"> 『(仮称) 写真図録』の刊行に向け、写真資料の収集、整理、編集作業 市民向け講演会の開催
事業費(千円)	計画	45,493	23,956	25,234
	実績	42,393	12,457	11,903
数値目標等	計画	シンポジウム・市民向けの講演会・講座参加者数(年間・延べ)		
	実績	400人	260人	260人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	66,753千円/94,683千円=70.5%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	689人/920人×100=75点		
	[□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			



※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 文化の創造

〔中分類〕 新たな「まちの文化」の構築

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	39. 市民まつり負担金 (経済部 観光交流推進課)			
事業計画概要	市民まつりを本市の魅力と個性を十分に引き出す「まちの文化」として、地域に定着させるため、引き続き市民、事業者とともに協働で取り組みます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 市民まつりの開催	24年度 同左	25年度 同左
	実績	市民まつりの開催	同左	同左
事業費(千円)	計画	3,200	3,200	3,200
	実績	3,200	3,200	3,200
数値目標等	計画	市民まつり来場者数(延べ)		
		約18万人	約19万人	約20万人
	実績	約3万人	約3万人	約3万人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	9,600千円/9,600千円=100%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	約9万人/約57万人×100=16点 ⇒来場者の計画値は毎年3万人に再設定 約9万人/約9万人×100=100点		
	市民まつりの来場者数の実績については、平成23年度、観光庁による『正確かつ簡便な観光入込客数把握手法を確立するための実証実験』を実施した結果、約3万人という正確な人数が判明したことから、今後この数値を数値目標及び実績値とする。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 文化の創造
 〔中分類〕 新たな文化的資源の創出と情報発信

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	40. シティセールス事業（いちかわ観光・物産案内事業） （経済部 観光交流推進課）			
事業計画概要	観光資源PRの積極的展開を図るため、「文化的・歴史的資産」や「伝統行事」「特産物」など、市川市の魅力を市内外に広く紹介していきます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 観光PRイベントの実施 ・市川笑顔まつり ・旅フェア ・千葉から日本を元気に ・海山ふるさとPR ・いちかわ産フェスタ ・早春の観光キャンペーン 東京圏PR ・市川観光物産展	24年度 観光PRイベントの実施 ・旅フェア ・県民の日観光プロモーション ・海山ふるさとPR ・いちかわ産フェスタ ・早春の観光キャンペーン 東京圏PR ・市川観光物産展	25年度 同左
	実績	観光PRイベントの実施 ・埼玉B級ご当地グルメ王決定戦 ・元気もりもり千葉の旅 ・千葉から日本を元気に ・市川笑顔まつり ・2011 夏の海と山観光展 他	観光PRイベントの実施 ・ツーデーマーチ ・国分川鯉のぼりフェスティバル ・金環日食特別観覧 ・県民の日観光プロモーション ・市川ぐるめ屋台村 ・江戸川水フェスタ ・ビジネスプラン発表会 他	観光PRイベントの実施 ・ツーデーマーチ ・国分川鯉のぼりフェスティバル ・県民の日観光プロモーション ・江戸川水フェスタ ・花火大会特別観覧 ・いちかわ産フェスタ ・いちかわ市場まつり 他
事業費（千円）	計画	9,150	9,150	9,150
	実績	8,933	6,678	5,266
数値目標等	計画	市内観光入込客数（年間・延べ）		
	実績	280万人	290万人	300万人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	20,877千円／27,450千円＝76.1%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	961万人／870万人×100＝110点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

〔大分類〕 文化の創造
 〔中分類〕 多文化共生のまちづくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	41. 国際交流推進事業（文化国際部 国際交流課）			
事業計画概要	国際交流を推進し、在住外国人にとって住みやすい多文化共生社会のまちを構築するため、外国人が誤解や不安なく生活ができるよう設置している外国人相談窓口の開設時間の拡充や充実を図ります。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	外国人相談窓口の拡充	外国人相談窓口の充実	同左
	実績	終了時間を午後5時に延長。さらに、水曜日の開設時間を午前10時から午後8時に拡充。また、本庁、支所ともに中国語対応を週0.5日から週1.5日に拡充。	昼休みを廃止し、午前12時から午後1時の間も対応可能に。さらに市民課等、他課窓口の終了時間に倣って、開設時間を午後5時15分まで延長。	本庁の中国語対応を毎週月曜日と水曜日に拡充。
事業費(千円)	計画	6,456	6,456	6,456
	実績	6,456	7,818	5,856
数値目標等	計画	外国人相談窓口相談者数(年間・延べ)		
		2,000人	2,000人	2,000人
	実績	2,285人	3,125人	2,840人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	20,130千円/19,368千円=103.9%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	8,253人/6,000人×100=138点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	42. 防災用品備蓄事業 (危機管理室 地域防災課)			
事業計画概要	安全で安心なまちを実現し、自助・共助を基本とした地域防災力の向上を図るため、震災に備え、災害時に負傷した人の応急処置を行う救急医療セットなどの防災用品の整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 医療救護所医療品の入れ替え	24年度 サバイバルフーズの入れ替え	25年度 医療救護所医療品の入れ替え
	実績	救護所用毛布、ブルーシート、ホワイトボード、コードリール、コーン、コーンバー他	長期保存非常食 サバイバルフーズ (クラッカー2号缶) 11,124缶	長期保存非常食 サバイバルフーズ (クラッカー2号缶) 3,501缶購入予定
事業費(千円)	計画	2,254	6,389	2,254
	実績	1,567	10,220	5,000
数値目標等	計画	市全体のサバイバルフーズの備蓄量(年度末)		
		192,150食	219,805食	219,805食
	実績	187,980食	216,000食	198,022食
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	16,787千円/10,897千円=154.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	198,022食/219,805食×100=90点		
	サバイバルフーズについては、今後賞味期限切れとなる食糧が毎年出てくるため、必要数を確保するためには定期的な購入が必要。 25年度の医療救護所医療品の購入を計画していたが、25年度についてはサバイバルフーズの購入を行うこととした。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	110. 防災計画策定事業（危機管理室 危機管理課）			
事業計画概要	東日本大震災を教訓として、市民の生命、身体及び財産を守るため、現状の地域防災計画の被害想定に基づいた「防災計画支援システム」を最新のデータに更新し、本市の現状に即した被害想定を行い、東日本大震災の体験を検証した上で、地域防災計画の見直しを行います。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
	実績		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・防災計画支援システムの更新 ・業務継続計画（BCP）の策定 ・図上訓練の実施
事業費（千円）	計画		12,000	0
	実績		11,930	11,000
数値目標等	計画		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
	実績		・防災計画支援システムの更新 ・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		22,930千円／12,000千円＝191.1%	
	（数値目標等比較） 最終年度 計画⇒実績		地域防災計画の見直し⇒地域防災計画の見直し 100点	
	平成24年度において、東日本大震災を教訓として、検証を行い、地域防災計画の修正を行なった。平成25年度には、更に地域防災計画の実行性を高めるため、防災計画支援システムの更新、業務継続計画の策定及び図上訓練を実施する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.4% 57.0% 39.4% 1.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防
 〔中分類〕 危機管理体制の強化

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	111. 放射能対策事業 (危機管理室 危機管理課)			
事業計画概要	東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の低減を図るため、「市川市の放射線量低減の取り組みに係る基本方針」のもと、「市川市放射線量低減実施計画」を見直し、さらなる低減対策を行います。また、放射線に対する知識の普及のため、市民講座などを開催します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績		<ul style="list-style-type: none"> 放射線量低減対策の実施 市民講座などの開催 実施計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線量低減対策の実施 市民講座などの開催 実施計画の推進
事業費(千円)	計画		4,306	4,306
	実績		2,839	1,888
数値目標等	計画	追加被ばく線量(年間)		
	実績		1ミリシーベルト以下	1ミリシーベルト以下を達成
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	4,727千円/8,612千円=54.9%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	追加被ばく線量年間 1ミリシーベルト以下⇒追加被ばく線量年間 1ミリシーベルト以下を達成 100点		
	<p>「市川市放射線量低減実施計画」に基づき、低減対策の実施等により、平成24年8月末時点で、市の施設、約1,000箇所全てで低減対策を行う目安値である0.23マイクロシーベルト/時未満となっている。また、小・中学校・特別支援学校、幼稚園、保育園などの子ども関連施設では、全ての施設でより厳しい0.19マイクロシーベルト/時未満となっている。</p> <p>これらの対策により、「追加被ばく線量を1ミリシーベルト/年以下とすること」という基本方針の目標が達成されたため、同基本方針を改定し、「追加被ばく線量1ミリシーベルト/年以下を維持していく。」ことを新たな目標としている。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 危機管理・消防

〔中分類〕 消防力の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	43. 指令業務共同化及び無線デジタル化事業（消防局 指令課）			
事業計画概要	消防・救急・救助体制の充実のため、平成25年度から松戸市消防局において、6市消防本部による指令業務の共同運用を開始します。 また、消防救急無線についても、共同指令センター開始に併せ、アナログ方式からデジタル方式に移行します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		共同指令センター ・法定協議会設置 ・運営詳細の検討 消防救急デジタル無線 ・基地局整備 ・機器調整試験	共同指令センター ・センター接続改修 ・単独整備機器の設置 ・勤務職員研修 消防救急デジタル無線 ・移動局等整備 ・運用習熟訓練	共同指令センター ・運用開始 消防救急デジタル無線 ・運用開始
	実績	共同指令センター ・法定協議会設置 消防救急デジタル無線 ・基地局整備	共同指令センター ・センター接続改修 消防救急デジタル無線 ・移動局等整備	共同指令センター ・運用開始 消防救急デジタル無線 ・運用開始
		事業費(千円)	計画	108,859
	実績	108,628	238,801	112,160
数値目標等	計画	共同指令センターの整備		
		法定協議会設置	センター接続改修	運用開始
	実績	法定協議会設置	センター接続改修	運用開始
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	459,589千円/550,499千円=83.5%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	運用開始⇒運用開始 100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 3.2% 期待通り 69.3% 足りない 25.3% やり過ぎ 2.2%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 治水
〔中分類〕 水害のないまち

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	44. 都市基盤河川改修事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	河川改修を推進し、浸水被害の解消を図るため、一級河川大柏川の浜道橋から鎌ヶ谷市境までの1,621mの区間について、真間川流域整備計画に基づき河道の拡幅整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・管理用通路整備工事 ・実施設計	24年度 ・用地購入 ・迂回道路新設工事	25年度 ・護岸工事 ・橋梁架換（南山下橋） 橋梁下部工 橋梁上部工 取付道路整備 ・迂回道路撤去工事
	実績	・管理用通路整備工事 ・護岸工事 ・実施設計	・用地購入 ・管理用通路整備工事	・管理用通路整備工事 ・用地整地工事 ・護岸詳細設計 ・仮設道路実施設計
事業費（千円）	計画	32,400	217,475	603,751
	実績	40,301	146,209	9,600
数値目標等	計画	都市基盤河川改修進捗率（年度末）		
		工事 86.4% 用地 96.4%	工事 86.4% 用地 100.0%	工事 100.0% 用地 100.0%
	実績	工事 92.3% 用地 97.1%	工事 92.3% 用地 100.0%	工事 100.0% 用地 100.0%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		196,110千円／853,626千円＝23.0%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		$\frac{\text{工事 100ポイント} + \text{用地 100ポイント}}{\text{工事 100ポイント} + \text{用地 100ポイント}} \times 100 = 100 \text{点}$	
	河川拡幅用地 26,633 m ² （進捗率 100%）の取得を完了させたほか、真間川流域整備計画に基づく都市基盤河川改修事業による護岸整備に伴う管理用通路の整備を進め、護岸工事についても1,496m（進捗率 92.3%）を完了させている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>4.1% 71.7% 22.6% 6%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 治水
 〔中分類〕 水害のないまち

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	45. 排水路整備事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	雨水排除、雨水排水施設を整備し、浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、真間川水系などの河川改修等の進捗にあわせ、市川市雨水排水基本計画に位置付けられた幹線排水路の整備や老朽化の著しい排水路の改修整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・水路改良工事 (国分1、大野西、北国分の3排水区) ・実施設計 (北方の1排水区)	24年度 ・水路改良工事 (大野西、北方、北国分の3排水区) ・実施設計 (行徳、大野南の2排水区)	25年度 ・水路改良工事 (行徳、大野南の2排水区) ・実施設計 (曾谷・高塚の1排水区)
	実績	・水路改良工事 (国分1、大野西、北国分の3排水区) ・実施設計 (北方の1排水区)	・水路改良工事 (大野西の1排水区) ・実施設計 (行徳の1排水区)	・水路改良工事 (行徳の1排水区) ・実施設計 (曾谷・高塚の1排水区)
事業費(千円)	計画	154,000	64,500	58,500
	実績	202,645	80,383	71,810
数値目標等	計画	排水路整備進捗率(年度末)		
	実績	58.1%	58.2%	58.3%
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	354,828千円/277,000千円=128.1%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	58.3ポイント/58.3ポイント×100=100点		
	市川市雨水排水基本計画などに位置付けられた整備計画に基づき、幹線排水路全体で229,177mの計画うち、平成24年度末までに133,269m(進捗率58.2%)の排水路整備を完了させた。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.6% 64.7% 31.4% 1.3%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 治水
〔中分類〕 水害のないまち

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	46. 排水施設整備事業（水と緑の部 河川・下水道整備課）			
事業計画概要	雨水排除、雨水排水施設を整備し、浸水常襲地域の被害の軽減を図るため、自然排水できない低地地域にポンプ場・排水機場を整備・改築します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・家屋等調査 (八幡、東菅野地区)	24年度 ・実施設計 (鬼高排水機場)	25年度 ・建設工事(2ヵ年) (鬼高排水機場)
	実績	・排水施設設置工事 (東菅野)	・家屋等損傷補償 (東菅野地区)	・排水施設改修工事 (大野排水区)
事業費(千円)	計画	1,125	40,000	553,000
	実績	49,180	1,431	14,750
数値目標等	計画	排水機場整備済率(年度末) ※整備が必要な排水機場 22 機場		
		32%	32%	36%
	実績	32%	32%	36%
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	65,361千円/594,125千円=11.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	36ポイント/36ポイント×100=100点		
	市川市公共下水道計画(雨水)及び雨水排水基本計画に基づき、全体計画では29箇所のポンプ場・排水機場を整備することとなっており、平成24年度末までに排水機場で整備済が7箇所、暫定整備が14箇所、未整備が8箇所(整備中および計画中2箇所含む)となっている。 なお、本事業は市の単独事業で実施しているため、近年の財政状況から事業費の財源の確保が困難となっており、大きな事業の進捗はなく事業計画と実績との乖離が生じている。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 防犯
〔中分類〕 防犯まちづくりの推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	47. 防犯対策事業（市民部 防犯課）			
事業計画概要	住民による自主的な防犯活動の推進を図るため、自治会等、自主防犯活動を実施する団体への防犯物品の支援やオレンジ色の帽子を被って行う「ボランティアパトロール」の普及を推進します。また、夏と冬の年2回「地域出動式」を実施して「街の安全パトロール」を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・自主防犯物品の支援 ・ボランティアパトロールの推進 ・街の安全パトロールの実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・151団体に防犯活動用物品の支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を7月と12月の年2回実施	・157団体に防犯活動用物品の支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を7月と12月の年2回実施	・163団体に自主防犯活動への支援を実施 ・広報紙及び各種イベントにおいてボランティアパトロール員の募集を実施 ・地域出動式を11月に実施
事業費（千円）	計画	10,025	10,025	10,025
	実績	9,705	9,484	8,163
数値目標等	計画	ボランティアパトロール登録者数（年間・延べ）		
		3,000人	3,250人	3,500人
	実績	2,817人	2,802人	3,000人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		27,352千円／30,075千円＝90.9%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		8,619人／9,750人×100＝88点	
	ボランティアパトロール員の募集については、各種キャンペーンの際や広報紙で募集をしている。 24年度は174人の新規加入があったが、高齢なパトロール員も多く、脱退者も189名いたことから、ボランティアパトロール員が増加しなかった。 〔□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった〕			
市民意向調査結果	<p>4.6% 53.7% 39.3% 2.4%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 交通安全
〔中分類〕 道路の安全性の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	48. まごころ道路整備事業（道路交通部 道路建設課）			
事業計画概要	狭あい道路において、道路の安全性を向上させるため、部分的に自動車がすれ違えるスペース（まごころ道路）を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置	「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置	「選定基準により優先順位を付けた市道」における退避スペースの設置
	実績	4箇所	4箇所	5箇所
事業費（千円）	計画	40,690	64,000	64,000
	実績	26,117	22,416	35,000
数値目標等	計画	設置箇所数（年間）		
		5箇所	5箇所	5箇所
	実績	4箇所	4箇所	5箇所
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		83,533千円／168,690千円＝49.5%	
	（数値目標等比較） 3ヵ年 実績／計画		13箇所／15箇所×100＝87点	
	まごころ道路整備事業は、用地取得・車道工事の事業であり工事施工完成箇所を実績としているが、用地交渉も同時に進めており、用地取得の時期により工事施工時期が左右されるためやや不十分と思われる。 〔□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった〕			
市民意向調査結果	<p>2.6% 51.3% 42.9% 3.2%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 交通安全
 〔中分類〕 道路の安全性の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	49. 狭あい道路対策事業 (街づくり部 建築指導課、道路交通部 道路安全課)			
事業計画概要	道路の改良・拡幅による安全性の向上を図るため、幅4メートル未満の道路(建築基準法第42条2項及び43条第1項但し書き道路)において、建築行為等に伴い道路を拡幅する場合、道路として市に帰属が進むよう、拡幅に係る測量及び分筆、並びに道路整備等の費用の一部を助成します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	助成内容 ・測量分筆登記費用の一部 ・道路舗装、側溝敷設等整備費用の一部	同左	同左
	実績	助成内容 ・測量分筆登記費用の一部	同左	市の道路整備及び測量分筆 助成内容 ・測量分筆登記費用の一部
事業費(千円)	計画	12,000	18,000	18,000
	実績	400	2,655	16,200
数値目標等	計画	道路拡幅箇所(年間)		
		20箇所	30箇所	30箇所
	実績	2箇所	5箇所	32箇所
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	19,255千円/48,000千円=40.1%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	39箇所/80箇所×100=49点		
	平成23年・24年度の制度は市民に一部費用負担が生じるものであり、市民の理解が得られず実績が伸びなかったことから「不十分だった」と評価した。平成25年度は原則市が道路整備や測量分筆を行う制度とする。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 交通安全
〔中分類〕 道路の安全性の向上

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	50. 橋りょう補修事業 (道路交通部 道路安全課)		
事業計画概要		橋りょうの維持管理のため、市内の橋りょう 133 橋の定期的な点検を実施し、その上で計画的な修繕・耐震化を行い、延命化を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23 年度	24 年度	25 年度
		<修繕> ・長寿命化点検 115 橋 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二大柏)	<修繕> ・長寿命化修繕計画策定 学識者意見聴取 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二本将)	<修繕> ・長寿命化修繕計画公表 ・橋りょう補修工事 <耐震化> ・J R 武蔵野線跨線橋補強(第三牧場)
	実績	・長寿命化点検 64 橋 ・JR 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二大柏)	・長寿命化点検 46 橋 ・JR 武蔵野線跨線橋耐震補強(第二本将)	・橋りょう修繕工事詳細設計 2 橋
事業費(千円)	計画	101,921	99,000	60,000
	実績	58,616	61,804	4,500
数値目標等	計画	耐震化完了橋数(年度末・累計)		
		15 橋	16 橋	17 橋
	実績	総数 15 橋(内 1 橋)	総数 16 橋(内 1 橋)	総数 16 橋(内 0 橋)
達成状況等	(事業費比較)	3 ヶ年 実績額/計画額 124,920 千円/260,921 千円=47.9%		
	(数値目標等比較)	最終年度 実績/計画 2 橋/3 橋×100=67 点		
	平成 25 年に耐震化を予定していた橋りょうが公共に利用されてなく、撤去も含めて検討することとしたため、目標、達成に至らなかった。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 交通安全
 〔中分類〕 適切な自動車交通の誘導

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	51. 交通安全施設整備事業（道路交通部 道路安全課）			
事業計画概要	密集市街地の生活道路の安全対策のため、道路幅が困難な生活道路において、ドライバーに歩行空間を示すカラー舗装等を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・路肩カラー舗装 3箇所 ・標識改修 2基	24年度 路肩カラー舗装 4箇所	25年度 路肩カラー舗装 5箇所
	実績	・路肩カラー舗装 4箇所	・路肩カラー舗装 7箇所	・路肩カラー舗装 2箇所
事業費(千円)	計画	12,140	11,760	12,000
	実績	10,261	31,070	5,670
数値目標等	計画	カラー舗装延長(年間)		
		540m	1,820m	2,000m
	実績	1,224.4m	2,298.2m	1,452.0m
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額		
	(数値目標等比較)	3ヵ年 実績/計画		
	平成25年度に予定していた分の一部を平成24年度に前倒しで実施した。			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> やや不十分だった <input type="checkbox"/> 不十分だった				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 交通安全
〔中分類〕 交通安全に関する意識啓発

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	52. 自転車安全利用啓発事業（道路交通部 交通計画課）		
事業計画概要		平成23年4月の「市川市自転車の安全利用に関する条例」が制定されたことを受けて、自転車の安全利用を推進するため、交通安全教室の開催、自転車利用者による危険な行為の防止と自転車の安全利用に関する普及啓発を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・交通安全教室 ・交通安全指導 ・街頭指導 ・安全利用に関する周知	24年度 ・交通安全教室 ・擬似体験を通しての交通安全指導 ・交通安全指導 ・街頭指導 ・安全利用に関する周知	25年度 同左
	実績	交通安全教室 138回 17,377人 自転車安全利用講習会 24回 3,786人	交通安全教室 140回 17,579人 自転車安全利用講習会 31回 5,542人	小・中・高校講習 60校 スタート・ストレート 2校 自治会等 30回 啓発活動 年間100回
事業費(千円)	計画	10,800	15,504	15,504
	実績	5,477	1,772	1,704
数値目標等	計画	交通安全教室等の受講者数(年間)		
	実績	17,000人	18,000人	18,000人
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額 8,953千円/41,808千円=21.4%		
	(数値目標等比較)	3ヵ年 実績/計画 62,284人/53,000人×100=118点		
	条例の目的である市民の安全を確保するため、交通安全教室や自転車安全利用講習会など計画通りに実施されており、市川市の自転車に関する事故件数も減少傾向であるが、今後も本事業を継続し自転車の安全利用に関する普及啓発を図っていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.4% 48.7% 45.4% 3.5%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 ユニバーサルデザイン
 〔中分類〕 まちのユニバーサルデザイン化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	53. 人にやさしい道づくり重点地区整備事業（道路交通部 道路建設課）			
事業計画概要	歩行空間の連続的なユニバーサルデザイン化の推進のため、主要駅周辺の重点地区（概ね半径 500m以内）内及び主要な路線の歩道の段差解消・平坦性の確保等バリアフリー化を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 170m	24 年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 860m	25 年度 人にやさしい道づくり 工事 延長 840m
	実績	工事箇所 7箇所 施工延長 1,015m	工事箇所 5箇所 施工延長 566m	工事箇所 4箇所 施工延長 460m
事業費（千円）	計画	20,000	106,000	106,000
	実績	84,360	53,124	55,000
数値目標等	計画	歩道整備延長（年間）		
	実績	170m	860m	840m
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	192,484千円／232,000千円＝83.0%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	2,041m／1,870m×100＝109点		
	主要駅周辺の重点地区はほぼ整備済になった。今後、重点地区以外の整備を進めていく必要があると思われる。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 ユニバーサルデザイン
 〔中分類〕 公益施設のユニバーサルデザイン化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	54. 公民館営繕事業 (生涯学習部 社会教育課)			
事業計画概要	公共施設のユニバーサルデザイン化のため、スロープや階段の昇り降りによる負担が軽減されるよう、公民館にエレベーターを設置します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・大野公民館エレベーター設置設計委託 ・西部公民館エレベーター設置設計委託	24年度 ・大野公民館エレベーター設置工事 ・西部公民館エレベーター設置工事	25年度
	実績	・大野公民館エレベーター設置設計委託 ・西部公民館エレベーター設置設計委託	・大野公民館エレベーター設置工事(継続) ・西部公民館エレベーター設置工事	・大野公民館エレベーター設置工事 ※H24～H25 継続事業
事業費(千円)	計画	9,000	140,000	
	実績	8,921	77,208	112,155
数値目標等	計画	公民館のエレベーター設置施設数(年度末・累計)		
		9施設	11施設	
	実績	9施設	10施設	11施設
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	198,284千円/149,000千円=133.1%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	11施設/11施設×100=100点		
大野公民館エレベーター設置工事について、隣接する大柏出張所の業務に支障とならないよう工事を実施したことから継続事業となり、完了年度が計画より1年遅れることとなったが第1次実施計画期間内に設置台数11施設を達成する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

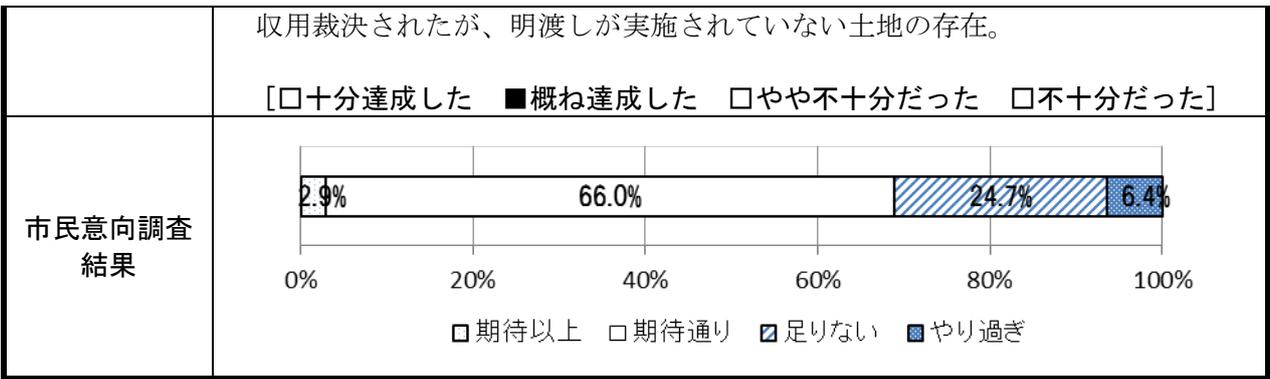
※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 環境負荷を低減し都市機能を向上させる道路交通

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	55. 都市計画道路3・4・18号整備事業 (道路交通部 都市計画道路課)		
事業計画概要	市内の道路ネットワークの形成及び交通渋滞の緩和を図るとともに、周辺地域の市街地形成や防災機能の向上等、健康で安全な都市づくりのため、本市の南北を縦断する重要な幹線道路として位置づけられている都市計画道路3・4・18号浦安鎌ヶ谷線を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	23年度	24年度	25年度
事業費(千円)	計画	1,305,237	2,593,993	2,576,245
	実績	1,136,475	1,363,534	1,578,136
数値目標等	計画	都市計画道路3・4・18号整備進捗率(年度末)		
	実績	工事 47% 用地 92%	工事 63% 用地 94%	工事 75% 用地 100%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	4,078,145千円/6,475,475千円=63.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	$\frac{\text{工事 45ポイント} + \text{用地 99ポイント}}{\text{工事 75ポイント} + \text{用地 100ポイント}} \times 100 = 82 \text{点}$		



※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5



〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 鉄道断面、渡河部における交通混雑の解消

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	56. 京成本線立体化事業 (街づくり部 街づくり推進課)			
事業計画概要	京成本線立体化等を推進するため、特に直面する課題である踏切遮断による交通渋滞改善及び安全性の向上による沿線のまちづくりを検討します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供 ・変則5差路(国府台～市川真間)の周辺地区について、まちづくりからアプローチした場合の検討案の策定	24年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供 ・京成立体化について前年度までの委託結果等を踏まえ実態に即した方向性の検討	25年度 ・関係機関との協議 ・市民への情報提供
	実績	・現況課題の整理 ・立体化の整備検討 ・事業効果の検討 ・本課題における課題整理以上の検討案を策定	・方向性の検討	・方向性の検討
事業費(千円)	計画	2,993	0	0
	実績	2,888	8	0
数値目標等	計画	検討案の策定	方向性の検討	市民への情報提供
	実績	検討案の策定	方向性の検討	方向性の検討
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	2,896千円/2,993千円=96.8%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	市民への情報提供⇒方向性の検討 70点		
	立体化の整備検討事項を市民へ概ね情報提供できたが、立体化推進については、H27年度の外環道路供用開始後の状況を見極めるものとしたことにより、「やや不十分だった」と評価した。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.5% 49.0% 44.7% 3.8%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

〔大分類〕 道路・交通
 〔中分類〕 快適な歩行者自転車空間づくり

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	57. 電線類地中化事業 (道路交通部 道路建設課)		
事業計画概要		電柱のない景観に配慮した歩行空間を形成し、地震等災害時の都市防災機能の向上を図るため、電線類地中化の整備を行います。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・実施設計委託 ・管理台帳作成委託	24年度 菅野： 管路部、特殊部設置	25年度 菅野： 連系管・引込管設置
	実績	・実施設計委託(市道0124号) ・連系管・引込管設置(市道0124号)		・電線共同溝整備工事 ・電線共同溝電力・通信連系管及び引込管整備
事業費(千円)	計画	7,000	50,000	20,000
	実績	27,118		42,850
数値目標等	計画	菅野地区進捗率(年度末)		
	実績	63.6%	89.6%	100%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	69,968千円/77,000千円=90.9%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	97.7ポイント/100ポイント×100=98点		
	菅野の地区において、平成24年度着工した電線共同溝整備工事を平成25年度に事業を繰越し、また、平成25年度に施工予定をしていた電線共同溝電力・通信連系管及び引込管整備委託料を国の補助事業として平成24年度補正で予算配当されたが発注及び契約が見込めないことから同じく平成25年度に事業繰越しを行っている。また、平成26年度に管理台帳の作成を予定している。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.6% 48.9% 46.5% 2.0%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 快適な歩行者自転車空間づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	58. 駐輪場整備事業（道路交通部 自転車対策課）			
事業計画概要	快適な歩行者空間を確保し、放置自転車対策を推進するため、駐輪場を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・大野第2駐輪場の増設 ・八幡第8使用料徴収の機械化	24年度 ・市川地下、市川第4、八幡地下のラックの更新及び新設 ・行徳第1の大規模改修 ・南行徳第5立体化整備に係る調査委託	25年度 ・本八幡A地区駐輪場の通路工事負担金 ・南行徳第5立体化整備の実設計画委託
	実績	・大野第2駐輪場の増設 ・八幡第8使用料徴収の機械化 ・妙典第1・第2駐輪場の市営化		
事業費（千円）	計画	180,212	35,000	62,000
	実績	177,521		
数値目標等	計画	長期的利用が可能な駐輪台数（年度末）		
		30,000台	30,500台	31,000台
	実績	30,000台	32,500台	32,500台
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		177,521千円／277,212千円＝64.0%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		32,500台／31,000台×100＝105点	
	大野第2駐輪場の増設および妙典第1・第2駐輪場の市営化等を実施したことに伴い、長期的利用が可能となる駐輪台数を増加させることができたことから、「十分達成した」と評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度は決算額

〔大分類〕 道路・交通
〔中分類〕 公共交通の充実

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	59. コミュニティバス運行事業 (道路交通部 交通計画課)			
事業計画概要	公共交通の利用促進のため、地域住民・運行事業者・市の三者で構成する「実行委員会」により市北東部及び南部の2地域で運営されるコミュニティバスについて、運行計画の見直し等による経費の削減と増収策を検討しながら運行を継続します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	コミュニティバス運行負担金の支払い ≪参考≫ 運行系統 ・北東部ルート ・南部ルート 運行本数 ・北東部29便 ・南部52便 運行距離 ・北東部 (往復ルート) 12.9km (循環ルート) 16.0km ・南部 14.2km		
	実績	利用者数 502,598人/年間 ・北東部 123,038人 ・南部 379,560人	利用者数 526,559人/年間 ・北東部 126,114人 ・南部 400,445人	同左
事業費(千円)	計画	68,240	70,000	70,000
	実績	68,376	67,454	67,647
数値目標等	計画	採算率(運行収入/ランニングコスト)(年間・平均)		
	実績	49.0%	49.0%	49.2%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	203,477千円/208,240千円=97.7%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	$\frac{48.3\text{ポイント}+49.7\text{ポイント}+49.2\text{ポイント}}{49.0\text{ポイント}+49.0\text{ポイント}+49.2\text{ポイント}} \times 100 = 100\text{点}$		
本事業は市内の交通不便地域の解消を目的としており、現状では概ね計画通りに推移している。今後は運行収入を増大するための運賃見直し等を検討中であり、事業費の縮減に努めていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 道路・交通

〔中分類〕 道路の管理

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	60. 道路台帳デジタル化整備事業（道路交通部 道路管理課）													
事業計画概要	道路境界の確認と道路管理の効率化を図るため、道路台帳平面図及び調書のデジタル化を進めます。													
年度ごとの事業内容	計画	23年度 道路台帳平面図のデジタル化（41面）	24年度 道路台帳平面図のデジタル化（120面）	25年度 道路台帳平面図のデジタル化（120面）										
	実績	旧行徳地区市街地（41面）	中部地区市街地（140面）	北西部（107面）										
事業費（千円）	計画	8,000	22,000	22,000										
	実績	7,455	10,086	7,450										
数値目標等	計画	デジタル化の割合（年度末）												
		8%	31%	55%										
達成状況等	実績	8%	35%	56%										
	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額 $24,991 \text{ 千円} / 52,000 \text{ 千円} = 48.1\%$		（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画 $56 \text{ ポイント} / 55 \text{ ポイント} \times 100 = 102 \text{ 点}$											
道路台帳デジタル化整備事業として、外環道路完成に合わせて平成27年度までに道路台帳平面図（510面）を完成させるため計画している。平成24年度においては当初120面予定していたが140面をデジタル化し、残り222面については平成27年度までに完成する予定である。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]														
市民意向調査結果	<table border="1"> <caption>市民意向調査結果</caption> <thead> <tr> <th>期待度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待以上</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>期待通り</td> <td>71.1%</td> </tr> <tr> <td>足りない</td> <td>22.3%</td> </tr> <tr> <td>やり過ぎ</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table>				期待度	割合	期待以上	1.7%	期待通り	71.1%	足りない	22.3%	やり過ぎ	5.0%
期待度	割合													
期待以上	1.7%													
期待通り	71.1%													
足りない	22.3%													
やり過ぎ	5.0%													

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 下水道
 〔中分類〕 水環境の良好な保全と整備

基本目標1
 基本目標2
基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	61. 下水道事業特別会計（水と緑の部 河川・下水道計画課、 河川・下水道管理課、河川・下水道整備課）			
事業計画概要	水環境の良好な保全と整備のため、一般会計から下水道事業特別会計へ資金を支出し、下水道事業を推進します。 下水道特別会計では、下水道処理区域の拡大を図るため、流域関連処理区並びに西浦処理区の整備を進めます。 また、市街地における浸水被害の軽減を図り、水害のないまちを目指すため、高谷・田尻排水区及び市川南排水区について、国の外環道路事業と整合を図り、雨水の幹線管渠及びポンプ場の整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 （特別会計での主な事業） ・公共下水道整備事業（汚水）の実施 ・公共下水道整備事業（雨水）の実施 ・合流式下水道改善事業の実施 ・下水道施設長寿命化対策事業の実施		
	実績	24年度 ・下水道普及率（汚水）67.6%、雨水整備率34.2%、合流改善率11.0%、長寿命化は基礎調査終了です。	25年度 ・下水道普及率（汚水）70.5%、雨水整備率34.5%、合流改善率100%	
事業費（千円）	計画	2,027,000 （特別会計への繰出金額）	2,200,000 （特別会計への繰出金額）	2,500,000 （特別会計への繰出金額）
	実績	1,949,214 （特別会計への繰出金額）	2,000,000 （特別会計への繰出金額）	1,951,000 （特別会計への繰出金額）
数値目標等	計画	下水道普及率（年度末）		
	実績	67.7%	68.0%	68.2%
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	5,900,214千円／6,727,000千円＝87.7%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	70.5ポイント／69.8ポイント×100＝101点		
	下水道普及率については、更に推進していきたいと考えています。（数値目標については（）は住民基本台帳登録人口ベース、（）外は常住人口ベースの表示です。） [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 健康で安全・安心して暮らせる住まいとまちづくりの実現

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	62. 耐震診断・改修助成事業（街づくり部 建築指導課）			
事業計画概要	地震・災害に強い住宅の供給を実現するため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅及び分譲マンションに対する耐震診断及び耐震改修工事の啓発・指導を行うとともに、耐震診断・耐震改修に要する費用及び耐震改修工事に伴うリフォーム工事費の一部を助成します。 ○対象：昭和56年以前に着工された木造住宅及び分譲マンション ○内容：耐震改修、耐震診断			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		啓発事業 ・耐震相談会、講演会の開催 補助内訳 ・耐震診断費用への補助 ・耐震診断設計費用への補助 ・耐震改修工事費用への補助 ・耐震改修工事に伴う リフォーム費用への補助		
	実績	啓発事業（相談会等） 補助内訳（耐震診断、設計、改修工事、リフォーム工事費用の補助）		
事業費（千円）	計画	15,059	33,127	53,795
	実績	10,339	10,765	11,033
数値目標等	計画	※平成27年度末までに市内の民間住宅の耐震化率が90%以上になることを目標とする （耐震化率＝耐震性を有する市内住宅戸数／市内全住宅戸数（%））		
		87.3%	87.9%	88.5%
	実績	87.6%	87.9%	88.5%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		32,137千円／101,981千円＝31.5%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		88.5ポイント／88.5ポイント×100＝100点	
	当初計画で見込んでいた耐震改修の対象となっていた住宅が建替えに移行したため、市内の住宅の耐震化率が計画どおりに推移し、「十分達成した」と評価した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 健康で安全・安心して暮らせる住まいとまちづくりの実現

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	63.住宅防災リフォーム推進事業(街づくり部 住環境整備課)		
事業計画概要	地震・災害に強い住宅の供給を実現するため、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅または東日本大震災で被災した木造住宅について防災力強化に効果のある改修工事等、木造住宅の防災リフォーム費用の1/2(上限額300千円)を助成するとともに、専門員による相談窓口(「あんしん住宅相談」)を開設します。 ○対象：昭和56年以前に着工された木造住宅、東日本大震災の被災住宅 ○内容：防災リフォーム、相談窓口			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	23年度	24年度	25年度
事業費(千円)	計画	12,346	16,923	423
	実績	11,461	14,880	9,000
数値目標等	計画	防災リフォームの相談件数(年間)		
	実績	280件	350件	350件
達成状況等	(事業費比較)	35,341千円/29,692千円=119.0%		
	(数値目標等比較)	203件/980件×100=21点		
	大震災対応として、当初、数多くの相談が受けられるように相談会の開催設定をしたため、数値目標とした相談件数は大きくなった。 相談会での相談件数実績そのものは数値目標に至らないが、相談者が助成を利用した割合は高く、ほぼ助成の予算限度額まで受付を行った。なお、集計していないが課窓口やTELでの相談・問合せも数多く受けており、今後の数値目標設定では考慮したい。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

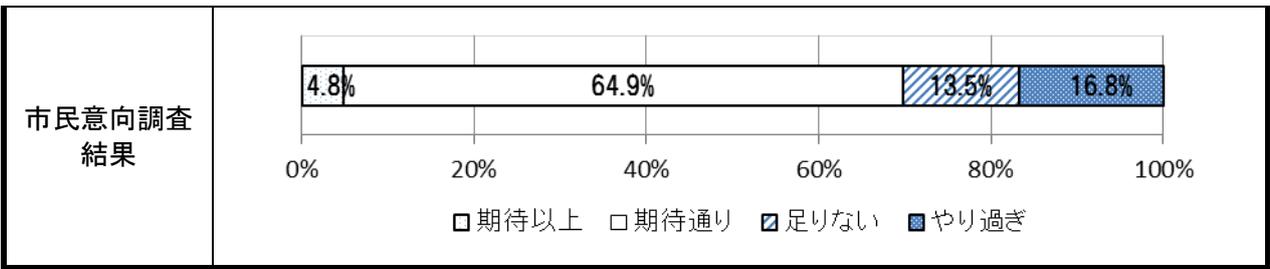
※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 住宅・住環境

〔中分類〕 良好な住まいと地域に根ざしたまちづくりの実現

■実施計画事業の概要

番号	64. 本八幡駅北口A地区市街地再開発事業 (街づくり部 街づくり推進課)			
事業計画概要	市街地再開発・土地区画整理事業と連携したまちづくりを推進するため、本八幡駅北口地区（A地区）において実施されている組合施行「本八幡A地区第1種市街地再開発事業」に対し、市は技術支援と補助金交付を行います。なお、当該事業は駅周辺にふさわしい商業・業務の拠点となる施設整備、魅力ある街並み形成を目的として、平成27年度の完成を目指します。 1期工事（住宅棟・業務棟） H25年度 完了 2期工事（商業棟） H27年度 完了(組合単独負担事業)			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 〔第1期工事〕 ・住宅棟躯体工事 地下2階～19階 ・業務棟基礎・杭工事 〔公共施設等工事〕 ・地下鉄出入口工事 ・下水道工事 ・電線共同溝工事	24年度 〔第1期工事〕 ・住宅棟躯体工事 20階～40階 ・業務棟躯体工事 地下1階～7階 〔公共施設等工事〕 ・地下鉄出入口工事 ・下水道工事 ・電線共同溝工事 ・道路工事	25年度 〔第1期工事〕 ・仕上げ工事 ・引渡し(竣工) 〔第2期工事〕 ・商業棟基礎工事
	実績	・住宅棟躯体工事 地下2階～19階 ・業務棟基礎・杭工事	・住宅棟躯体工事 20階～40階 ・業務棟躯体工事 地下1階～7階	〔第1期工事〕 ・仕上げ工事 ・引渡し(竣工) 〔第2期工事〕 ・商業棟基礎工事
事業費(千円)	計画	2,780,800	3,914,600	57,200
	実績	2,780,800	3,914,600	57,200
数値目標等	計画	都心部における優良住宅の供給(年度末)		
	実績			465戸
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額		6,752,600千円/6,752,600千円=100%	
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画		465戸/465戸×100=100点	
	中心市街地での優良住宅の供給が目標どおりできた。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			



※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 公共施設
 〔中分類〕 公共施設等の有効的、効率的な活用

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	65. 公共施設耐震改修事業（管財部 設計監理課）			
事業計画概要	利用者の安全を確保するとともに、災害時の拠点機能を充実させ、公共施設等の計画的な維持管理を図るため、計画に沿った耐震改修工事を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		行徳支所（平成23～24年度継続費）（1棟） 市営住宅（平成23～24年度継続費）（1棟）		
	実績	市営住宅（平成22～23年度継続費）（2棟）	市営住宅（平成24～25年度継続費）（3棟） 消防署（1棟） 保育園（1棟） 保健センター（1棟）	市民会館（1棟） 保育園（1棟） 市営住宅(単年度)(3棟)
		計画どおり2棟の耐震改修事業を完了した。	計画どおり5棟の耐震改修事業を完了した。	建替えに向けて協議に入った1棟（市民会館）を除き、3棟の耐震改修を実施する。また、市営住宅4棟については耐震診断の結果、耐震補強不要となった。
事業費（千円）	計画	846,696	884,544	448,566
	実績	767,463	864,632	804,054
数値目標等	計画	耐震改修進捗率（棟数ベース）（年度末）		
		70.5%	81.8%	100%
	実績	70.5%	81.8%	97.7%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		2,436,149千円／2,179,806千円＝111.8%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		97.7ポイント／100ポイント×100＝98点 ⇒耐震化が必要であった44棟のうち、市民会館については建替えの協議に入ったため、耐震化が必要な棟数を43棟に変更し、実績も100%の達成状況に変更する。 100ポイント／100ポイント×100＝100点	
	小中学校を除く公共施設の耐震化の達成については、建替えに向けて協議に入った市民会館1棟を除き、全て完了した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額＋繰越額

〔大分類〕 公共施設
 〔中分類〕 公共施設等の有効的、効率的な活用

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	66. 庁舎整備事業（企画部 企画・広域行政課 庁舎整備推進担当室）			
事業計画概要	利用者の安全と防災拠点機能の確保、さらには質の高い市民サービスを提供するため、本庁舎の整備方針を決定し、基本計画を策定します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・「庁舎整備方策調査業務委託」業務を実施し、今後の整備方針を決定 ・（仮）庁舎整備基金条例制定	24年度 ・「（仮）庁舎整備基本構想」の策定 ・基金積み立て	25年度 ・「（仮）庁舎整備基本計画」の策定 ・仮設庁舎設計委託 ・地質調査委託 ・基金積み立て
	実績	・庁舎整備方策調査を実施 ・庁舎整備基本構想策定委員会条例、庁舎整備基金条例を制定	・庁舎整備基本構想の策定について答申を得る ・基金の積立を実施	・庁舎整備基本構想の策定 ・新庁舎建設基本設計、実施設計に係る業者選定及び契約締結
事業費（千円）	計画	0	510,000	1,040,000
	実績	9,204	1,125,206	825,625
数値目標等	計画	庁舎整備基本計画策定		
		整備方針の決定	基本構想の策定	基本計画の策定
	実績	整備方針の決定	「庁舎整備基本構想の策定について」の答申を得た	基本計画を含めた基本構想の策定
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		1,960,035千円／1,550,000千円＝126.5%	
	（数値目標等比較） 最終年度 計画⇒実績		基本計画の策定⇒基本計画を含めた基本構想の策定 100点	
	庁舎整備基本構想について、庁舎整備基本計画を含む内容に充実させ基本計画を策定しないこととしたため、25年度中に基本構想を策定することにより当初計画の目標達成を図るもの。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 土地利用

〔中分類〕 都市経営の観点から効率的で適切な土地利用の誘導

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	112. 市街化調整区域の土地利用 (街づくり部 都市計画課、開発指導課)			
事業計画概要	市街化調整区域における適切な土地利用を図るため、市川市都市計画マスタープランに基づき、調整区域を「将来にわたり、緑地や農地を保全するエリア」、「一定の条件により優良住宅開発を認めるエリア」、「交通網の利便性等を活かした適正な土地利用を誘導するエリア」に区分し、土地利用の方向性を検討するとともに、ルール作り及び土地利用方針を検討します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H24.3 パブリックコメントを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の開発許可基準の見直し ・武蔵野線沿線地域の街づくりの検討 現況把握及び駅勢圏の考察 新駅設置の条件整理 実現化プロジェクトの検討 まちづくり構想の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針の検討 ・武蔵野線沿線地域の街づくりの検討 関係機関との連絡・調整 方向性の検討 市民への情報提供 専門家からの意見聴取
事業費(千円)	計画		4,800	—
	実績		4,200	4,000
数値目標等	計画		<ul style="list-style-type: none"> ・開発許可基準の見直し ・まちづくり構想の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針の検討 ・連絡・調整

	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・目標としていた2回の住民説明会を実施 ・複数の核となるプロジェクト構想の立案 ・実現化に向けた課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を策定 ・鉄道構造の検討、需要動向調査(民間ヒアリング)の実施 ・各プロジェクト案に対する実現可能性について検証
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	8,200千円/4,800千円=170.8%	
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	開発許可基準の見直し、土地利用方針の検討 ⇒開発許可基準の見直し、土地利用方針の検討	100点 まちづくり構想の立案、連絡・調整 ⇒まちづくり構想の立案 50点 (100点+50点)÷2=75点
武蔵野線沿線地域の街づくりの検討については、街づくりの実現性判断にあたり、関係機関(鉄道事業者)との協議・調整において十分な回答が得られなかったこと、また、民間企業等の需要動向を把握しこれまでに提案されたプロジェクト案について更なる検証が必要となった。 なお、鉄道事業者との協議に必要な鉄道構造の検討や、需要動向調査(民間ヒアリング)の結果により、新駅を含めた土地利用の実現可能性がある場合は、さらに課題である土地の集約化等の対策に向け地権者等の意向を把握するとともに、関係機関との協議や財源等との調整を図り、市としての判断を行なう必要がある。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>		

※事業費(千円)の実績欄:平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 土地利用

〔中分類〕 地域ごとの特性を活かした持続可能な地域づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	67. 塩浜地区整備事業 (街づくり部 街づくり推進課、行徳支所 臨海整備課)			
事業計画概要	三番瀬の海辺や行徳近郊緑地といった自然環境、利便性の高い広域交通機能などの地域特性を活かした行徳臨海部のまちづくりを行うため、土地利用計画等を定め、地権者組織との協働により、市川塩浜駅周辺地区の土地利用転換を促進し、新たなまちづくりを進めます。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	・土地区画整理事業認可手続き ・都市計画手続(地区計画) ・都市計画道路3・4・34号用地買収	・土地区画整理事業認可 ・都市計画決定(地区計画)	・造成工事着手 ・施設建設着手
	実績	・土地区画整理事業認可協議 ・都市計画協議(地区計画)	・土地区画整理事業認可協議 ・都市計画協議(地区計画)	・土地区画整理事業認可 ・都市計画協議(地区計画) ・都市計画道路3・4・34号用地買収
事業費(千円)	計画	328,963	6,867	6,867
	実績	5,079	6,319	348,823
数値目標等	計画	市川塩浜駅周辺の土地利用転換促進		
		事業認可申請	事業認可取得	造成工事着手
	実績	関係機関との協議・調整	関係機関との協議・調整	事業認可取得
達成状況等	(事業費比較)	3ヵ年 実績額/計画額 360,221千円/342,697千円=105.1%		
	(数値目標等比較)	最終年度 計画⇒実績 造成工事着手⇒事業認可取得 50点		
	平成25年度から本事業の進行管理が街づくり推進課に事務移管された。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.4% 60.9% 26.9% 9.8%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+補正見込み額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 景観
〔中分類〕 「水と緑」・「歴史と文化」を生かした景観の形成

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	68. 中山参道地区街なみ環境整備事業（街づくり部 都市計画課）		
事業計画概要		歴史的な風情を残すまち並みづくりのため、「中山参道地区街並み環境整備事業計画（H19.3 国の承認）」に基づき、地元関係者等で構成されている「中山まちづくり協議会」との協働により、平成28年度までを目標として、中山参道沿いの街並み環境整備を進めます。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・ 民間修景工事 ・ 協議会の運営	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・ 民間修景工事	同左	同左
事業費（千円）	計画	2,138	6,000	6,000
	実績	2,138	990	2,065
数値目標等	計画	建物修景（中山参道地区）の進捗率（年度末）		
		40%	50%	60%
	実績	40%	48%	64%
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	5,193千円／14,138千円＝36.7%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	64ポイント／60ポイント×100＝107点		
24年度の修景件数は、地元整備者の経済的その他の事情により2件で、50%に達成しなかった。これを踏まえ、地元関係者と協議を重ねた結果、25年度に4件の修景を実施することとなった。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 景観
 〔中分類〕 まちの個性に彩られた表情豊かな景観の形成

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	69. 都市景観形成事業 (街づくり部 都市計画課)		
事業計画概要		市民や地域が主体となる景観まちづくりを推進するため、景観活動団体等への補助金の交付、アドバイザーの派遣等を行います。また、景観計画や景観条例の見直し、景観協定の締結等により地域の特性を活かした良好な景観形成を図ります。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・景観まちづくりの啓発 ・景観活動団体等の支援 ・景観審議会の開催 ・景観計画、景観条例の運用 ・景観計画、景観条例の見直し	24年度 ・景観まちづくりの啓発 ・景観活動団体等の支援 ・景観審議会の開催 ・景観計画、景観条例の運用	25年度 同左
	実績	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 104件 ・景観審議会 3回開催 ・景観シンポジウム開催 1回 ・景観活動団体補助金 2団体	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 178件 ・景観審議会 3回開催 ・景観アドバイザーの派遣 2件 ・景観活動団体補助金 3団体	・景観形成に関する指導・誘導 届出件数 180件 ・景観審議会 3回開催 ・景観協定 1件 ・景観活動団体補助金 4団体
事業費(千円)	計画	480	480	480
	実績	360	160	184
数値目標等	計画	市の景観の取り組みに満足している市民の割合 (e-モニターにより調査)		
	実績	34%	36%	38%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	704千円/1,440千円=48.9%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	44ポイント/38ポイント×100=116点		
24年度はシンポジウムにおいて、外部講師によらず、職員自らが講師を務めたことで、事業費の削減となった。なお、e-モニターによる意識調査ができなかった為、他の調査結果を用いた。25年度においては、e-モニターの実施はもとより、各イベントでのアンケート調査を行い、広く意識調査を行う。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
〔中分類〕 商工業の活性化

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	70. 商店街活性化補助事業（経済部 商工振興課）		
事業計画概要	魅力ある商店街づくりを支援し、商店街の活性化を図るため、商店会等が共同事業を実施するに補助金を交付します。 また、商店街街路灯のLED化など、商店街共同施設の設置や維持管理に要する経費に対し補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	補助内訳（主なもの） ・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール		
	実績	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール等	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール等	・共同事業 イベント、電灯料（街路灯等）、駐車場 ・共同施設（建替・修繕） 街路灯、サインポール等
事業費（千円）	計画	45,775	35,775	35,775
	実績	45,449	34,640	30,184
数値目標等	計画	商店街街路灯LED化（街路灯数）（年度末・累計）		
		154基	214基	274基
	実績	406基	494基	516基
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	110,273千円／117,325千円＝94.0%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	516基／274基×100＝188点		
	平成23年6月補正において、10,000千円を計上したことにより、市内商店街の街路灯のLED化が飛躍的に拡大し、商店会運営を圧迫していた電灯料の支払額を縮減させたこと、商店会本来の販売促進活動に向けて動き出す会も出てきたことから、事業として十分達成したと評価した。今後もLED化の推進に向けて、LED化の効果や市補助金の活用について、商店会へ積極的に周知を行っていく。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
 〔中分類〕 商工業の活性化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	71. 中小企業融資制度等預託金（経済部 商工振興課）			
事業計画概要	経営基盤強化に向けた支援のため、市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託し、金融機関の中小企業者に対する資金融資を円滑にします。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託	24年度 同左	25年度 同左
	実績	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 454件 2,733,090千円	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 410件 2,538,595千円	市制度融資取扱金融機関に融資原資の一部を預託 融資利用実績 380件 2,655,000千円
事業費(千円)	計画	947,000	947,000	947,000
	実績	947,000	947,000	947,000
数値目標等	計画	融資利用実績(年間) 340件 2,137,000千円 360件 2,414,000千円 380件 2,655,000千円		
	実績	454件 2,733,090千円	410件 2,538,595千円	380件 2,655,000千円
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	2,841,000千円/2,841,000千円=100%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	7,926,685千円/7,206,000千円×100=110点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 商工業
〔中分類〕 食品流通の円滑化

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	72. 地方卸売市場事業特別会計（経済部 農政課）			
事業計画概要	地方卸売市場の適切な運営を図るため、一般会計から地方卸売市場事業特別会計へ資金を支出します。地方卸売市場事業特別会計では、地域の青果物等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため、市場基本方針に係る基礎資料を作成します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		(特別会計での主な事業) 基礎資料の作成	調査検討	基本方針策定
年度ごとの事業内容	実績	基礎資料の作成	民営化方針の決定	民営化プランの作成
		事業費(千円)	17,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)
事業費(千円)	計画	17,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)	15,000 (特別会計への繰出金額)
		実績	15,000 (特別会計への繰出金額)	3,469 (特別会計への繰出金額)
数値目標等	計画	市場基本方針の策定		
		基礎資料作成	調査検討	基本方針策定
	実績	基礎資料作成	民営化方針の決定	民営化プランの作成
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額		45,469千円/47,000千円=96.7%	
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績		基本方針策定⇒民営化プランの作成 100点	
	24年度においては、市場運営のあり方について、直営、指定管理者の導入等を検討したが、完全民営化に取り組むことを決定した。 25年度は民営化の実現に向けて、場内事業者、千葉県などの関係者と協議を進め「民営化プラン」を作成する。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>1.6% 69.4% 22.8% 6.2%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 都市農業
〔中分類〕 環境に配慮した農業の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	73. 都市農業振興支援事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	環境保全型農業の推進のため、減農薬・減化学肥料等による持続性の高い農業生産方式と農薬の飛散防止などの事業に対し、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ①減農薬栽培推進事業補助金 ②防鳥網等設置事業補助金 ③農薬飛散防止施設設置事業補助金 ④園芸用廃プラスチック処理事業補助金 ⑤梨剪定枝炭化事業補助金	24年度 ①75ha ②14,846㎡（3件） ③— ④7.7トン ⑤12.8トン ⑥農業用灌漑用水設備設置事業 3箇所	25年度 ①95ha ②4,000㎡ ③60m（1件） ④10トン ⑤14トン ⑥8箇所 ⑦ちばの園芸産地整備支援事業 3件
	実績	①75ha ②227,767㎡（83件） ③168m（4件） ④9トン ⑤14トン ⑥農業用灌漑用水設備設置事業 11箇所	①75ha ②14,846㎡（3件） ③— ④7.7トン ⑤12.8トン ⑥農業用灌漑用水設備設置事業 3箇所	①95ha ②4,000㎡ ③60m（1件） ④10トン ⑤14トン ⑥8箇所 ⑦ちばの園芸産地整備支援事業 3件
事業費（千円）	計画	15,229	15,229	15,229
	実績	18,748	12,686	18,701
数値目標等	計画	減農薬栽培実施面積（年間）		
	実績	95ha	95ha	95ha
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	50,135千円／45,687千円＝109.7%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	延 245ha／延 285ha×100＝86点		
<p>23年度事業費の計画では、防鳥網等設置事業を2件見込んだが、台風被害のため83件の実績となったことによるもの。24年度事業費では、灌漑用水設備設置箇所が減ったため計画と実績の差が生じたもの。減農薬栽培実施面積の実績が計画よりも下回っており、今後は事業について積極的に農家へ周知していく。</p> <p>[□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 都市農業
〔中分類〕 活力に満ちた農業の推進

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	74. 市川市農産物ブランド化推進事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	消費者に新鮮で美味しい市川産農産物をアピールし、農業経営等を支援するため、「市川ブランド農産物」の認定を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市川ブランド農産物の認定基準及びロゴマークの作成への支援	24年度 ・認定ロゴマークの作成	25年度 同左
	実績	市川ブランドである農産物のロゴマーク及び市川市独自の認定基準を検討した。	ブランド化ではなく「市川のやさい」シールを活用し、地産地消を推進することとした。	
事業費（千円）	計画	0	623	623
	実績	0	294	
数値目標等	計画	市川ブランド農産物出荷品目数（年度末・累計）		
	実績		1品目	2品目
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		294千円／1,246千円＝23.6%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		0品目／2品目×100＝0点	
	<p>当初計画では、農産物のブランド化が目的であったが実証実験やアンケート調査結果等により、消費者は必ずしもブランド化を望んでいるのではなく安全安心な市内産の野菜を求めていることがわかった。当事業としては、出荷方法・販売方法として「市川やさい」シールを活用し、地産地消を推進することとした。当事業は、24年度をもって完了となった。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成24年度は決算額

〔大分類〕 都市農業

〔中分類〕 市民に親しまれる農業の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	75. 体験農園事業（経済部 農政課）			
事業計画概要	市民農園等の充実を図るため、市内の農地を活用し、市民の農業理解の場、健康づくりの場、食育の実践の場として市民農園、体験農園等を整備・運営します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市民農園 10箇所 (1,003区画) ・体験農園 2箇所 (400区画)	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (300区画)	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (274区画)	・市民農園 10箇所 (999区画) ・体験農園 2箇所 (150区画)
事業費(千円)	計画	5,504	5,504	5,504
	実績	4,599	5,015	4,597
数値目標等	計画	市民農園区画数(年度末)		
		1,003区画	1,003区画	1,003区画
	実績	999区画	999区画	999区画
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	14,211千円/16,512千円=86.1%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	999区画/1,003区画×100=100点		
	体験農園は、連作障害により区画数を減らしたもの。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 水産業
〔中分類〕 持続可能な漁業環境及び経営・流通環境の整備

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	76. 市川漁港整備事業（行徳支所 臨海整備課）			
事業計画概要	漁業環境の整備を図るため、整備後約40年経ち、老朽化が進む市川漁港について、親水空間の確保の視点も盛り込み、平成35年度の完成を目標に整備を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・国との協議 ・庁内調整	24年度 ・実施設計の策定	25年度 ・特定漁港漁場整備事業交付申請 ・公有水面埋立免許出願
	実績	・国との協議 ・庁内調整	・地震・津波対策への対応のため、基本設計の修正を行った	・国との協議 ・庁内調整
事業費(千円)	計画	0	11,970	3,287
	実績	0	4,552	0
数値目標等	計画	協議・調整	実施設計の策定	事業交付申請
	実績	協議・調整	基本設計の修正	国との協議
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	4,552千円/15,257千円=29.8%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	事業交付申請 ⇒ 国との協議 0点		
	市川漁港整備事業については、平成24年度に実施設計を行い、平成25年度に事業交付申請を行う予定であった。しかし、東日本大震災の影響によって見直された地震・津波対策へ対応するため、平成24年度に基本設計の修正を実施した結果、数値目標等が達成できなかった。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>□期待以上 □期待通り □足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成24年度は決算額

〔大分類〕 水産業

〔中分類〕 市民と共存する都市型水産業の振興

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)		77. 水産業振興負担金(うち魚食文化フォーラム分) (行徳支所 臨海整備課)		
事業計画概要		本市の水産業への市民の理解を深め、PR活動を推進するため、生産者、消費者、小売業者、行政等が市川市魚食文化フォーラム実行委員会を組織し、各種事業を実施します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・水産物の販売 ・学校給食での食材利用 ・水産業PR活動 ・漁業体験 ・ノリ漉き体験 など	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・水産物の販売 ・学校給食での食材利用 ・水産業PR活動 ・漁業体験 ・ノリ漉き体験 など	同左	同左
事業費(千円)	計画	612	849	849
	実績	612	700	600
数値目標等	計画	フォーラム事業の参加者数(年間)		
	実績	1,400人	1,400人	1,400人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	1,912千円/2,310千円=82.8%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	4,200人/4,200人×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 自然環境
〔中分類〕 生物多様性の確保

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	78. 生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業 (環境清掃部 環境政策課)		
事業計画概要		生物多様性地域戦略を策定するため、市川市自然環境保全再生指針(平成18年3月策定)を基礎とし、これまで実施した実態調査の結果を踏まえ、環境団体等の意向調査、パブリックコメントの実施、審議会への諮問等を行います。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 〔「素案」の作成〕 ・生物多様性地域戦略の策定に向けて、環境活動支援団体の意見聴取 ・庁内関係部署と調整を図りながら、市民参加のための土台となる「素案」作成	24年度 〔「原案」の作成〕 ・「素案」を土台として、公聴会、シンポジウム、パブリックコメント等の実施 ・専門家の知見並びに幅広い市民意見を取り入れ、生物多様性地域戦略の「原案」作成	25年度 〔地域戦略策定〕 ・「原案」を環境審議会、庁議等に付議し、生物多様性地域戦略の策定 ・関係機関、庁内関係部署用の冊子と普及啓発用パンフレット作成
	実績	・環境活動団体の意見聴取を実施した(18団体) ・庁内会議を3回開催し、素案を作成した	・現地見学会を1回、講演会を2回開催し、参加者の意見を収集した ・「原案」を作成した	・環境審議会への諮問(5/17) ・パブリックコメントの実施(7/8~8/6)
事業費(千円)	計画	2,467	5,000	1,500
	実績	1,449	1,125	866
数値目標等	計画	生物多様性地域戦略の策定		
	実績	市民団体の意向調査	パブリックコメントの実施	地域戦略 策定
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	3,440千円/8,967千円=38.4%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	地域戦略 策定⇒地域戦略 策定 100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 自然環境
 〔中分類〕 自然とふれあえる機会づくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	79. 環境学習推進事業 (環境清掃部 環境政策課)			
事業計画概要	環境学習を推進するため、「市民環境講座」の開催と「いちかわこども環境クラブ」の運営等を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 〔市民環境講座、こども環境クラブの運営等〕 ・市民環境講座を10回開催 ・こども環境クラブのメンバーの募集及び発足式・壁新聞等の各種イベント開催	24年度 〔市民環境講座、こども環境クラブの運営等〕 ・両事業の充実を図るため、啓発用パンフレット作成	25年度 〔市民環境講座、こども環境クラブの運営等〕 ・生物多様性に関連した講座、イベント等を拡充
	実績	・市民環境講座5回開催 ・発足式及び壁新聞の展示を実施	・市民環境講座6回開催、こども環境クラブ行事6回開催 ・両事業の充実を図るため、市HPに啓発用コンテンツ作成	・市民環境講座7回開催 ・こども環境クラブ運営 ・地域環境社会論24回
事業費(千円)	計画	226	1,000	500
	実績	153	119	125
数値目標等	計画	参加者数(市民環境講座・いちかわこども環境クラブ・千葉商科大学との包括協定による講義)(年間)		
		1,000人	1,200人	1,400人
	実績	1,292人	1,285人	1,400人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	397千円/1,726千円=23.0%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	3,977人/3,600人×100=110点		
市HPに啓発用コンテンツを作成し、パンフレットの作成と同様の成果を達成するなど、最小の経費で成果を上げている [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 公園・緑地
〔中分類〕 地域の緑の保全と活用

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	80. 国府台緑地整備事業（水と緑の部 みどり整備課）			
事業計画概要	樹林地の保全と活用を図るため、市北西部「水と緑の回廊」上の緑の核となる国府台緑地（約5.1ha）を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		関係機関等の調整	施設整備（約1.4ha） ・園路・広場 ・ベンチ・四阿 ・植栽	用地取得（約0.1ha） 施設整備（約1.4ha） ・園路・広場 ・ベンチ ・便所・駐車場 ・植栽
年度ごとの事業内容	実績	関係機関等の調整	広場の窪地の盛土	境界杭復元測量
		事業費（千円）	計画	0
事業費（千円）	実績	0	8,740	500
		数値目標等	計画	国府台緑地整備進捗率（年度末）
用地 98%	用地 98%			用地 100%
数値目標等	実績	工事 13%	工事 50%	工事 100%
		用地 96%	用地 96%	用地 96%
達成状況等	実績	工事 13%	工事 13%	工事 19%
		（事業費比較）	3ヵ年 実績額／計画額 9,240千円／170,000千円＝5.4%	
達成状況等	実績	（数値目標等比較）	最終年度 実績／計画 $\frac{\text{用地 } 96 \text{ ポイント} + \text{工事 } 19 \text{ ポイント}}{\text{用地 } 100 \text{ ポイント} + \text{工事 } 100 \text{ ポイント}} \times 100 = 58 \text{ 点}$	
		この事業は、用地取得において、残り3筆の用地買収が進まないことから、整備工事も遅れている状況である。 また、整備工事については、整備予算の確保の問題や市民主体のワークショップで策定した整備計画に基づく整備予定施設に対する地元自治会からの要望等もあるので、今後、協議調整を図り、整備内容及び整備時期の再検討を行う予定である。 [□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>1.8% 68.1% 22.6% 7.4%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 公園・緑地
 〔中分類〕 魅力ある公園の提供

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	81. 小塚山公園整備拡充事業（水と緑の部 みどり整備課）			
事業計画概要	隣接する堀之内貝塚公園との連携による魅力ある都市公園づくりのため、小塚山公園を整備拡充します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・関係機関との調整	24年度 ・公園基本・実施設計 ・地質調査	25年度 ・用地取得（約0.35ha） ・整備工事（2ヵ年）
	実績	・関係機関との調整	・関係機関との調整	・関係機関との調整
事業費（千円）	計画	0	22,869	450,000
	実績	0	0	0
数値目標等	計画	小塚山公園整備進捗率（年度末）		
		用地 60% 工事 0%	用地 60% 工事 0%	用地 100% 工事 50%
	実績	用地 60% 工事 0%	用地 60% 工事 0%	用地 60% 工事 0%
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		0千円／472,869千円＝0%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		$\frac{\text{用地 } 60\text{ポイント} + \text{工事 } 00\text{ポイント}}{\text{用地 } 100\text{ポイント} + \text{工事 } 50\text{ポイント}} \times 100 = 40\text{点}$	
	<p>この事業は、用地取得において、残り4筆の用地買収が進まないことから、整備工事も遅れている状況である。</p> <p>また、現在、市が取得した同公園用地については、外環道路工事に伴う残土置場や仮設道路用地に提供しているところであり、平成26年から27年にかけては、国がこの公園内に連絡橋（エブリッジ）を整備する予定であることから、整備工事は、平成28年度以降に実施していく予定で考えている。</p> <p>[□十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった ■不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>期待以上 1.1% 期待通り 66.4% 足りない 25.0% やり過ぎ 7.5%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5



〔大分類〕 公園・緑地
 〔中分類〕 花と緑が豊かなまちづくり

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	82. ガーデニング・シティ いちかわ (水と緑の部 みどり整備課、みどり管理課、行徳支所 地域整備課 企画部 健康都市・ガーデニング推進課)			
事業計画概要	花と緑が豊かなまちづくりのため、健康都市の主要な施策である「ガーデニング・シティ いちかわ」を推進し、花壇の設置や植栽等を行います。また、地域の市民、事業者と行政のパートナーシップにより、花や緑を育てます。			
年度ごとの 事業内容	計画	23 年度	24 年度	25 年度
	実績	23 年度	24 年度	25 年度
事業費(千円)	計画	41,040	36,403	43,176
	実績	30,285	31,052	89,545

数値目標等	計画	ガーデニング・シティ いちかわ サポーターの人数（年間）		
		100人	150人	200人
実績		個人472人 事業者23者	個人579人 事業者27者	個人579人 事業者27者
	達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額 $150,882 \text{ 千円} / 120,619 \text{ 千円} = 125.1\%$		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画 $606 \text{ 人(者)} / 200 \text{ 人(者)} \times 100 = 303 \text{ 点}$			
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 公園・緑地

〔中分類〕 水と緑のネットワークの形成

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	83. 水と緑の回廊事業（水と緑の部 みどり整備課）			
事業計画概要	市北東部にある、水・緑・歴史文化遺産などの地域の貴重な資産の活用と健康増進の場の提供を図るため、水と緑の回廊を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 【北部ルート】 ・地元調整 ・ルートの確定 ・サイン設置場所等の詳細検討	24年度 【北部ルート】 ・サイン設置場所、種類等の確定 【南部ルート】 ・ルートの検討 ・地元調整	25年度 【北部ルート】 ・サイン設置工事 【南部ルート】 ・ルートの確定 ・サイン設置場所等の詳細検討
	実績	【北部ルート】 ・地元調整 ・ルートの確定	【北部ルート】 マップ作成 【南部ルート】 ルートの検討	【北部ルート】 サイン設置場所の確定 【南部ルート】 ルートの確定
事業費（千円）	計画	0	0	3,417
	実績	0	0	0
数値目標等	計画	（北部）ルートの確定	サイン設置場所の確定	サイン設置工事
		（南部）	ルートの検討	ルートの確定
	実績	（北部）ルートの確定	サイン設置場所の確定 マップ作成	サイン設置場所の確定
		（南部）	ルートの検討	ルートの確定
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	0千円／3,417千円＝0%		
	（数値目標等比較） 最終年度 計画⇒実績	（北部）サイン設置工事（南部）ルートの確定 ⇒（北部）サイン設置場所の確定 50点 （南部）ルートの確定 100点 (50点+100点)÷2=75点		
	回廊のルートの検討等は予定どおり進んでいるが、サイン設置工事の予算が確保できないことから、遅れている状況である。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 河川・水辺
〔中分類〕 水辺の環境の保全、三番瀬の再生・保全

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	84. 三番瀬保全再生事業（行徳支所 臨海整備課）			
事業計画概要	三番瀬の再生・保全を図るため、干潟化の推進と市民が親しめる海辺づくりを進めていきます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	干潟化や住民が親しむことができる海辺づくりに向けた関係者への働きかけ（千葉県が事業主体）		
事業費（千円）	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
数値目標等	計画	干潟的環境の拡大や自然再生の実現に向けた県や関係者との協議などの取り組み	同左	同左
	実績	干潟化や住民が親しむことができる海辺づくりに向けた県等との協議を実施した	同左	同左
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額		0千円/0千円=0%	
	(数値目標等比較) 3カ年 計画⇒実績		干潟的環境の拡大や自然再生の実現に向けた県や関係者との協議などの取り組み ⇒干潟的環境の拡大や自然再生の実現に向けた県や関係者との協議などの取り組み 75点	
	干潟的環境への取り組みについては、塩浜二丁目地先への砂付けについて県担当部署と協議を続けているが、県、市の考え方に相違があり合意に至っていない。また、塩浜二丁目護岸の未整備区間や同三丁目護岸の早期整備についても協議を続けており、同二丁目護岸については、事業化に向けた協議が進んでいる。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 2.2% 期待通り 64.4% 足りない 30.6% やり過ぎ 2.7%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

〔大分類〕 河川・水辺

〔中分類〕 親しみのある水辺空間の創造

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	85. 国分川調節池上部活用事業（水と緑の部 みどり整備課）			
事業計画概要	水辺の環境の保全を図り、自然と触れ合える場を創造するため、国分川調節池を有効活用し、上部に散策・休息する広場やスポーツ広場等を整備します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 事業調整	24年度 広場整備実施設計 (中池 約4.8ha)	25年度 ・広場整備工事 (中池一部 約2.9ha) ・広場維持管理業務委託 (草刈等 約9.8ha)
	実績	事業調整	広場整備実施設計 (中池 約1.6ha) 植栽基盤土壌調査	・広場整備工事 (中池一部 約1.6ha) ・広場整備実施設計 (中池、駐車場 約3.2ha)
事業費(千円)	計画	0	8,200	129,800
	実績	0	2,480	82,000
数値目標等	計画	平成29年度完成予定		
		事業調整	実施設計	整備工事
	実績	事業調整	実施設計	整備工事
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	84,480千円/138,000千円=61.2%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	整備工事⇒整備工事 100点		
	整備工事については、H25の整備面積が当初の約2.9haから約1.6haに小さくなったが、1.6haの整備面積でも市民が活用できる広場の整備が可能となった。今後も、市民との協働による事業推進を目的として組織された「国分川調節池を育む会」の意見、要望等と調整を図りながら、年次計画で整備を進めていくこととなる。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 地球環境
〔中分類〕 地球環境問題への理解と意識の醸成

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	86. 地球温暖化対策推進事業（環境清掃部 環境政策課）			
事業計画概要	温室効果ガスの排出を抑制するため、「市川市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、エコライフの普及啓発、エコドライブの推進など、各種事業を実施するとともに、「市川市地球温暖化対策推進協議会」と協働して取り組みます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> エコライフ推進員による啓発 環境会計簿の普及 緑のカーテンの公共施設への設置及び市民等への普及 クールアース市川の実施 エコドライブの実践及び普及 	<ul style="list-style-type: none"> エコライフ推進員による啓発：43回 延4,830人 緑のカーテンの公共施設への支援：34施設 	<ul style="list-style-type: none"> エコライフ推進員による啓発：50回 延7,930人 緑のカーテンの公共施設への支援：37施設
事業費（千円）	計画	4,128	4,500	5,000
	実績	3,863	3,034	2,557
数値目標等	計画	エコライフ実践率（年度末）（e-モニターにより調査）		
	実績	55%	58%	61%
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額	9,454千円／13,628千円＝69.4%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	85.9ポイント／61ポイント×100＝141点		
	今後は、事業の効果等について検証し、効果的な事業の推進・展開を図っていく。 【 <input checked="" type="checkbox"/> 十分達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> やや不十分だった <input type="checkbox"/> 不十分だった】			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない □やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 地球環境
 〔中分類〕 地球温暖化への対応

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	87. 住宅用太陽光発電システム設置助成事業（環境清掃部 環境政策課）			
事業計画概要	新エネルギーの利用を推進するため、「市川市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、住宅用太陽光発電システムの設置に要する費用の一部を助成します。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・住宅用太陽光発電システムの設置助成 ・広報、Web、講座等による事業の周知	24 年度 同左	25 年度 同左
	実績	351 件	378 件	380 件
事業費（千円）	計画	23, 856	26, 330	31, 596
	実績	24, 063	27, 702	20, 071
数値目標等	計画	設置出力値（年度末・累計）		
		3, 707 kW	5, 457 kW	7, 557 kW
	実績	3, 761 kW	5, 205 kW	6, 535 kW
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		71, 836 千円／81, 782 千円＝87. 8%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		6, 535kW／7, 557 kW×100＝86 点	
	住宅用太陽光発電システムの効果的、効率的な普及を図るため、制度の見直しを随時行っていく。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>1.9% 54.8% 35.9% 7.4%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り □足りない □やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 生活環境
〔中分類〕 身近な環境の保全

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	88. 大気常時監視整備事業（環境清掃部 環境保全課）		
事業計画概要		大気環境の保全を図るため、監視測定局を適正に配置し、正確なデータ収集管理を行うとともに、環境省が定める環境大気常時監視マニュアルに基づき、大気汚染自動測定機の定期的な更新等を進めます。 （現在：「一般環境大気測定局」5局・「自動車排ガス測定局」3局 計8局設置）		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 [新設機器：計3機] 新たに環境基準が設定された「微小粒子状物質」の監視のため、自動測定機3台を新設	24年度 [更新機器：計15] ・二氧化硫黄自動測定機：3 ・窒素酸化物自動測定機：3 ・オゾン自動測定機：2 ・浮遊粒子状物質自動測定機：4 ・気象観測用測器：2 ・炭化水素自動測定機：1	25年度 [更新機器：計4] ・窒素酸化物自動測定機：1 ・浮遊粒子状物質自動測定機：1 ・気象観測用測器：1 ・炭化水素自動測定機：1
	実績	・微小粒子状物質3機を新設。 ・オゾン自動測定機2機を更新。	・二氧化硫黄自動測定機1機、浮遊粒子状物質自動測定機4機、窒素酸化物自動測定機3機、気象観測用測器2機を更新。	・気象観測用測器1機を更新。
事業費（千円）	計画	20,184	50,504	17,074
	実績	11,912	12,446	1,000
数値目標等	計画	機器新設数及び更新数（年間）		
	実績	3機新設 2機更新	15機更新 0機新設 10機更新	4機更新 0機新設 1機更新
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		25,358千円／87,762千円＝28.9%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		16機／22機×100＝73点	
	更新計画の見直しにより、機器の更新時期を先送りした。 今後も計画的に機器の更新に勤めていく。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 生活環境

〔中分類〕 市民の健康と安全で清潔な生活環境の保持

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	89. 市民マナー条例推進事業（市民部 地域振興課）			
事業計画概要	市民の健康と安全で清潔な生活環境の保持のため、「市民マナー条例」（通称）を推進し、巡回指導や啓発活動等を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・推進指導員による路上禁煙・美化推進地区内の巡回指導の実施 ・注意指導員による路上禁煙・美化推進地区外の巡回指導の実施 ・健康・安全・清潔な地域づくり協議会と連携した啓発活動の実施 ・マナーサポーターの啓発活動の支援 ・小・中学生からの啓発用ポスター及び標語の募集 ・啓発用路面シート、看板、横断幕、懸垂幕等の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・過料件数 1,185 件 ・市民マナーサポーターの啓発活動延べ 771 回 ・路面シート 1,008 枚貼付 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・過料件数 1,500 件 ・市民マナーサポーターの啓発活動延べ 771 回 ・路面シート 1,008 枚貼付 他
事業費（千円）	計画	56,290	56,290	56,290
	実績	55,677	46,124	45,462
数値目標等	計画	路上禁煙・美化推進地区内の吸殻の数（JR 本八幡駅周辺の定点観測数）（年間）		
	実績	157 本	130 本	110 本
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	147,263 千円／168,870 千円＝87.2%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	352 本／397 本×100＝89 点 ※数値が下回ることを目指している為、 100－89＝11 点を加点して、111 点とする。		
市民意向調査結果	<p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算額

〔大分類〕 資源循環型社会
〔中分類〕 3Rの推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	90. ごみ発生抑制等啓発事業（環境清掃部 循環型社会推進課）			
事業計画概要	廃棄物の発生の抑制を図るため、ごみ分別ガイドブックや小学生用副読本等を配布し市民に情報を提供するとともに、市民が集まるイベントでの啓発活動や各地域での説明会を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・ごみ分別ガイドブック・チラシや小学生用副読本等の配布 ・イベントでの啓発活動 各地域での出前説明会の実施	24年度 同左	25年度 同左
	実績	作成部数：5,100冊 (配布部数：4,860冊)	作成部数：5,000冊 (配布部数：4,865冊)	作成部数：5,000冊
事業費(千円)	計画	3,235	3,235	3,235
	実績	2,647	2,649	2,998
数値目標等	計画	出前説明会の出席者数(年間)		
	実績	800人	1,000人	1,000人
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	8,294千円/9,705千円=85.5%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	3,119人/2,800人×100=111点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 資源循環型社会

〔中分類〕 3Rの推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	91. 分別収集促進事業（環境清掃部 清掃事業課、循環型社会推進課）			
事業計画概要	資源の循環的な利用の推進のため、市民への排出ルールの周知・啓発を行うとともに、分別収集体制を維持し、ごみの減量と資源化を進めます。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	「いちかわじゅんかんプラン 21」に基づき、ごみと資源物の12分別の徹底、収集量の減、適正な排出・処理の実施	同左	同左
	実績	「いちかわじゅんかんプラン 21」に基づき、ごみと資源物の12分別の徹底、収集量の減、適正な排出・処理の実施	同左	同左
事業費（千円）	計画	2,253,342	2,253,342	2,253,342
	実績	2,127,983	1,988,747	2,010,040
数値目標等	計画	排出量（一日一人当たりの排出量） ※市川市一般廃棄物処理計画（いちかわじゅんかんプラン 21）では、平成30年度の目標 830g		
		850g	845g	840g
	実績	860g	849g	849g
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	6,126,770千円／6,760,026千円=90.6%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	849g／840g×100=101点 ⇒数値が下回ることを目指している為 100-101=△1点を加点して、99点とする。		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 資源循環型社会
〔中分類〕 廃棄物の適正処理の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	92. クリーンセンター延命化事業 (環境清掃部 清掃施設課)			
事業計画概要	廃棄物処理施設の整備・適切な運営管理のため、平成25年度に建替予定であったクリーンセンターを平成35年度まで操業するために必要な延命化工事を計画的に実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 延命化工事 [4ヵ年継続工事(22~25年度)] ※主な工事内容 不燃・粗大ごみ処理施設 ごみ焼却処理施設 ・共通設備 ・3号炉(1部)	24年度 延命化工事 [4ヵ年継続工事(22~25年度)] ※主な工事内容 ごみ焼却処理施設 ・3号炉(1部) ・2号炉 ・排水処理設備	25年度 延命化工事 [4ヵ年継続工事(22~25年度)] ※主な工事内容 ごみ焼却処理施設 ・1号炉
	実績	不燃・粗大ごみ処理施設 ごみ焼却処理施設 ・共通設備(1部) ・3号炉(1部)	ごみ焼却処理施設 ・共通設備(1部) ・3号炉(1部) ・2号炉 ・建築工事	ごみ焼却処理施設 ・1号炉 ・排水処理設備
事業費(千円)	計画	1,224,761	3,582,160	618,549
	実績	395,841	3,992,636	1,036,308
数値目標等	計画	延命化事業の進捗率(年度末)		
	実績	29.9%	89.7%	100%
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	5,424,785千円/5,425,470千円=100.0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	100ポイント/100ポイント×100=100点		
<p>工事の一部が繰り越しになったが、全体計画に影響を及ぼさないことから[十分達成した]と評価した。</p> <p>[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額+繰越額

〔大分類〕 協働・市民参加
 〔中分類〕 市民参加の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	93. マーケティング事業 (情報政策部 情報政策課)			
事業計画概要	市民の目線に立った市民本位の行政経営を実現するため、市民からの提案や意見等を一元的に管理して整理・分析し、政策決定や事業の改善に活かします。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・市民ニーズ等の様々なデータを組み合わせて分析し、政策判断、事務改善、PR等に活用する制度の確立	24年度 ・市民ニーズやe-モニター制度等のデータからニーズ分析を実施 ・分析結果を行政経営会議へ報告・提言 ・他部署からの依頼による報告・提言、提案 ・市民への事業PR	25年度 同左
	実績	・東日本大震災分析 ・ツイッター導入 ・放射能ニーズ分析 ・放射線量GISマップ公開 ・がれき受入ニーズ分析	・危機管理ニーズ分析 ・スカイプ導入実験 ・がれき受入ニーズ追跡調査 ・フェイスブック開始	・公式 Web 再構築に関するニーズ分析 ・FAQ システムの効果分析・導入検討 ・スマートフォン市場調査 ・タブレット端末市場調査
事業費(千円)	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
数値目標等	計画	政策に反映された事業割合(年間)		
		制度の確立	50%	100%
	実績	制度の確立	100%	100%
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	0千円/0千円=0%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	100ポイント/100ポイント×100=100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

〔大分類〕 情報の発信・提供
 〔中分類〕 市民と行政の情報の共有化

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	94. 市ホームページ管理運営事業 (企画部 広報広聴課)			
事業計画概要	広報活動の充実を図るため、市公式Webサイトで市民に必要な情報を的確に提供するとともに、インターネットの双方向性を利用した機能の充実を図ります。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・電子市役所機能の充実 ・市民の利便性、アクセシビリティを考慮したページの管理運営	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・電子市役所機能の充実 ・市民の利便性、アクセシビリティを考慮したページの管理運営	同左	同左
事業費(千円)	計画	11,262	11,262	11,262
	実績	11,890	12,044	12,270
数値目標等	計画	Webサイト(トップページ)へのアクセス件数(年間・延べ)		
		3,680,000件	3,950,000件	4,220,000件
	実績	3,194,737件	3,079,484件	4,220,000件
達成状況等	(事業費比較)	3カ年 実績額/計画額 36,204千円/33,786千円=107.2%		
	(数値目標等比較)	3カ年 実績/計画 10,494,221件/11,850,000件×100=89点		
		事業費については、平成23年度は東日本大震災後、メール情報配信サービスの利用者が増加したことによる使用料の増額並びに同サービスの事業拡大にかかる啓発物品の購入等により増額、平成24年度・25年度は外国語版市公式Webサイト構築事業と統合したことにより増額となった。 また数値目標については、利用者の利便性を考慮し、ツイッターやフェイスブック等にアドレスを掲載する際にトップページへアクセスすることなく検索項目に直接につながるようにしたため、トップページへのアクセス数が目標値に達しなかった。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]		
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 情報の発信・提供
 〔中分類〕 公文書の正確、迅速な取り扱い

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	95. 保存文書整備事業 (総務部 総務課)			
事業計画概要	公文書の適正で効率的な管理を図るため、作成した管理マニュアルに基づき、内部文書整理実施課への検索データ作成指導、保存文書及びマイクロフィルムの保管を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・ 文書状況調査 ・ 紙文書検索データ作成 ・ 文書引継・廃棄支援 ・ 文書保管・運搬 ・ マイクロフィルム検査及び保管	24 年度 同左	25 年度 同左
	実績	・ 文書状況調査 ・ 紙文書検索データ作成 ・ 文書引継・廃棄支援 ・ 文書保管・運搬 ・ マイクロフィルム検査及び保管	同左	同左
事業費 (千円)	計画	29,614	29,614	29,614
	実績	28,019	31,920	31,400
数値目標等	計画	検索データの新規作成、更新予定数 (年間)		
		48,000 冊	48,000 冊	48,000 冊
	実績	107,183 冊	145,242 冊	36,000 冊
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	91,339 千円/88,842 千円=102.8%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	288,425 冊/144,000 冊×100=200 点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費 (千円) の実績欄：平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算額

〔大分類〕 情報の発信・提供
 〔中分類〕 情報公開の一層の推進

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	96. 情報公開・個人情報保護事業（総務部 総務課）			
事業計画概要	情報公開の一層の推進と個人情報の適切な保護を図るため、公文書公開審査会、個人情報保護審議会及び個人情報保護審査会を開催するとともに、市政情報センター等の資料の整備を進めます。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・公文書公開審査会開催 ・個人情報保護審議会開催 ・個人情報保護審査会開催 ・市政情報センター等の資料の整備	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・公文書公開審査会開催 ・個人情報保護審議会開催 ・個人情報保護審査会開催 ・市政情報センター等の資料の整備	同左	同左
事業費（千円）	計画	1,484	1,450	1,450
	実績	822	680	548
数値目標等	計画	市政情報センターの資料点数（年度末）		
		4,800 種類	4,850 種類	4,900 種類
	実績	4,816 種類	5,104 種類	5,410 種類
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	2,050 千円／4,384 千円＝46.8%		
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画	5,410 種類／4,900 種類×100＝110 点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>2.0% 76.3% 18.2% 3.5%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 地域コミュニティ・市民活動

〔中分類〕 地域コミュニティの活性化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	97. 防犯灯設置事業 (市民部 地域振興課)			
事業計画概要	自治会活動への支援を行うため、犯罪の未然防止や節電対応として、防犯灯の整備及びLED化を進める自治会等に対し、補助金を交付します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	年間1,200~1,300灯の交換及び新設のうち、600灯をLED防犯灯に切替	年間1,200~1,300灯の交換及び新設のうち、自治会と協議しながら概ね600灯をLED防犯灯に切替	同左
	実績	518灯をLED防犯灯に切り替え。	1,158灯をLED防犯灯に切り替え	500灯をLED防犯灯に切り替え
事業費(千円)	計画	68,625	64,575	64,575
	実績	68,520	83,940	52,260
数値目標等	計画	防犯灯LED化(防犯灯数)(年度末・累計)		
		600基	1,200基	1,800基
	実績	518基	1,676基	2,176基
達成状況等	(事業費比較) 3ヵ年 実績額/計画額	204,720千円/197,775千円=103.5%		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	2,176基/1,800基×100=121点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 地域コミュニティ・市民活動
 〔中分類〕 市民活動の活性化と公共サービスの担い手の創生

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	98. 市民活動団体支援制度（1%支援制度）運営事業 （企画部 ボランティア・NPO課）		
事業計画概要		市民の納税意欲を向上させるとともに、市民活動団体の活動の支援を図るため、ボランティア団体やNPOなどが行う自主的な活動に対して、納税者等が支援したい団体を選び、個人市民税額の1%相当額を支援できる制度を実施します。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・制度の周知及び総合的な検証・見直し ・市民活動団体の自立に向けた研修会・講座の開催	24年度 ・制度の周知 同左	25年度 同左
	実績	・制度の周知及び総合的な検証・見直し ・市民活動団体の自立に向けた研修会・講座の開催	・制度の周知 ・市民活動団体の定義等を見直す条例改正 ・同左	・制度の周知 ・市民活動団体の自立に向けた研修会・講座の開催
事業費（千円）	計画	26,668	26,668	26,668
	実績	20,283	22,961	24,510
数値目標等	計画	1%支援制度への有効選択届出人数（年間）		
	実績	10,000人	10,000人	10,000人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	67,754千円／80,004千円＝84.7%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	25,320人／30,000人×100＝84点		
これまでの実績を踏まえ制度を検証し、平成24年9月議会において条例を改正した。このことにより、社会貢献活動を主たる活動としている市民活動団体を支援する制度とした。 なお、平成23・24年度と数値目標を達成できなかったため、25年度は、新たに自治会地区連合会や工業会へ直接出向き周知を行った。 [□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 4.2% 期待通り 68.5% 足りない 17.9% やり過ぎ 9.3%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 政策展開
 〔中分類〕 情報の収集と整備

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	99. e-モニター制度運営事業 (情報政策部 情報政策課)			
事業計画概要	広聴の充実を図り、市民のニーズを施策展開につなげていくため、インターネットを活用し、電子メールで市民へ情報を発信しアンケートなどを実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・アンケートの実施 ・ポイントの景品交換 ・会員モニター数拡大に向けたPR活動	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・アンケートの実施 ・ポイントの景品交換 ・会員モニター数拡大に向けたPR活動	・アンケートの実施 ・ポイントの景品交換 ・会員モニター数拡大に向けたPR活動 ・システムリニューアル ・スマートフォン対応	・アンケートの実施 ・ポイントの景品交換 ・会員モニター数拡大に向けたPR活動 ・「アンケート結果の市政への反映状況」の公表
事業費(千円)	計画	5,327	5,327	5,327
	実績	5,665	19,007	4,672
数値目標等	計画	アンケート実施回数(年間)		
		24回	24回	24回
	実績	32回	30回	24回
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	29,344千円/15,981千円=183.6%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	86回/72回×100=119点		
※平成24年度にシステムのリニューアルを行ったため、事業費が増えている。				
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

〔大分類〕 政策展開
〔中分類〕 法務能力の向上

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	100. 法制実務研修事業（総務部 法務課）			
事業計画概要	市職員全体の法務能力の向上を図るため、研修事業を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・部長推薦を受けた法務担当職員育成研修 ・全職員対象の個別テーマを定めた研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・法務担当職員育成研修 危機管理、法学通論、民法、行政法、地方自治法、地方公務員法、立法技術等の習得するための年間を通じた講義形式による研修 ・個別テーマ研修 「行政手続法・行政手続条例」をテーマとした講演形式による研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・法務担当職員育成研修 危機管理、法学通論、民法、行政法、地方自治法、地方公務員法、立法技術の習得、判例を基にした事例研究等の年間を通じた講義形式による研修 ・個別テーマ研修 「行政法の基礎」をテーマにした講演形式による研修
事業費（千円）	計画	2,550	2,550	2,550
	実績	2,550	2,000	800
数値目標等	計画	法務担当職員育成人数（年間）		
	実績	70人	95人	95人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		5,350千円／7,650千円=69.9%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		延207人／延260人×100=80点	
	<p>法制実務研修が平成25年度をもって終了することから、平成25年度は新たな募集を行わず平成22年度から平成24年度までに各部長から推薦された職員の研修に限ったため、事業費及び人数の実績は計画と比較して減少することとなった。</p> <p>平成25年度をもって法制実務研修は終了するが、今後は人材育成担当室との連携により職員研修事業の一環として研修の実施を予定している。</p> <p>[□十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]</p>			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 政策展開
 〔中分類〕 施策の評価と反映

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	101. 市民意向調査 (企画部 企画・広域行政課)			
事業計画概要	基本計画及び実施計画における施策の効果の把握と評価のため、市民意向調査を実施します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	市民意向調査による「施策評価」の実施		
	実績	市民意向調査による「施策評価」の実施		
事業費(千円)	計画	1,281		
	実績	845		
数値目標等	計画	市民意向調査の回答率 40%		
	実績	40%		
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	$845 \text{ 千円} / 1,281 \text{ 千円} = 66.0\%$		
	(数値目標等比較) 最終年度 実績/計画	$40 \text{ ポイント} / 40 \text{ ポイント} \times 100 = 100 \text{ 点}$		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 行政体制
〔中分類〕 適正な人事管理

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	102. 職員研修事業（総務部 人事課 人材育成担当室）			
事業計画概要	専門的かつ高度な知識をもって市民ニーズに的確に応える職員の育成を図るため、職位に応じた基礎研修・能力開発研修、行政ニーズ対応研修等を実施します。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・基礎研修・能力開発研修 ・行政ニーズ対応研修 ・職場研修支援 ・雇用多様化対応研修 ・他課主催研修連携 ・派遣研修	24年度 同左	25年度 同左
	実績	・一般研修 ・行政ニーズ対応研修 ・職場研修支援 ・派遣研修ほか	同左	同左
事業費（千円）	計画	15,726	16,026	17,066
	実績	14,643	14,813	13,342
数値目標等	計画	研修受講者数（年間・延べ）		
		3,000人	3,050人	3,130人
	実績	3,053人	2,787人	3,200人
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額		42,798千円／48,818千円＝87.7%	
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画		9,040人／9,180人×100＝98点	
事業費については、研修体系の見直しや内部講師の活用等による節減の結果計画値を下回った。数値目標については、ほぼ当初の計画目標を達成した。 [■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>期待以上 1.7% 期待通り 64.6% 足りない 19.1% やり過ぎ 14.6%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 窓口・相談機能
 〔中分類〕 市民相談体制の充実

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	103. 総合市民相談・案内事業 (市民部 総合市民相談課)			
事業計画概要	市民の目線に立った相談の充実を図るため、市民相談員及び弁護士等の専門家による相談を実施します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	・市民相談員及び弁護士等の専門家による相談の実施 ・専門業者による円滑な総合案内業務の実施	同左	同左
	実績	・市民相談員及び弁護士等の専門家による相談の実施 ・専門業者による円滑な総合案内業務の実施	同左	同左
事業費(千円)	計画	15,090	15,090	15,090
	実績	15,030	12,028	15,158
数値目標等	計画	市民相談件数(年間)		
		14,000件	14,100件	14,200件
	実績	10,713件	9,659件	9,650件
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	42,216千円/45,270千円=93.3%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	30,022件/42,300件×100=71点 ⇒数値が下回ることを目指している為、 100-71=29点を加点し、129点とする。		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 財政運営
 〔中分類〕 財政健全化の推進

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	104. 財政調整基金積立金（財政部 財政課）			
事業計画概要	将来にわたり持続可能な財政運営を確立するため、計画的な財政調整基金の活用及び積み立てを行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
		財政調整基金の取崩しの抑制及び積み立て	同左	同左
事業費（千円）	実績	取崩し額：0千円 積み立て額：13,144千円	取崩し額：1,000,000千円 積み立て額：1,199,828千円	取崩し額：2,690,000千円 積み立て額：11,119千円
	計画	6,478	306,215	306,693
事業費（千円）	実績	13,144	1,199,828	11,119
	計画	財政調整基金現在高（年度末）		
数値目標等	計画	65億円	70億円	80億円
	実績	81億円	83億円	56億円
達成状況等	（事業費比較） 3ヵ年 実績額／計画額		1,224,091千円／619,386千円＝197.6%	
	（数値目標等比較） 最終年度 実績／計画		56億円／80億円×100＝70点	
	23年度に財政調整基金条例を改正し、決算剰余金の1/2を基金に積み立てることとしたことから、計画を上回る積み立てとなったが、平成24年度及び平成25年度に取り崩しを行ったため、年度末現在高は計画を下回った。 今後、財政状況の悪化による取崩し額の増大が見込まれることから、現在高を保つために引き続き財政の健全化に取り組む。 [□十分達成した □概ね達成した ■やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

基本目標1
 基本目標2
 基本目標3
 基本目標4
 基本目標5

〔大分類〕 財政運営
 〔中分類〕 自主財源の充実・確保

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	105. 納税環境整備事業 (財政部 納税・債権管理課)			
事業計画概要	税財源の確保を図り、マルチペイメントネットワークの活用により納税者の利便性向上に努めるため、コンビニエンスストアにおける納税や口座振替を実施します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	コンビニ納税の実施 口座振替の実施	コンビニ納税の実施 口座振替の実施	コンビニ納税の実施 口座振替の実施
	実績	コンビニ納税及び口座振替による納付手段の提供を実施した	コンビニ納税及び口座振替による納付手段の提供を実施した	コンビニ納税及び口座振替の他にクレジットカードによる納税を新たに開始した
事業費(千円)	計画	74,840	76,711	78,582
	実績	73,009	77,273	85,486
数値目標等	計画	コンビニ納付利用件数(年間・延べ)		
		400,000件	410,000件	420,000件
	実績	322,427件	350,228件	420,000件
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	235,768千円/230,133千円=102.4%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	1,092,655件/1,230,000件×100=89点		
	25年度より、クレジットカードによる納付を開始したことによる一時費用及び継続費が発生したため事業費は計画に対して実績が超過した。 コンビニ納付利用件数は計画比未達ながら順調に伸長。25年度からはクレジットカードによる納付を開始し、更なる納税者の利便性向上を図る。 □十分達成した ■概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>期待以上 期待通り 足りない やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄:平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 広域行政
〔中分類〕 広域行政の推進

基本目標1
基本目標2
基本目標3
基本目標4
基本目標5

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	106. 広域行政推進事業（企画部 企画・広域行政課）			
事業計画概要	近隣自治体等との連携の推進を図るため、情報交換や共通課題の解決に向けた調査・研究などを行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23年度	24年度	25年度
	実績	京葉広域行政連絡協議会での、 ・広域行政事業の調査・研究 ・県への要望活動 等 東葛飾・葛飾地域市長懇話会等での、 ・情報交換 ・広域行政事業の調査・研究 等		
事業費（千円）	計画	200	150	150
	実績	200	150	150
数値目標等	計画	京葉広域行政連絡協議会における会議・研修等の回数（年間）		
	実績	7回	7回	7回
達成状況等	（事業費比較） 3カ年 実績額／計画額	500千円／500千円＝100%		
	（数値目標等比較） 3カ年 実績／計画	22回／21回×100＝105点		
市民意向調査結果	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった] 			

※事業費（千円）の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 情報化
〔中分類〕 電子行政サービスの刷新と拡充

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	107. 住民票等コンビニ交付事業 (市民部 市民課)			
事業計画概要	行政手続きの簡素化・効率化を図るため、住民基本台帳カードを利用し、全国のセブンイレブンに設置されているマルチコピー機から「住民票の写し」等の証明書を取得できる広域交付サービスを実施します。			
年度ごとの事業内容		23年度	24年度	25年度
	計画	・住民票の写し、印鑑登録証明書のコンビニ交付 ・戸籍証明書と税証明書をコンビニ交付するシステムの構築について検討	・住民票の写し、印鑑登録証明書に加え、戸籍証明書と税証明書のコンビニ交付開始	・住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、税証明書のコンビニ交付
	実績	・住民票の写し、印鑑登録証明書のコンビニ交付 ・戸籍証明書と税証明書をコンビニ交付するシステムの構築について検討	・戸籍証明書と税証明書のコンビニ交付を開始	・コンビニ交付にローソン、サークルKサンクスが参入
事業費(千円)	計画	29,395	10,021	10,021
	実績	29,313	11,178	12,019
数値目標等	計画	コンビニでの住民票交付枚数(年間)		
		6,900枚	7,300枚	7,700枚
	実績	6,016枚	9,257枚	12,800枚
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	52,510千円/49,437千円=106.2%		
	(数値目標等比較) 3カ年 実績/計画	28,073枚/21,900枚×100=128点		
	[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]			
市民意向調査結果	<p>9.0% 70.1% 11.1% 9.8%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額、平成25年度は当初予算額

〔大分類〕 情報化
 〔中分類〕 ICTを活かした行政事務の効率化の推進

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

■実施計画事業の概要

番号	事業名(所管)	108. 情報システム再構築事業 (情報政策部 情報システム課)		
事業計画概要		ICTを活かした行政事務の効率化の推進を図るため、平成24年7月に施行が予定されている「住民基本台帳法」の一部改正に対応した新住民記録系システムの稼働準備を行うとともに、連携する基幹系システムについても法改正に沿った改修を行います。		
年度ごとの事業内容	計画	23年度 ・システム改修 ・テスト	24年度 ・データ移行 ・運用テスト ・本稼働	25年度
	実績	平成24年7月施行の「住民基本台帳法」の一部改正に対応した新住民記録系システムの稼働準備を行うとともに、連携する基幹系システムについても法改正に沿った改修を行った。	平成24年7月施行の「住民基本台帳法」の一部改正に対応した新たな市民サービスの提供が円滑に行えるよう、新住民記録系システム及び連携する基幹系システムについて稼働環境整備を行った。	
事業費(千円)	計画	334,123	106,293	
	実績	327,442	110,454	
数値目標等	計画	システム改修・テスト	本稼働	
	実績	システム改修・テスト	本稼働	
達成状況等	(事業費比較) 3カ年 実績額/計画額	437,896千円/440,416千円=99.4%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画⇒実績	本稼働⇒本稼働 100点		
[■十分達成した □概ね達成した □やや不十分だった □不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>4.1% 73.8% 11.3% 10.8%</p> <p>□期待以上 □期待通り ■足りない ■やり過ぎ</p>			

※事業費(千円)の実績欄：平成23年度及び平成24年度は決算額

〔大分類〕 情報化
 〔中分類〕 情報システムの安全性の強化

■実施計画事業の概要

番号 事業名(所管)	109. セキュリティ構築事業 (情報政策部 情報管理課)			
事業計画概要	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の強化を図るため、ISO27001 の国際認証に基づく ISMS を維持継続するとともに、バックデータの外部保管及びセキュリティ意識の向上を図る研修を行います。			
年度ごとの事業内容	計画	23 年度 ・ ISO27001 定期審査の受審 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施	24 年度 ・ ISO27001 更新審査の受審 ・認証の更新 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施	25 年度 ・ ISO27001 定期審査の受審 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施
	実績	・ ISO27001 定期審査の受審 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施	・ ISO27001 更新審査の受審 ・認証の更新 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施	・ ISO27001 定期審査の受審 ・バックアップデータの外部保管 ・情報セキュリティ研修の実施 ・情報セキュリティ遠隔診断の実施
事業費 (千円)	計画	2,059	2,577	2,059
	実績	1,328	1,638	1,764
数値目標等	計画	認証取得部署数 (年度末)		
	実績	全部署 (本年度 181)	全部署	全部署
達成状況等	(事業費比較) 3 ヶ年 実績額 / 計画額	4,730 千円 / 6,695 千円 = 70.6%		
	(数値目標等比較) 最終年度 計画 → 実績	全部署 → 全部署 100 点		
計画より事業費を縮小することができた。 [<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> やや不十分だった <input type="checkbox"/> 不十分だった]				
市民意向調査結果	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p><input type="checkbox"/> 期待以上 <input type="checkbox"/> 期待通り <input checked="" type="checkbox"/> 足りない <input checked="" type="checkbox"/> やり過ぎ</p>			

※事業費 (千円) の実績欄: 平成 23 年度及び平成 24 年度は決算額、平成 25 年度は当初予算額

〔資料〕事業別一覧表

番号	事業名	事業費				自己評価				市民意向調査結果			
		計画額 (3カ年、千円)	実績額 (3カ年、千円)	差額	比較	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ
1	東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業	2,573,644	2,359,374	△ 214,270	91.7%	■	□	□	□	5.8%	68.9%	20.6%	4.7%
2	妊婦乳児健康診査事業	1,372,104	1,301,599	△ 70,505	94.9%	■	□	□	□	4.4%	74.2%	16.9%	4.5%
3	健康診査事業	3,474,932	3,628,493	153,561	104.4%	■	□	□	□	4.7%	71.1%	21.4%	2.8%
4	予防接種事業	4,015,675	3,806,470	△ 209,205	94.8%	□	■	□	□	3.9%	73.0%	19.9%	3.2%
	保健・医療	11,436,355	11,095,936	△ 340,419	97.0%	3	1						
5	児童虐待対策事業	43,252	31,718	△ 11,534	73.3%	■	□	□	□	2.5%	60.1%	35.4%	2.0%
6	保育園整備計画事業	923,141	1,455,109	531,968	157.6%	■	□	□	□	2.5%	47.2%	48.0%	2.4%
7	子ども医療費助成事業	2,918,172	3,404,507	486,335	116.7%	■	□	□	□	4.6%	61.5%	28.8%	5.1%
	子育て	3,884,565	4,891,334	1,006,769	125.9%	3							
8	地域福祉計画推進事業	7,123	3,181	△ 3,942	44.7%	■	□	□	□	1.6%	58.7%	33.8%	5.9%
9	社会福祉事業	173,517	174,552	1,035	100.6%	■	□	□	□	2.0%	60.5%	30.6%	6.9%
10	地域ケアシステム推進事業	40,397	37,564	△ 2,833	93.0%	■	□	□	□	2.8%	59.3%	31.7%	6.2%
	地域福祉	221,037	215,297	△ 5,740	97.4%	3							
11	障害者雇用事業	31,869	28,159	△ 3,710	88.4%	■	□	□	□	3.3%	54.6%	39.9%	2.2%
12	地域生活支援事業	1,578,684	1,239,924	△ 338,760	78.5%	□	□	□	■	2.5%	60.8%	30.7%	6.0%
13	身体障害者地域リハビリテーション体制整備事業	19,821	10,150	△ 9,671	51.2%	■	□	□	□	2.4%	55.4%	40.1%	2.1%
14	障害者地域生活支援センター等管理運営事業	14,310	13,536	△ 774	94.6%	■	□	□	□	2.7%	57.7%	35.3%	4.4%
	障害者福祉	1,644,684	1,291,769	△ 352,915	78.5%	3			1				
15	介護保険特別会計	8,936,918	8,968,919	32,001	100.4%	■	□	□	□	3.7%	59.9%	27.3%	9.1%
16	特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業	※ 304,000	458,000	154,000	150.7%	■	□	□	□	2.6%	49.9%	43.5%	4.1%
	高齢者福祉	9,240,918	9,426,919	186,001	102.0%	2							
17	国民健康保険特別会計	14,265,109	13,220,000	△ 1,045,109	92.7%	□	□	□	■	3.4%	65.1%	22.5%	9.0%
18	市営住宅営繕事業	461,194	325,632	△ 135,562	70.6%	□	□	■	□	2.8%	63.1%	25.9%	8.3%
	社会保障・住まい	14,726,303	13,545,632	△ 1,180,671	92.0%			1	1				
19	スポーツ施設整備・改修事業	463,775	211,509	△ 252,266	45.6%	■	□	□	□	4.8%	61.1%	27.7%	6.4%
	スポーツ	463,775	211,509	△ 252,266	45.6%	1							
20	学校版環境ISO認定事業	2,685	2,064	△ 621	76.9%	■	□	□	□	4.3%	72.2%	18.3%	5.2%
21	学校給食費負担軽減事業	360,000	438,136	78,136	121.7%	■	□	□	□	7.8%	68.8%	13.6%	9.9%
22	コミュニティクラブ事業	25,969	22,863	△ 3,106	88.0%	■	□	□	□	5.4%	67.2%	20.2%	7.2%
23	小学校・中学校耐震改修事業	5,328,488	5,089,770	△ 238,718	95.5%	■	□	□	□	8.8%	71.5%	18.0%	1.7%
24	少人数学習等担当補助教員事業	444,984	421,932	△ 23,052	94.8%	■	□	□	□	3.2%	64.1%	22.8%	9.9%
25	私立幼稚園等補助金	1,854,069	1,809,606	△ 44,463	97.6%	■	□	□	□	3.1%	64.1%	20.8%	12.0%
26	放課後保育クラブ運営事業	2,956,559	2,818,997	△ 137,562	95.3%	■	□	□	□	3.1%	64.1%	26.1%	6.7%
	子どもの教育	10,972,754	10,603,368	△ 369,386	96.6%	7							
27	公民館主催講座活動事業	38,613	35,616	△ 2,997	92.2%	■	□	□	□	4.1%	66.5%	22.4%	7.0%
28	蔵書管理効率化事業	184,875	10,000	△ 174,875	5.4%	□	□	□	■	6.1%	71.4%	18.8%	3.7%
	生涯学習	223,488	45,616	△ 177,872	20.4%	1			1				
29	若年者等就労支援事業	4,789	4,654	△ 135	97.2%	□	□	■	□	1.4%	39.9%	52.8%	5.8%
30	勤労者労働相談事業	1,047	861	△ 186	82.2%	■	□	□	□	2.2%	44.8%	49.5%	3.5%
	雇用・労働	5,836	5,515	△ 321	94.5%	1		1					
31	消費生活センター相談及び啓発事業	53,228	49,066	△ 4,162	92.2%	■	□	□	□	2.1%	69.1%	23.0%	5.8%
	消費生活	53,228	49,066	△ 4,162	92.2%	1							
32	市川市DV対策事業	30,786	30,940	154	100.5%	■	□	□	□	1.7%	65.3%	28.1%	4.8%
33	男女共同参画センター講座事業	2,970	2,800	△ 170	94.3%	■	□	□	□	1.8%	66.6%	23.3%	8.3%
	人権・男女共同参画	33,756	33,740	△ 16	100.0%	2							
34	平和啓発事業	6,546	6,519	△ 27	99.6%	■	□	□	□	2.8%	69.2%	18.2%	9.8%
35	姉妹都市等交流事業	33,696	20,938	△ 12,758	62.1%	■	□	□	□	3.2%	71.2%	15.1%	10.4%
	平和	40,242	27,457	△ 12,785	68.2%	2							
	基本目標1 計	52,946,941	51,443,158	△ 1,503,783	97.2%	29	1	2	3				

※16.特別養護老人ホーム施設整備建設補助事業の計画額は、第一次実施計画策定時には23年度304千円、24・25年度未定であったことから、304千円としている。
ただし、個表(41ページ)のみ、未定を改め24年度0千円、25年度154千円としている。

番号	事業名	事業費				自己評価				市民意向調査結果			
		計画額 (3カ年、千円)	実績額 (3カ年、千円)	差額	比較	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ
36	仮称文学館整備事業	108,545	110,689	2,144	102.0%	■	□	□	□	4.2%	68.2%	10.9%	16.7%
37	「市川の文化人展」事業	15,084	12,329	△ 2,755	81.7%	■	□	□	□	4.2%	71.6%	12.5%	11.8%
	芸術・文化	123,629	123,018	△ 611	99.5%	2							
38	市史編さん事業	94,683	66,753	△ 27,930	70.5%	□	□	■	□	3.5%	69.5%	11.8%	15.2%
	文化的資産	94,683	66,753	△ 27,930	70.5%			1					
39	市民まつり負担金	9,600	9,600	0	100.0%	■	□	□	□	4.3%	68.9%	18.1%	8.7%
40	シティセールス事業(いちかわ観光・物産案内事業)	27,450	20,877	△ 6,573	76.1%	■	□	□	□	4.3%	65.6%	24.0%	6.1%
41	国際交流推進事業	19,368	20,130	762	103.9%	■	□	□	□	3.9%	69.2%	19.6%	7.3%
	文化の創造	56,418	50,607	△ 5,811	89.7%	3							
	基本目標2 計	274,730	240,378	△ 34,352	87.5%	5	0	1	0	4.1%	68.8%	16.2%	11.0%
42	防災用品備蓄事業	10,897	16,787	5,890	154.0%	■	□	□	□	2.4%	49.2%	47.5%	0.9%
110	防災計画確定事業	12,000	22,930	10,930	191.1%	■	□	□	□	2.4%	57.0%	39.4%	1.2%
111	放射能対策事業	8,612	4,727	△ 3,885	54.9%	■	□	□	□	3.6%	53.9%	39.9%	2.6%
43	指令業務共同化及び無線デジタル化事業	550,499	459,589	△ 90,910	83.5%	■	□	□	□	3.2%	69.3%	25.3%	2.2%
	危機管理・消防	582,008	504,033	△ 77,975	86.6%	4							
44	都市基盤河川改修事業	853,626	196,110	△ 657,516	23.0%	■	□	□	□	4.1%	71.7%	22.6%	1.6%
45	排水路整備事業	277,000	354,828	77,828	128.1%	■	□	□	□	2.6%	64.7%	31.4%	1.3%
46	排水施設整備事業	594,125	65,361	△ 528,764	11.0%	■	□	□	□	3.1%	61.4%	34.4%	1.0%
	治水	1,724,751	616,299	△ 1,108,452	35.7%	3							
47	防犯対策事業	30,075	27,352	△ 2,723	90.9%	□	■	□	□	4.6%	53.7%	39.3%	2.4%
	防犯	30,075	27,352	△ 2,723	90.9%		1						
48	まごころ道路整備事業	168,690	83,533	△ 85,157	49.5%	□	■	□	□	2.6%	51.3%	42.9%	3.2%
49	狭あい道路対策事業	48,000	19,255	△ 28,745	40.1%	□	□	□	■	1.7%	49.7%	46.4%	2.2%
50	橋りょう補修事業	260,921	124,920	△ 136,001	47.9%	□	□	□	■	1.0%	60.5%	36.6%	1.8%
51	交通安全施設整備事業	35,900	47,001	11,101	130.9%	■	□	□	□	1.3%	58.4%	37.8%	2.5%
52	自転車安全利用啓発事業	41,808	8,953	△ 32,855	21.4%	■	□	□	□	2.4%	48.7%	45.4%	3.5%
	交通安全	555,319	283,662	△ 271,657	51.1%	2	1		2				
53	人にやさしい道づくり重点地区整備事業	232,000	192,484	△ 39,516	83.0%	■	□	□	□	3.4%	55.2%	37.0%	4.3%
54	公民館営繕事業	149,000	198,284	49,284	133.1%	■	□	□	□	3.1%	70.8%	18.9%	7.2%
	ユニバーサルデザイン	381,000	390,768	9,768	102.6%	2							
55	都市計画道路3・4・18号整備事業	6,475,475	4,078,145	△ 2,397,330	63.0%	□	■	□	□	2.9%	66.0%	24.7%	6.4%
56	京成本線立体化事業	2,993	2,896	△ 97	96.8%	□	□	■	□	2.5%	49.0%	44.7%	3.8%
57	電線類地中化事業	77,000	69,968	△ 7,032	90.9%	■	□	□	□	2.6%	48.9%	46.5%	2.0%
58	駐輪場整備事業	277,212	177,521	△ 99,691	64.0%	■	□	□	□	3.5%	52.1%	42.4%	2.0%
59	コミュニティバス運行事業	208,240	203,477	△ 4,763	97.7%	■	□	□	□	4.4%	60.8%	28.5%	6.3%
60	道路台帳デジタル化整備事業	52,000	24,991	△ 27,009	48.1%	■	□	□	□	1.7%	71.1%	22.3%	5.0%
	道路・交通	7,092,920	4,556,998	△ 2,535,922	64.2%	4	1	1					
61	下水道事業特別会計	6,727,000	5,900,214	△ 826,786	87.7%	■	□	□	□	3.3%	65.4%	28.0%	3.3%
	下水道	6,727,000	5,900,214	△ 826,786	87.7%	1							
62	耐震診断・改修助成事業	101,981	32,137	△ 69,844	31.5%	■	□	□	□	3.1%	57.2%	36.1%	3.6%
63	住宅防災リフォーム推進事業	29,692	35,341	5,649	119.0%	□	□	□	■	2.0%	56.7%	37.4%	3.9%
64	本八幡駅北口A地区市街地再開発事業	6,752,600	6,752,600	0	100.0%	■	□	□	□	4.8%	64.9%	13.5%	16.8%
	住宅・住環境	6,884,273	6,820,078	△ 64,195	99.1%	2			1				
65	公共施設耐震改修事業	2,179,806	2,436,149	256,343	111.8%	■	□	□	□	3.4%	71.3%	19.7%	5.7%
66	庁舎整備事業	1,550,000	1,960,035	410,035	126.5%	■	□	□	□	1.7%	66.7%	17.7%	13.8%
112	市街化調整区域の土地利用	4,800	8,200	3,400	170.8%	□	□	■	□	2.3%	62.9%	29.3%	5.5%
	公共施設	3,734,606	4,404,384	669,778	117.9%	2		1					

番号	事業名	事業費				自己評価				市民意向調査結果			
		計画額 (3カ年、千円)	実績額 (3カ年、千円)	差額	比較	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ
67	塩浜地区整備事業	342,697	360,221	17,524	105.1%	□	□	□	■	2.4%	60.9%	26.9%	9.8%
	土地利用	342,697	360,221	17,524	105.1%				1				
68	中山参道地区街なみ環境整備事業	14,138	5,193	△ 8,945	36.7%	■	□	□	□	3.2%	70.2%	21.4%	5.2%
69	都市景観形成事業	1,440	704	△ 736	48.9%	■	□	□	□	2.3%	63.1%	27.3%	7.2%
	景観	15,578	5,897	△ 9,681	37.9%	2							
70	商店街活性化補助事業	117,325	110,273	△ 7,052	94.0%	■	□	□	□	2.5%	62.1%	29.1%	6.2%
71	中小企業融資制度等預託金	2,841,000	2,841,000	0	100.0%	■	□	□	□	2.5%	65.7%	26.3%	5.4%
72	地方卸売市場事業特別会計	47,000	45,469	△ 1,531	96.7%	■	□	□	□	1.6%	69.4%	22.8%	6.2%
	商工業	3,005,325	2,996,742	△ 8,583	99.7%	3							
73	都市農業振興支援事業	45,687	50,135	4,448	109.7%	□	■	□	□	2.4%	67.9%	24.6%	5.1%
74	市川市農産物ブランド化推進事業	1,246	294	△ 952	23.6%	□	□	□	■	2.8%	59.8%	31.8%	5.6%
75	体験農園事業	16,512	14,211	△ 2,301	86.1%	■	□	□	□	2.1%	64.8%	26.3%	6.8%
	都市農業	63,445	64,640	1,195	101.9%	1	1		1				
76	市川漁港整備事業	15,257	4,552	△ 10,705	29.8%	□	□	□	■	1.4%	61.9%	32.1%	4.5%
77	水産業振興負担金(うち魚食文化フォーラム分)	2,310	1,912	△ 398	82.8%	■	□	□	□	1.9%	63.8%	26.8%	7.5%
	水産業	17,567	6,464	△ 11,103	36.8%	1			1				
	基本目標3 計	31,156,564	26,937,752	△ 4,218,812	86.5%	27	4	2	6	2.7%	61.0%	31.6%	4.8%
78	生物多様性地域戦略・自然環境保全再生指針事業	8,967	3,440	△ 5,527	38.4%	■	□	□	□	1.4%	68.9%	24.0%	5.6%
79	環境学習推進事業	1,726	397	△ 1,329	23.0%	■	□	□	□	1.7%	68.7%	25.8%	3.8%
	自然環境	10,693	3,837	△ 6,856	35.9%	2							
80	国府台緑地整備事業	170,000	9,240	△ 160,760	5.4%	□	□	□	■	1.8%	68.1%	22.6%	7.4%
81	小塚山公園整備拡充事業	472,869	0	△ 472,869	0.0%	□	□	□	■	1.1%	66.4%	25.0%	7.5%
82	ガーデニング・シティ いちかわ	120,619	150,882	30,263	125.1%	■	□	□	□	4.8%	66.7%	17.6%	10.9%
83	水と緑の回廊事業	3,417	0	△ 3,417	0.0%	□	□	■	□	2.2%	67.3%	25.0%	5.4%
	公園・緑地	766,905	160,122	△ 606,783	20.9%	1		1	2				
84	三番瀬保全再生事業	0	0	0	—	□	□	■	□	2.2%	64.4%	30.6%	2.7%
85	国分川調節池上部活用事業	138,000	84,480	△ 53,520	61.2%	■	□	□	□	2.0%	72.4%	19.9%	5.7%
	河川・水辺	138,000	84,480	△ 53,520	61.2%	1		1					
86	地球温暖化対策推進事業	13,628	9,454	△ 4,174	69.4%	■	□	□	□	1.5%	63.1%	30.0%	5.4%
87	住宅用太陽光発電システム設置助成事業	81,782	71,836	△ 9,946	87.8%	□	■	□	□	1.9%	54.8%	35.9%	7.4%
	地球環境	95,410	81,290	△ 14,120	85.2%	1	1						
88	大気常時監視整備事業	87,762	25,358	△ 62,404	28.9%	□	□	■	□	1.4%	70.4%	24.7%	3.6%
89	市民マナー条例推進事業	168,870	147,263	△ 21,607	87.2%	■	□	□	□	2.4%	56.6%	32.8%	8.1%
	生活環境	256,632	172,621	△ 84,011	67.3%	1		1					
90	ごみ発生抑制等啓発事業	9,705	8,294	△ 1,411	85.5%	■	□	□	□	2.5%	70.5%	22.8%	4.1%
91	分別収集促進事業	6,760,026	6,126,770	△ 633,256	90.6%	■	□	□	□	3.7%	73.6%	18.4%	4.3%
92	クリーンセンター延命化事業	5,425,470	5,424,785	△ 685	100.0%	■	□	□	□	5.0%	74.7%	16.8%	3.5%
	資源循環型社会	12,195,201	11,559,849	△ 635,352	94.8%	3							
	基本目標4 計	13,462,841	12,062,199	△ 1,400,642	89.6%	9	1	3	2	2.4%	67.1%	24.8%	5.7%

番号	事業名	事業費				自己評価				市民意向調査結果			
		計画額 (3カ年、千円)	実績額 (3カ年、千円)	差額	比較	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	期待以上	期待通り	足りない	やり過ぎ
93	マーケティング事業	0	0	0	—	■	□	□	□	4.8%	67.9%	24.3%	3.0%
	協働・市民参加	0	0	0	—	1							
94	市ホームページ管理運営事業	33,786	36,204	2,418	107.2%	□	■	□	□	3.9%	73.4%	17.5%	5.3%
95	保存文書整備事業	88,842	91,339	2,497	102.8%	■	□	□	□	2.4%	80.6%	12.2%	4.8%
96	情報公開・個人情報保護事業	4,384	2,050	△ 2,334	46.8%	■	□	□	□	2.0%	76.3%	18.2%	3.5%
	情報の発信・提供	127,012	129,593	2,581	102.0%	2	1						
97	防犯灯設置事業	197,775	204,720	6,945	103.5%	■	□	□	□	3.0%	60.1%	34.3%	2.6%
98	市民活動団体支援制度(1%支援制度)運営事業	80,004	67,754	△ 12,250	84.7%	□	■	□	□	4.2%	68.5%	17.9%	9.3%
	地域コミュニティ・市民活動	277,779	272,474	△ 5,305	98.1%	1	1						
99	e-モニター制度運営事業	15,981	29,344	13,363	183.6%	■	□	□	□	2.7%	70.3%	15.8%	11.1%
100	法制実務研修事業	7,650	5,350	△ 2,300	69.9%	□	■	□	□	2.0%	74.1%	15.3%	8.6%
101	市民意向調査	1,281	845	△ 436	66.0%	■	□	□	□	2.0%	73.0%	19.6%	5.4%
	政策展開	24,912	35,539	10,627	142.7%	2	1						
102	職員研修事業	48,818	42,798	△ 6,020	87.7%	■	□	□	□	1.7%	64.6%	19.1%	14.6%
	行政体制	48,818	42,798	△ 6,020	87.7%	1							
103	総合市民相談・案内事業	45,270	42,216	△ 3,054	93.3%	■	□	□	□	4.2%	71.5%	20.5%	3.8%
	窓口・相談機能	45,270	42,216	△ 3,054	93.3%	1							
104	財政調整基金積立金	619,386	1,224,091	604,705	197.6%	□	□	■	□	3.5%	71.9%	18.9%	5.7%
105	納税環境整備事業	230,133	235,768	5,635	102.4%	□	■	□	□	3.6%	71.9%	16.1%	8.4%
	財政運営	849,519	1,459,859	610,340	171.8%		1	1					
106	広域行政推進事業	500	500	0	100.0%	■	□	□	□	1.6%	74.0%	19.1%	5.3%
	広域行政	500	500	0	100.0%	1							
107	住民票等コンビニ交付事業	49,437	52,510	3,073	106.2%	■	□	□	□	9.0%	70.1%	11.1%	9.8%
108	情報システム再構築事業	440,416	437,896	△ 2,520	99.4%	■	□	□	□	4.1%	73.8%	11.3%	10.8%
109	セキュリティ構築事業	6,695	4,730	△ 1,965	70.6%	■	□	□	□	3.8%	75.1%	17.4%	3.7%
	情報化	496,548	495,136	△ 1,412	99.7%	3							
	基本目標5 計	1,870,358	2,478,115	607,757	132.5%	12	4	1	0	3.5%	71.6%	18.1%	6.8%
	総計	99,711,434	93,161,602	△ 6,549,832	93.4%	82	10	9	11				